

第2章 市民アンケート

1. 実施概要

1.1 調査の概要

仙台市では、令和7年度に仙台市一般廃棄物処理基本計画の中間の見直しを行うこととしており、近年のごみの排出状況や市民の意見・要望等について、アンケートによる調査を実施した。

前々回調査を平成26年度、前回調査を令和元年度に実施しており、一部集計結果においては前々回調査及び前回調査との比較を行った。

(1) 調査の目的

仙台市では、一般廃棄物処理に係る基本的な方向性を定める「仙台市一般廃棄物処理基本計画」を令和3年3月に策定した。本調査では、同計画の策定から5年を経過した時点で行われる中間の見直しに向けた情報の収集を目的とし、ごみ・資源物の排出状況、ごみの減量・リサイクルにおける現状での課題及び市民の意向等を把握するため実施した。

(2) 調査項目

「回答者の属性について」、「ごみと資源物の出し方などについて」、「ごみの減量・3R・循環経済の取り組み等について」、「食品ロス・生ごみについて」、「プラスチックについて」、「紙類について」、「衣類・布類について」、「更なるごみ減量・3Rの推進について」、「自由回答」の計9項目を調査した。

(3) 調査対象及び調査期間

調査対象、発送日、締切日、調査方法については以下の通り。

- ・ 調査対象：無作為に抽出された仙台市内の3,000世帯
- ・ 発送日：令和6年11月8日（金）
- ・ 締切日：令和6年11月29日（金）
- ・ 調査方法：郵送による発送、郵送回収・WEB併用回収

(4) 調査結果の留意点

調査結果の留意点は以下の通り。

- ・ 端数処理の関係から、割合の合計が100%とならないことがある。
- ・ 複数の選択肢を選択する問の割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者で除したものとなっている。
- ・ 自由回答については、主なものを掲載している。原則、回答通りに記載しているが、誤字・脱字等に関して、原文の表現を一部加工している。

1.2 回答率

3,000件の送付に対し、総回答数は1,116件（郵送回収：955件、WEB回収：161件）で、回答率は37.2%だった。

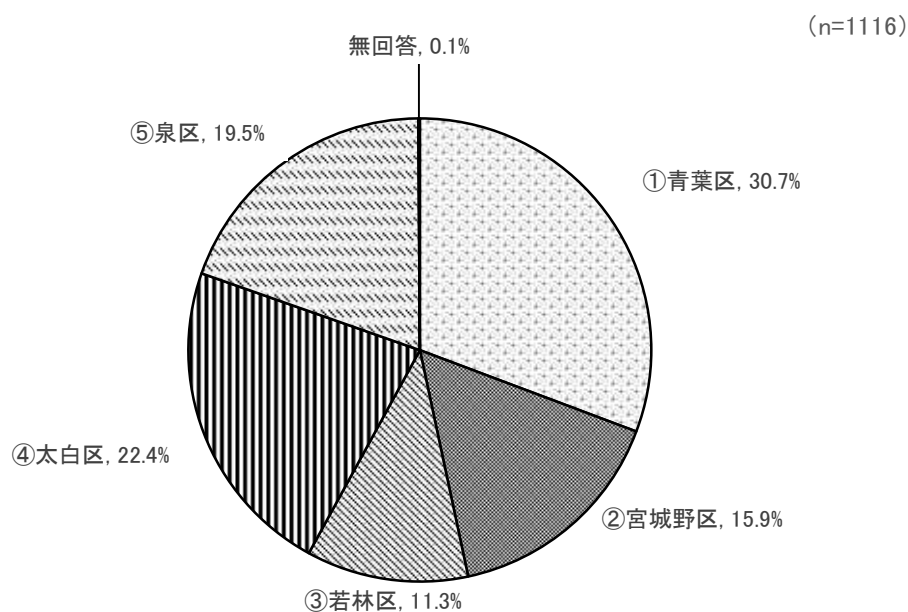
2. 調査結果

2.1 回答者の属性

2.1.1 居住区

「①青葉区」の割合が最も高く 30.7%となっている。次いで、「④太白区 (22.4%)」、「⑤泉区 (19.5%)」となっている。

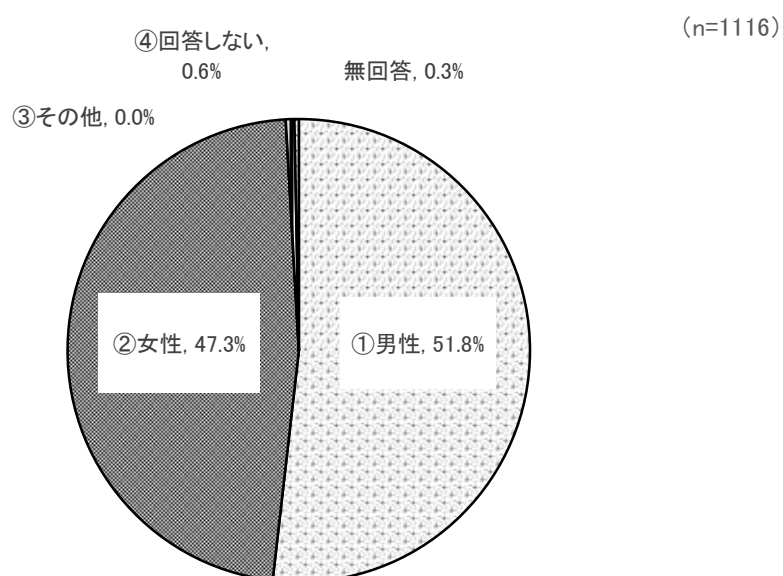
図表 50 居住区



2.1.2 性別

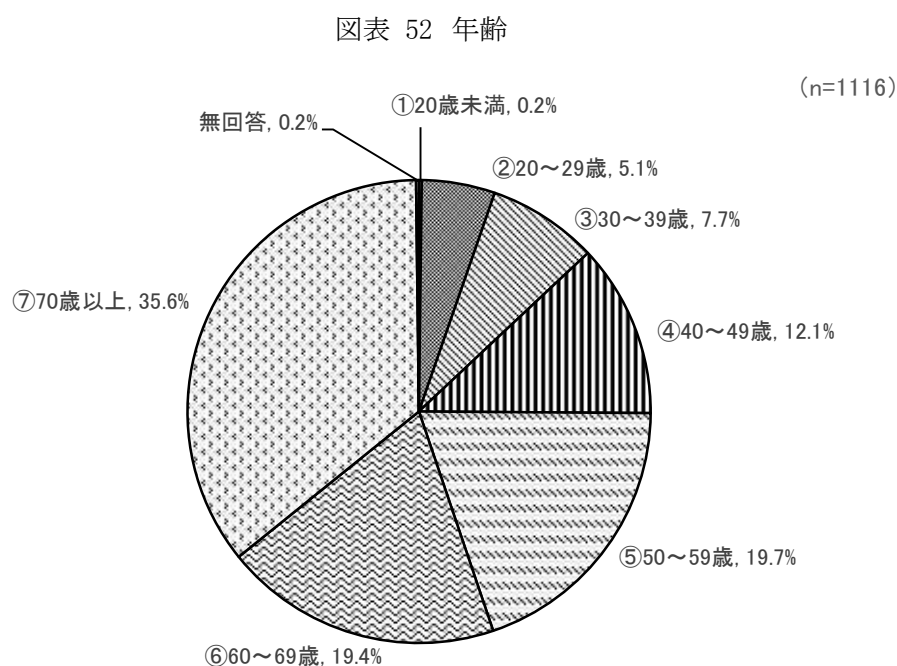
「①男性」の割合が最も高く 51.8%となっている。次いで、「②女性 (47.3%)」、「④回答しない (0.6%)」となっている。

図表 51 性別



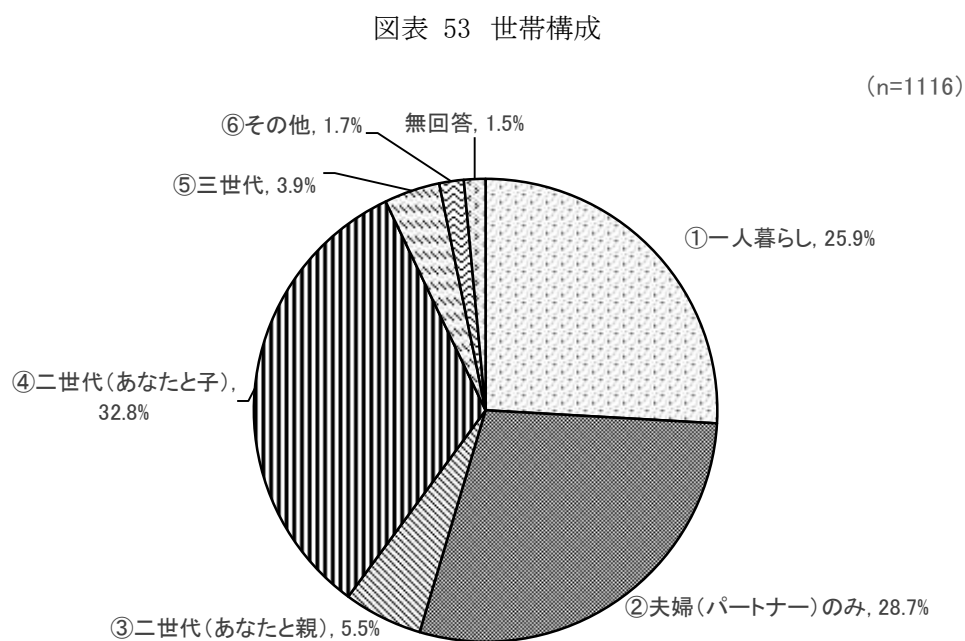
2.1.3 年齢

「⑦70歳以上」の割合が最も高く 35.6%となっている。次いで、「⑤50～59歳（19.7%）」、「⑥60～69歳（19.4%）」となっている。



2.1.4 世帯構成

「④二世帯（あなたと子）」の割合が最も高く 32.8%となっている。次いで、「②夫婦（パートナー）のみ（28.7%）」、「①一人暮らし（25.9%）」となっている。

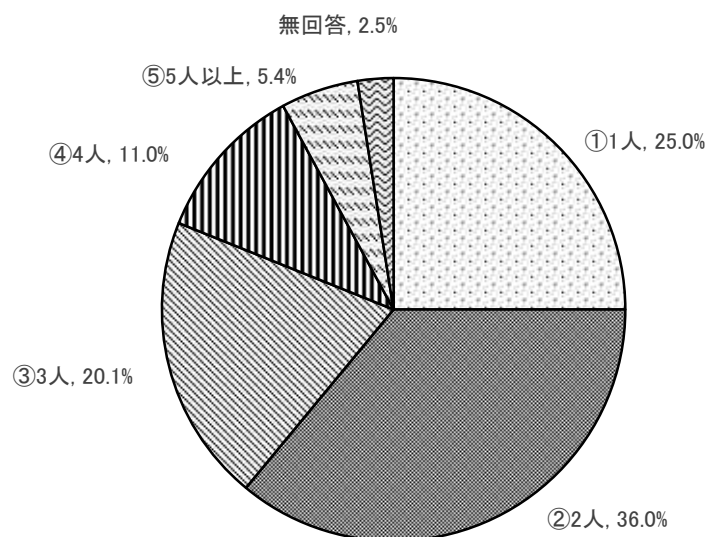


2.1.5 家族等同居人数（回答者を含む）

「②2人」の割合が最も高く 36.0%となっている。次いで、「①1人 (25.0%)」、「③3人 (20.1%)」となっている。

図表 54 家族等同居人数(回答者を含む)

(n=1116)

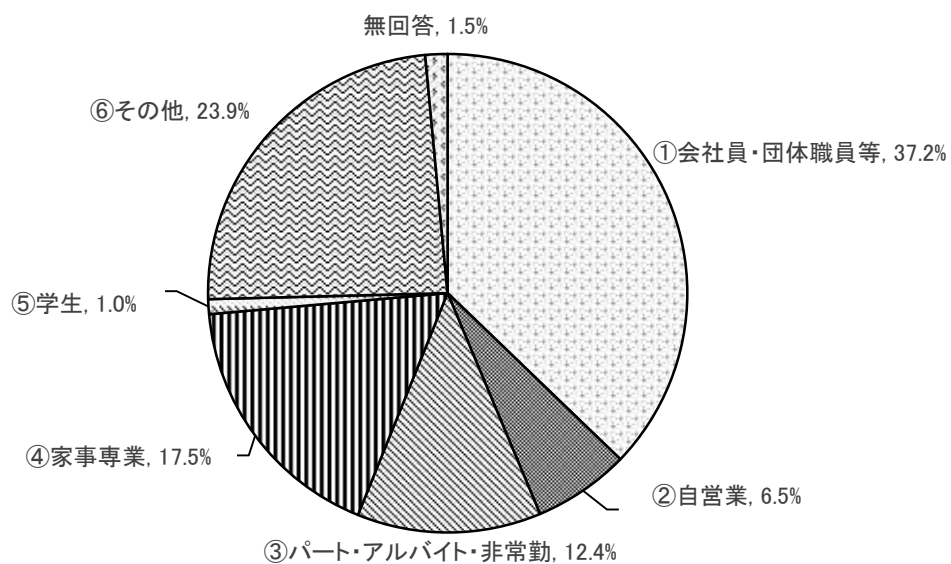


2.1.6 職業

「①会社員・団体職員等」の割合が最も高く 37.2%となっている。次いで、「⑥その他 (23.9%)」、「④家事専業 (17.5%)」となっている。

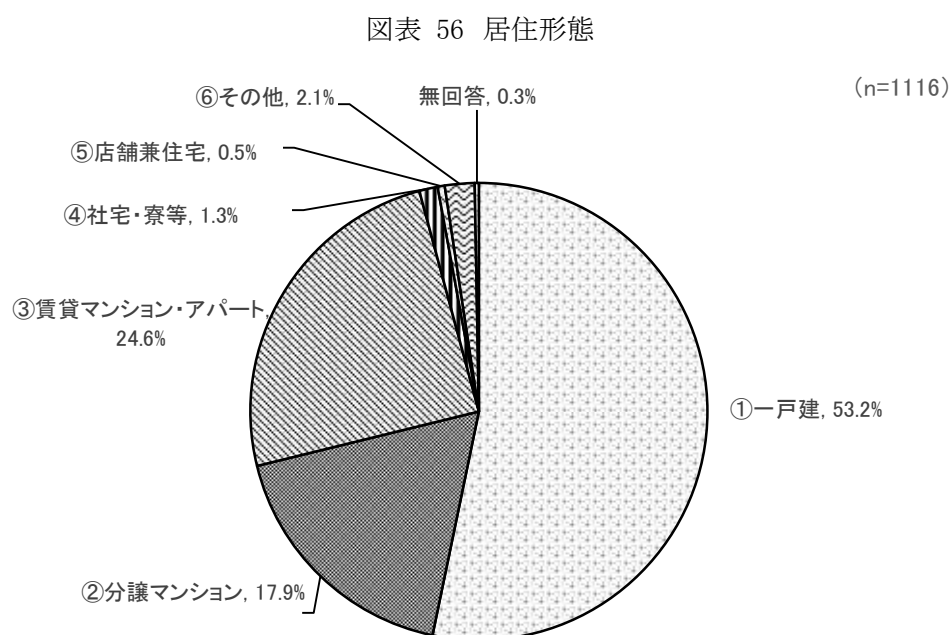
図表 55 職業

(n=1116)



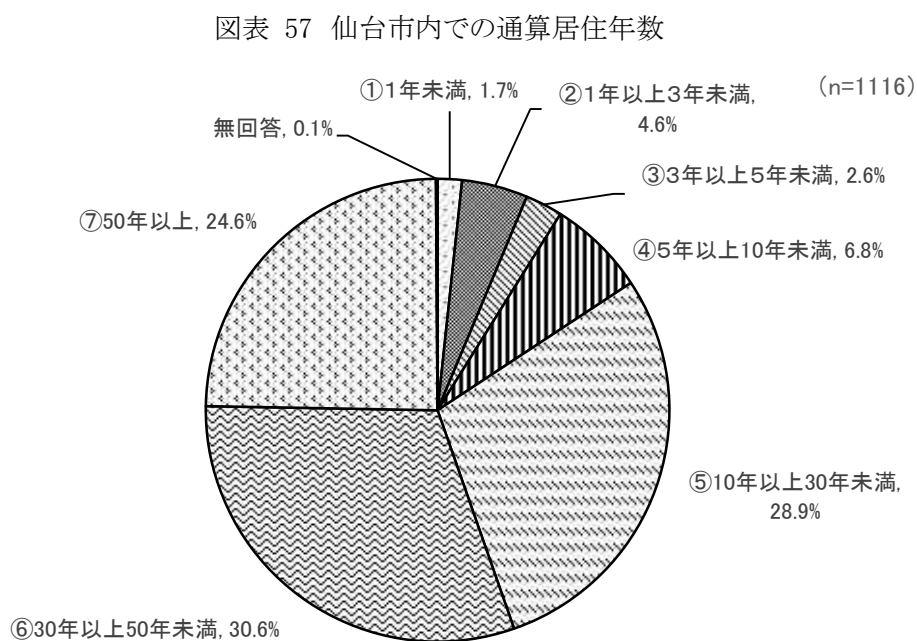
2.1.7 居住形態

「①一戸建」の割合が最も高く 53.2%となっている。次いで、「③賃貸マンション・アパート (24.6%)」、「②分譲マンション (17.9%)」となっている。



2.1.8 仙台市内での通算居住年数

「⑥30年以上50年未満」の割合が最も高く 30.6%となっている。次いで、「⑤10年以上30年未満 (28.9%)」、「⑦50年以上 (24.6%)」となっている。

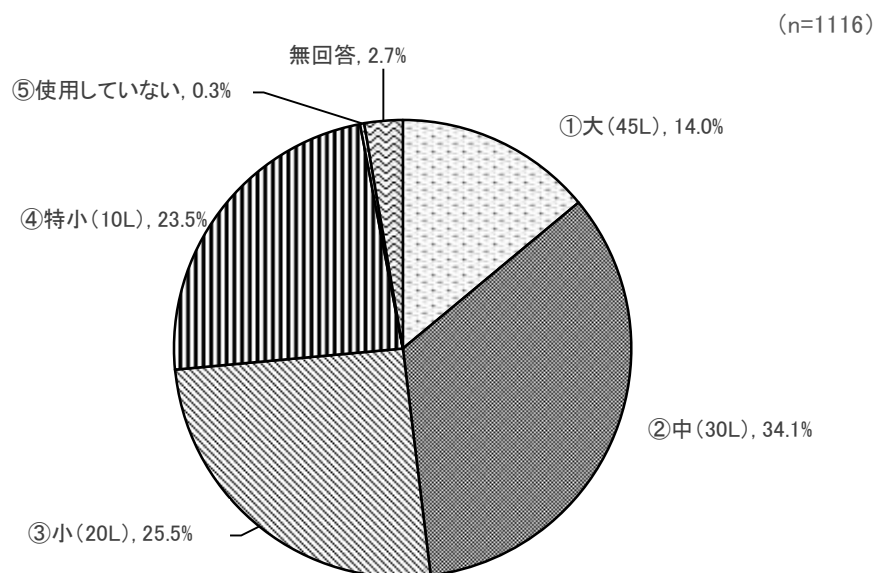


2.2 ごみと資源物の出し方などについて

2.2.1 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すときの袋の大きさ

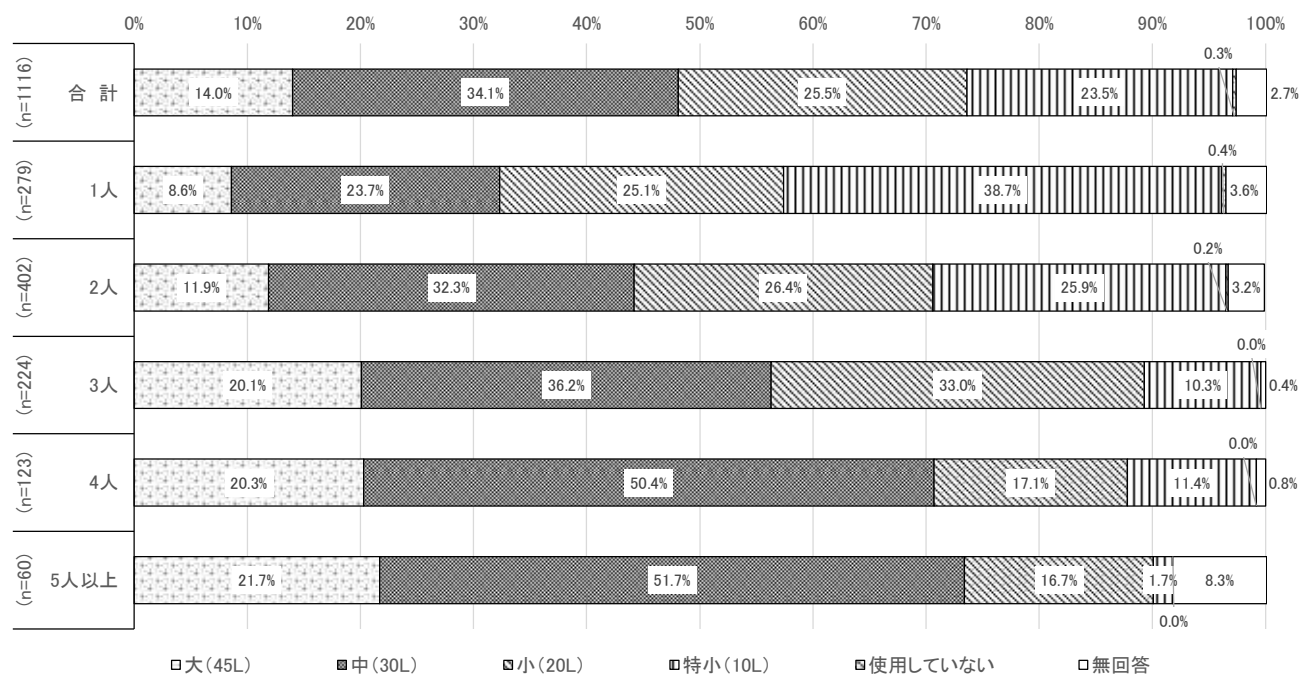
「②中（30L）」の割合が最も高く 34.1%となっている。次いで、「③小（20L）（25.5%）」、「④特小（10L）（23.5%）」となっている。

図表 58 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すときの袋の大きさ



同居人数別に見ると、「大（45L）」の割合は「1人」では8.6%と最も低く、同居人数が多いほどその割合が高い傾向にある。「中（30L）」も同様の傾向を示している。「特小（10L）」の使用は、「1人」では38.7%と最も高く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。

図表 59 家庭ごみ(緑の指定袋)を出すときの袋の大きさ(同居人数別)

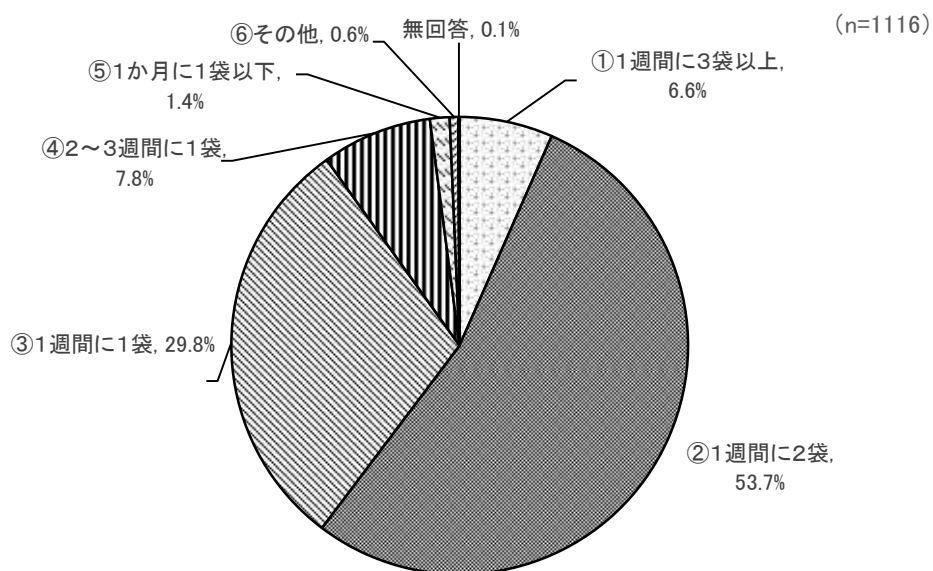


	合 計	大(45L)	中(30L)	小(20L)	特小(10L)	使用していない	無回答
合 計	1116	156	380	285	262	3	30
	100.0%	14.0%	34.1%	25.5%	23.5%	0.3%	2.7%
1人	279	24	66	70	108	1	10
	100.0%	8.6%	23.7%	25.1%	38.7%	0.4%	3.6%
2人	402	48	130	106	104	1	13
	100.0%	11.9%	32.3%	26.4%	25.9%	0.2%	3.2%
3人	224	45	81	74	23	0	1
	100.0%	20.1%	36.2%	33.0%	10.3%	0.0%	0.4%
4人	123	25	62	21	14	0	1
	100.0%	20.3%	50.4%	17.1%	11.4%	0.0%	0.8%
5人以上	60	13	31	10	1	0	5
	100.0%	21.7%	51.7%	16.7%	1.7%	0.0%	8.3%

2.2.2 家庭ごみ（緑の指定袋）の排出量

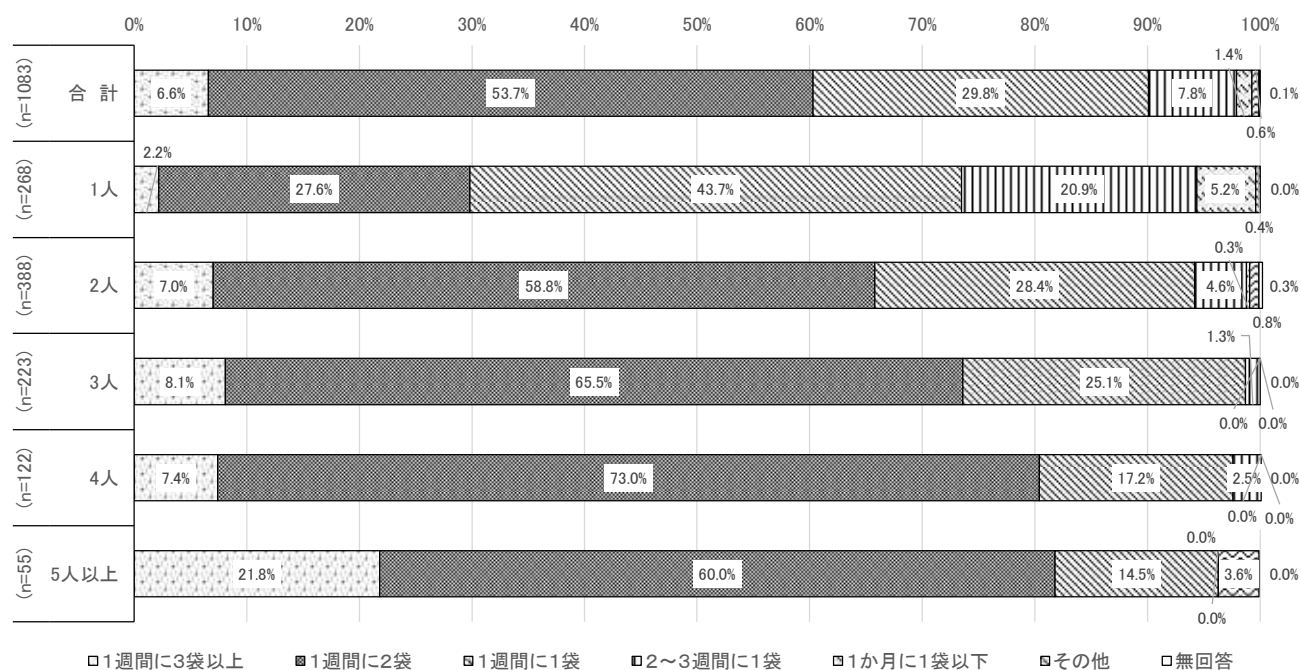
「② 1週間に2袋」の割合が最も高く 53.7%となっている。次いで、「③ 1週間に1袋(29.8%)」、「④ 2～3週間に1袋 (7.8%)」となっている。

図表 60 家庭ごみ（緑の指定袋）の排出量



同居人数別に見ると、「1週間に1袋」の割合は「1人」では43.7%と最も高く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。一方で、「1週間に2袋」は「1人」では27.6%となっているが、2人以上の割合では過半数を占めている。

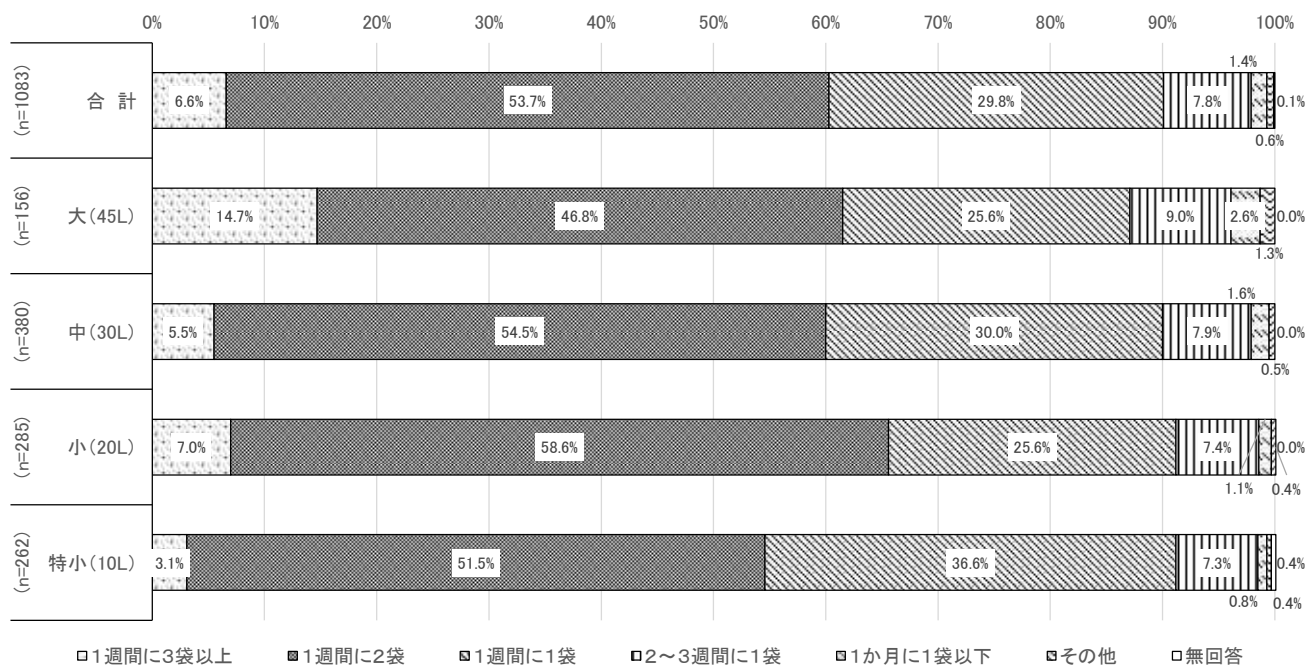
図表 61 家庭ごみ(緑の指定袋)の排出量(同居人数別)



	合 計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋以下	その他	無回答
合 計	1083	72	582	323	84	15	6	1
	100.0%	6.6%	53.7%	29.8%	7.8%	1.4%	0.6%	0.1%
1人	268	6	74	117	56	14	1	0
	100.0%	2.2%	27.6%	43.7%	20.9%	5.2%	0.4%	0.0%
2人	388	27	228	110	18	1	3	1
	100.0%	7.0%	58.8%	28.4%	4.6%	0.3%	0.8%	0.3%
3人	223	18	146	56	3	0	0	0
	100.0%	8.1%	65.5%	25.1%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4人	122	9	89	21	3	0	0	0
	100.0%	7.4%	73.0%	17.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
5人以上	55	12	33	8	0	0	2	0
	100.0%	21.8%	60.0%	14.5%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%

家庭ごみ袋（緑の指定袋）のサイズ別に見ると、「1週間に3袋以上」は「大（45L）」で14.7%と最も高い。

図表 62 家庭ごみ（緑の指定袋）の排出量（袋の大きさ別）

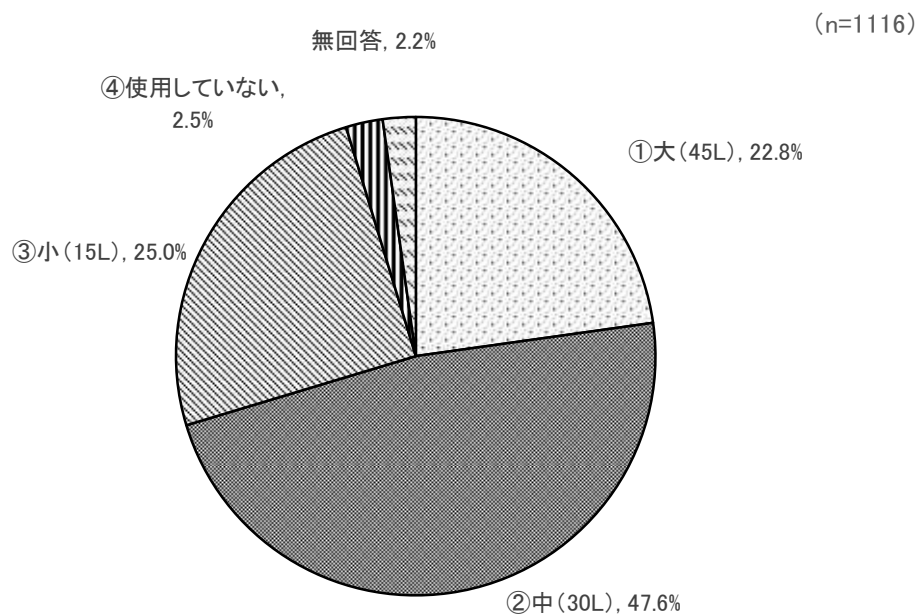


	合 計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋以下	その他	無回答
合 計	1083	72	582	323	84	15	6	1
	100.0%	6.6%	53.7%	29.8%	7.8%	1.4%	0.6%	0.1%
大(45L)	156	23	73	40	14	4	2	0
	100.0%	14.7%	46.8%	25.6%	9.0%	2.6%	1.3%	0.0%
中(30L)	380	21	207	114	30	6	2	0
	100.0%	5.5%	54.5%	30.0%	7.9%	1.6%	0.5%	0.0%
小(20L)	285	20	167	73	21	3	1	0
	100.0%	7.0%	58.6%	25.6%	7.4%	1.1%	0.4%	0.0%
特小(10L)	262	8	135	96	19	2	1	1
	100.0%	3.1%	51.5%	36.6%	7.3%	0.8%	0.4%	0.4%

2.2.3 プラスチック資源（赤の指定袋）を出すときの袋の大きさ

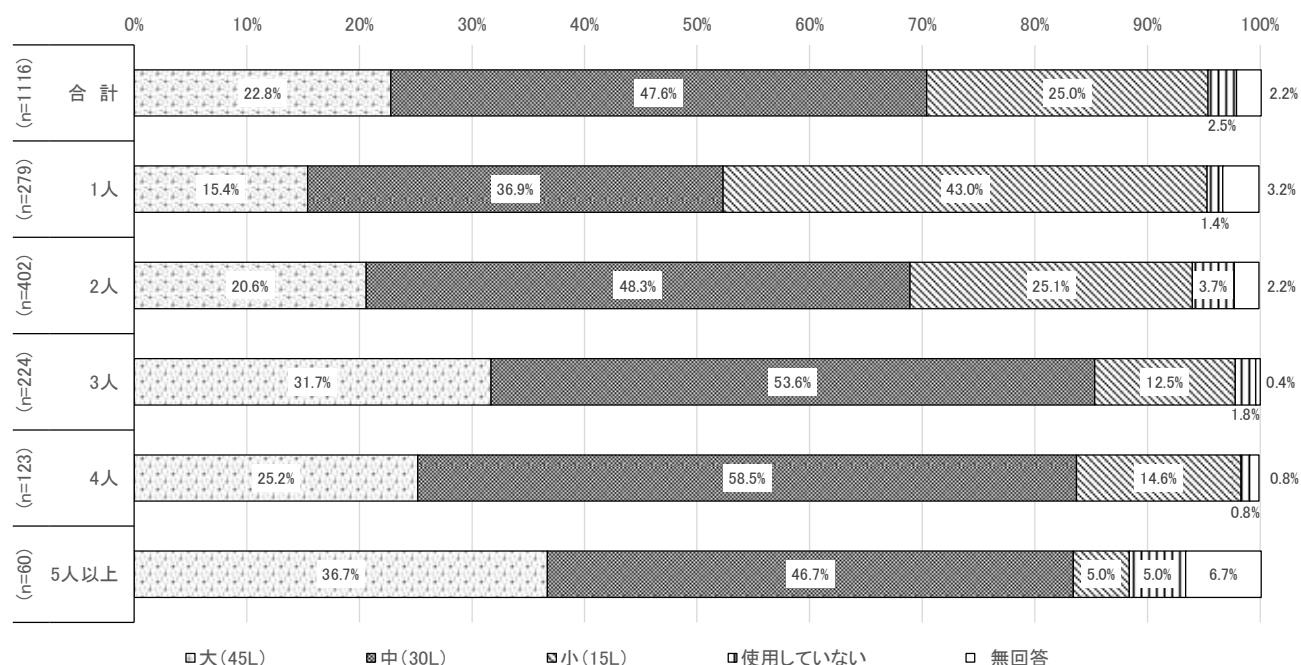
「②中（30L）」の割合が最も高く 47.6%となっている。次いで、「③小（15L）（25.0%）」、「①大（45L）（22.8%）」となっている。

図表 63 プラスチック資源(赤の指定袋)を出すときの袋の大きさ



同居人数別に見ると、「大（45L）」の割合は「1人」では15.4%と最も低く、同居人数が多いほどその割合が高い傾向にある。「小（15L）」の割合は、「1人」では43.0%と最も高く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。

図表 64 プラスチック資源(赤の指定袋)を出すときの袋の大きさ(同居人数別)

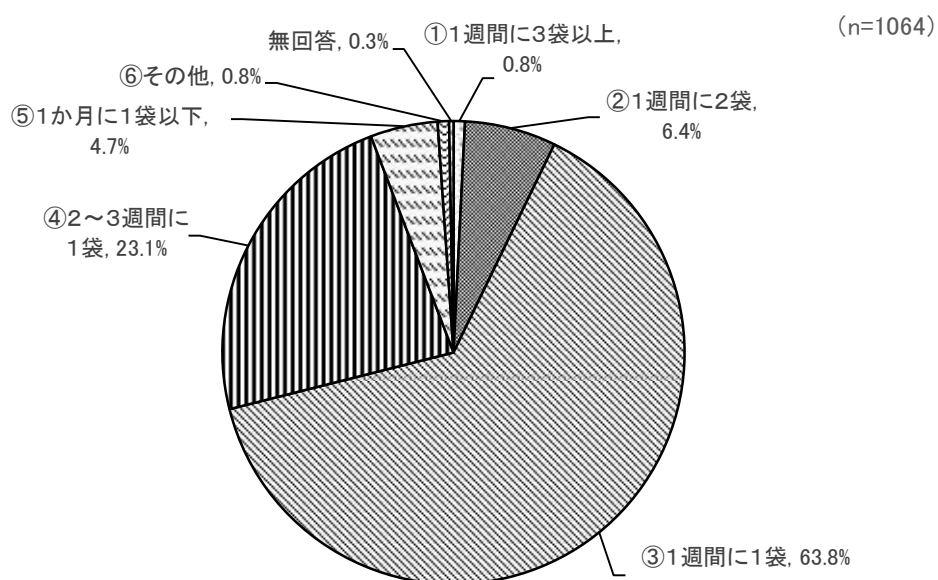


	合 計	大(45L)	中(30L)	小(15L)	使用していない	無回答
合 計	1116	254	531	279	28	24
	100.0%	22.8%	47.6%	25.0%	2.5%	2.2%
1人	279	43	103	120	4	9
	100.0%	15.4%	36.9%	43.0%	1.4%	3.2%
2人	402	83	194	101	15	9
	100.0%	20.6%	48.3%	25.1%	3.7%	2.2%
3人	224	71	120	28	4	1
	100.0%	31.7%	53.6%	12.5%	1.8%	0.4%
4人	123	31	72	18	1	1
	100.0%	25.2%	58.5%	14.6%	0.8%	0.8%
5人以上	60	22	28	3	3	4
	100.0%	36.7%	46.7%	5.0%	5.0%	6.7%

2.2.4 プラスチック資源（赤の指定袋）の排出量

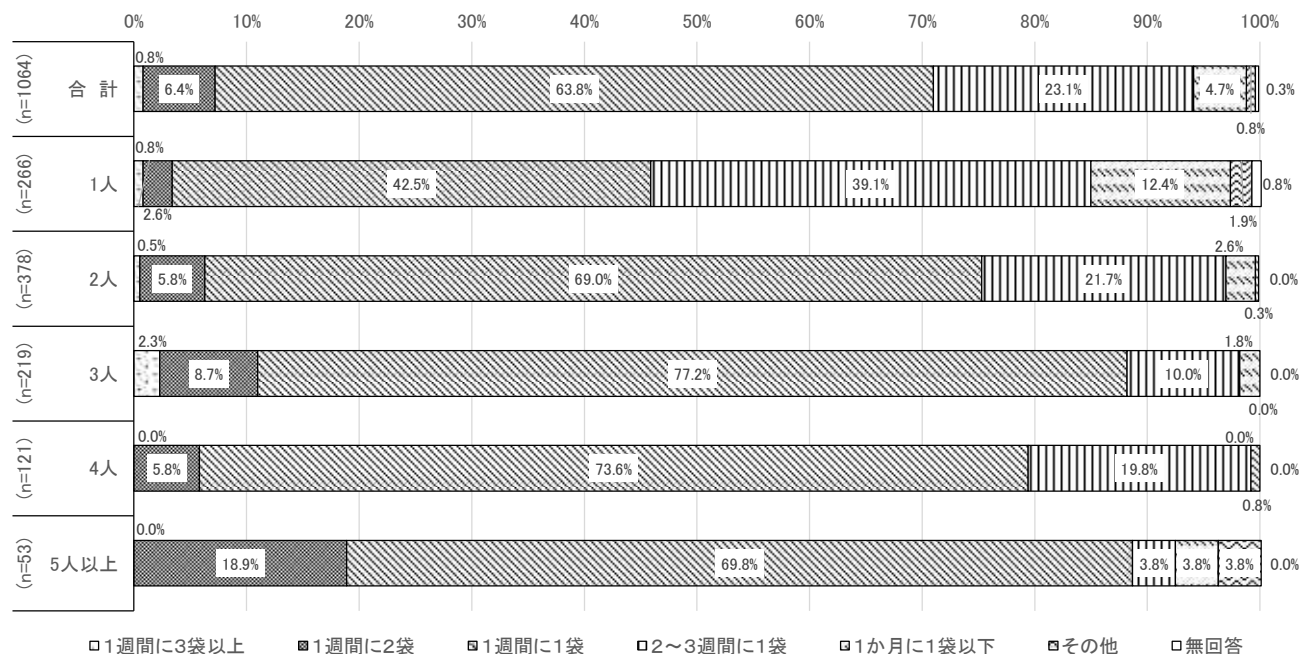
「③ 1週間に1袋」の割合が最も高く 63.8%となっている。次いで、「④ 2～3週間に1袋 (23.1%)」、「② 1週間に2袋 (6.4%)」となっている。

図表 65 プラスチック資源(赤の指定袋)の排出量



同居人数別に見ると、「1週間に2袋」は「5人以上」では18.9%と最も高く、同居人数が多いほどその割合は高い傾向にある。「1週間に1袋」は2人以上では約7割を占めている。

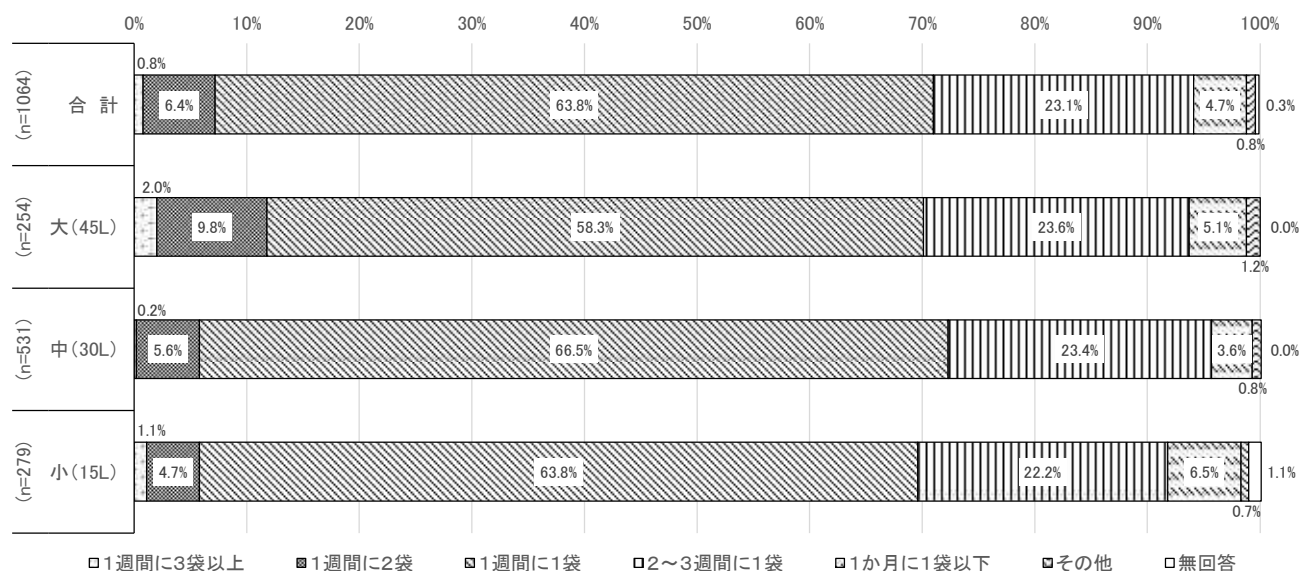
図表 66 プラスチック資源(赤の指定袋)の排出量(同居人数別)



	合 計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋以下	その他	無回答
合 計	1064	9	68	679	246	50	9	3
	100.0%	0.8%	6.4%	63.8%	23.1%	4.7%	0.8%	0.3%
1人	266	2	7	113	104	33	5	2
	100.0%	0.8%	2.6%	42.5%	39.1%	12.4%	1.9%	0.8%
2人	378	2	22	261	82	10	1	0
	100.0%	0.5%	5.8%	69.0%	21.7%	2.6%	0.3%	0.0%
3人	219	5	19	169	22	4	0	0
	100.0%	2.3%	8.7%	77.2%	10.0%	1.8%	0.0%	0.0%
4人	121	0	7	89	24	0	1	0
	100.0%	0.0%	5.8%	73.6%	19.8%	0.0%	0.8%	0.0%
5人以上	53	0	10	37	2	2	2	0
	100.0%	0.0%	18.9%	69.8%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%

プラスチック資源（赤の指定袋）のサイズ別に見ると、「1週間に2袋」は「大（45L）」では9.8%と最も高く、サイズが大きいほどその割合は高い傾向にある。

図表 67 プラスチック資源（赤の指定袋）の排出量（袋の大きさ別）

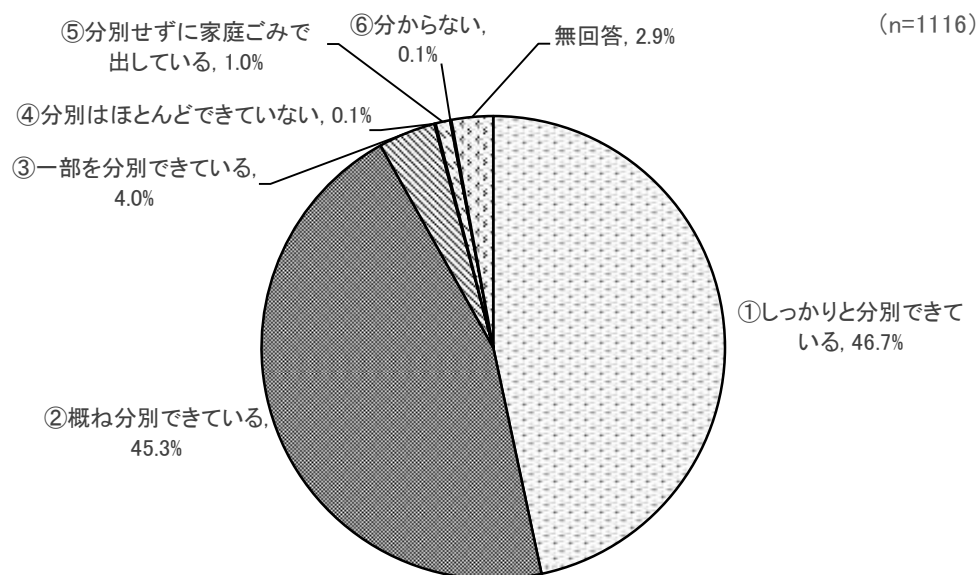


	合 計	1週間に 3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に 1袋	1か月に 1袋以下	その他	無回答
合 計	1064	9	68	679	246	50	9	3
	100.0%	0.8%	6.4%	63.8%	23.1%	4.7%	0.8%	0.3%
大(45L)	254	5	25	148	60	13	3	0
	100.0%	2.0%	9.8%	58.3%	23.6%	5.1%	1.2%	0.0%
中(30L)	531	1	30	353	124	19	4	0
	100.0%	0.2%	5.6%	66.5%	23.4%	3.6%	0.8%	0.0%
小(15L)	279	3	13	178	62	18	2	3
	100.0%	1.1%	4.7%	63.8%	22.2%	6.5%	0.7%	1.1%

2.2.5 プラスチック資源（赤の指定袋）を出すときの分別状況

「①しっかりと分別できている」の割合が最も高く 46.7%となっている。次いで、「②概ね分別できている（45.3%）」、「③一部を分別できている（4.0%）」となっている。

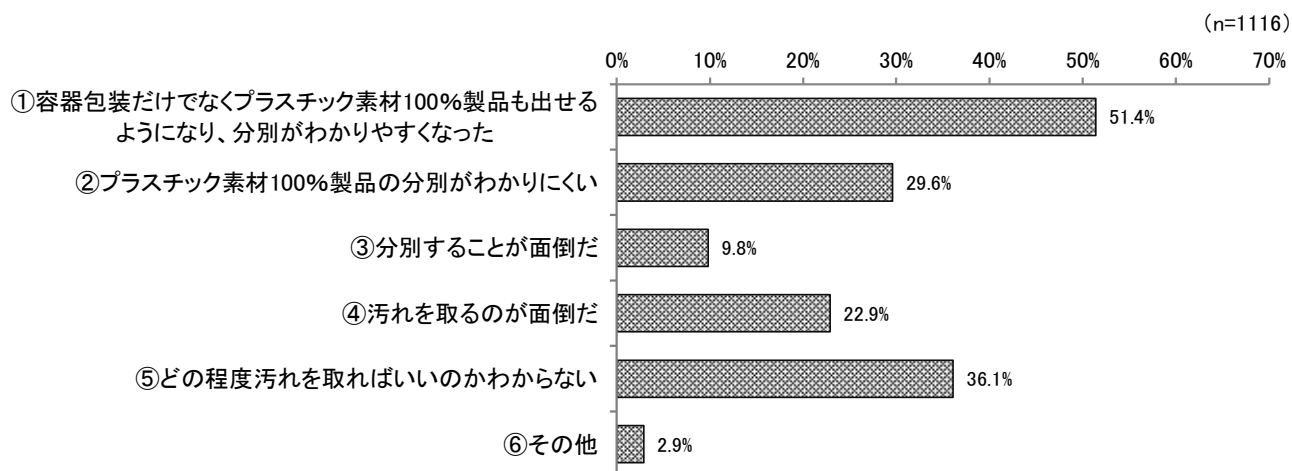
図表 68 プラスチック資源（赤の指定袋）を出すときの分別状況



2.2.6 プラスチック資源を出すときに感じていること

「①容器包装だけでなくプラスチック素材 100%製品も出せるようになり、分別がわかりやすくなった」の割合が最も高く 51.4%となっている。次いで、「⑤どの程度汚れを取ればいいのか分からない（36.1%）」、「②プラスチック素材 100%製品の分別がわかりにくい（29.6%）」となっている。

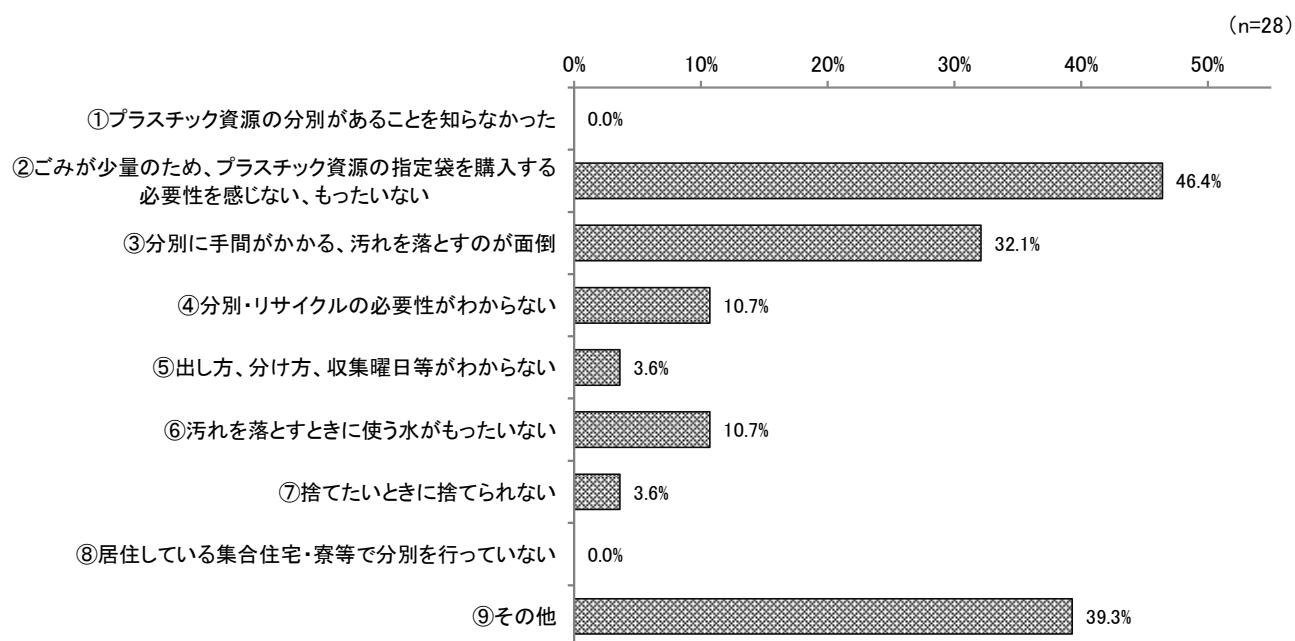
図表 69 プラスチック資源を出すときに感じていること ※該当するものすべてを回答



2.2.7 プラスチック資源の指定袋を使用していない理由

「②ごみが少量のため、プラスチック資源の指定袋を購入する必要性を感じない、もったいない」の割合が最も高く 46.4%となっている。次いで、「⑨その他 (39.3%)」、「③分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒 (32.1%)」となっている。

図表 70 プラスチック資源の指定袋を使用していない理由 ※該当するものすべてを回答

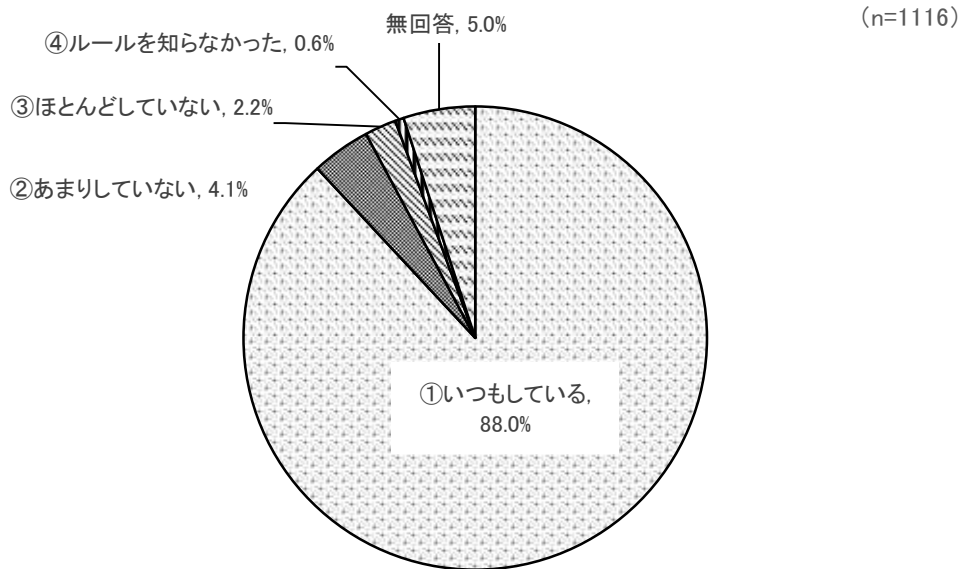


2.2.8 びん・ペットボトルを出すときのルール

(1) びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況

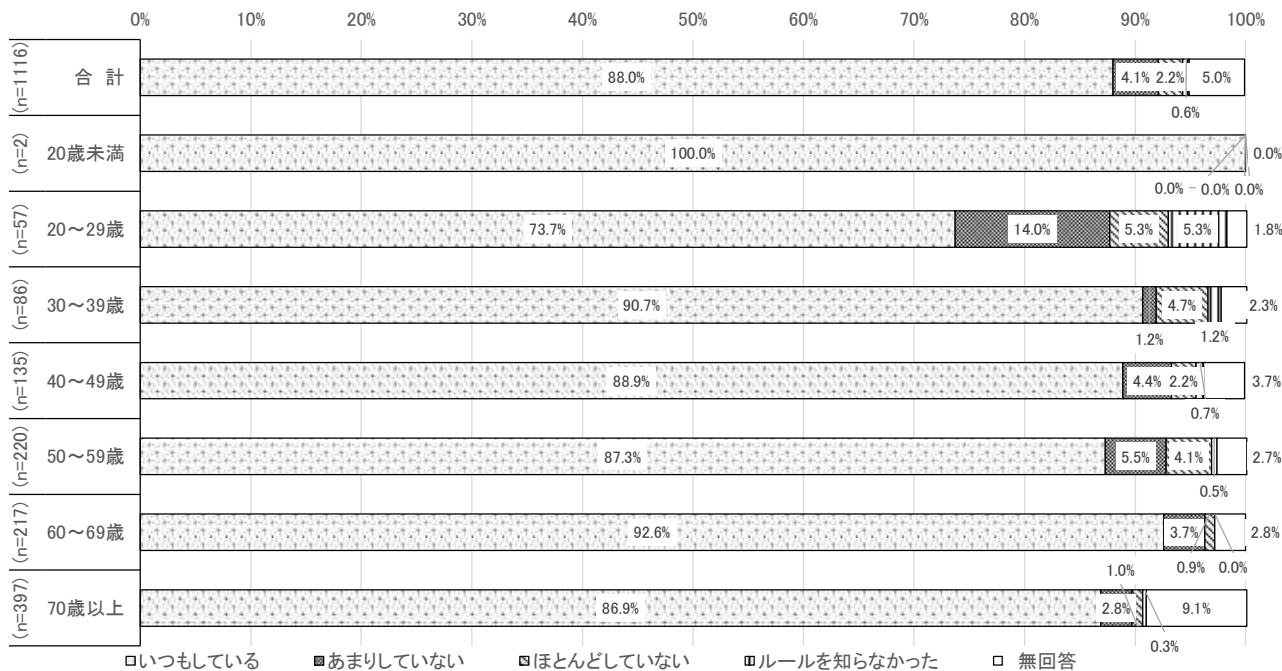
「①いつもしている」の割合が最も高く 88.0%となっている。次いで、無回答を除き、「②あまりしていない (4.1%)」、「③ほとんどしていない (2.2%)」となっている。

図表 71 びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況



年齢別に見ると、「20～29 歳」の「いつもしている」の割合が 73.7%と最も低く、30 歳以上は「いつもしている」の割合が 9 割前後を占めている。

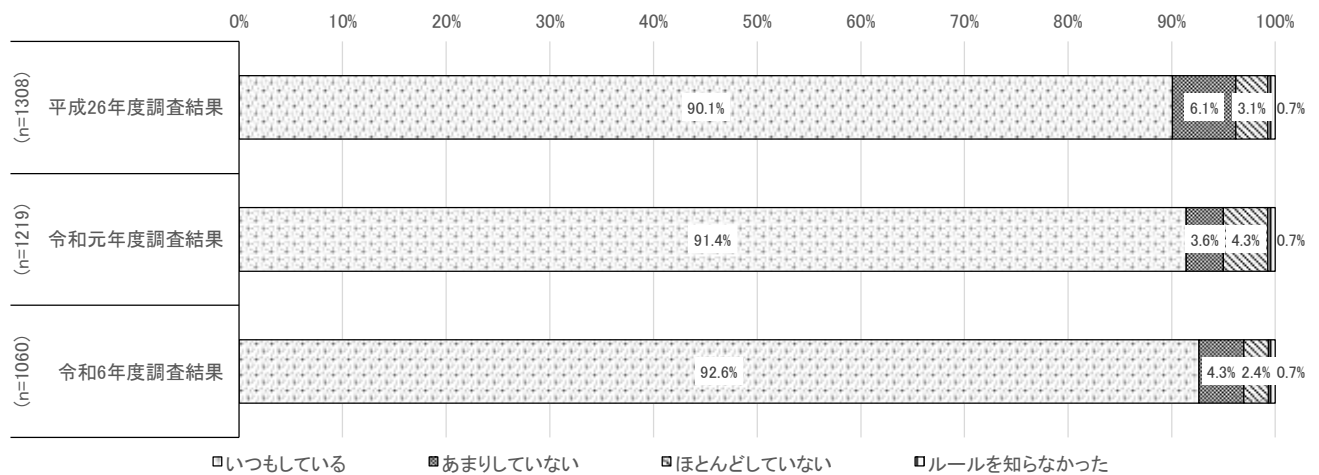
図表 72 びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況 (年齢別)



	合 計	いつもしている	あまり していない	ほとんど していない	ルールを 知らなかった	無回答
合 計	1116 100.0%	982 88.0%	46 4.1%	25 2.2%	7 0.6%	56 5.0%
20歳未満	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	42 73.7%	8 14.0%	3 5.3%	3 5.3%	1 1.8%
30～39歳	86 100.0%	78 90.7%	1 1.2%	4 4.7%	1 1.2%	2 2.3%
40～49歳	135 100.0%	120 88.9%	6 4.4%	3 2.2%	1 0.7%	5 3.7%
50～59歳	220 100.0%	192 87.3%	12 5.5%	9 4.1%	1 0.5%	6 2.7%
60～69歳	217 100.0%	201 92.6%	8 3.7%	2 0.9%	0 0.0%	6 2.8%
70歳以上	397 100.0%	345 86.9%	11 2.8%	4 1.0%	1 0.3%	36 9.1%

平成26年度調査及び令和元年度、令和6年度調査結果ともに「いつもしている」が90%を超えており、びん・ペットボトルのフタを外すことは高い認知度を維持し続けている。

図表 73 平成26年度及び令和元年度調査結果との比較

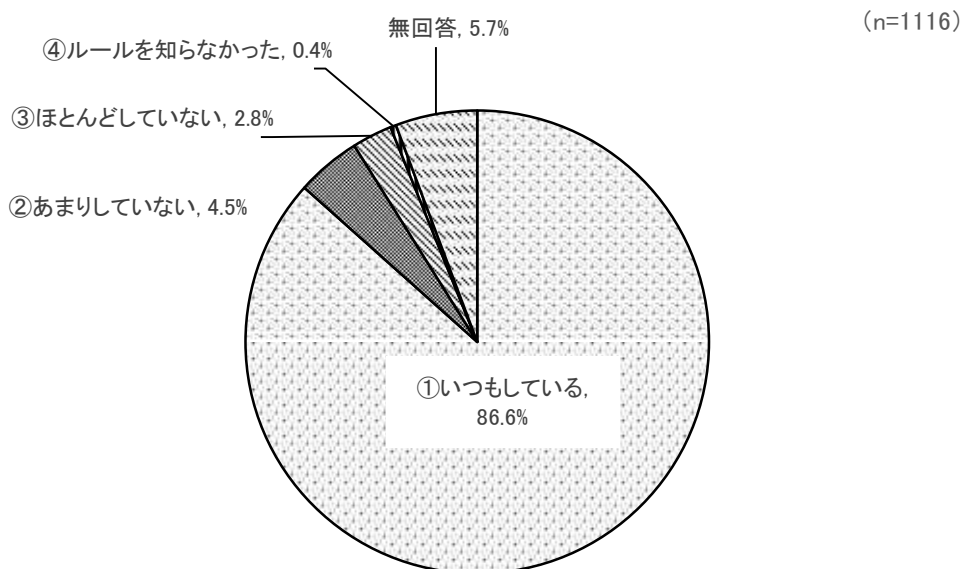


※無回答を除いて集計

(2) ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況

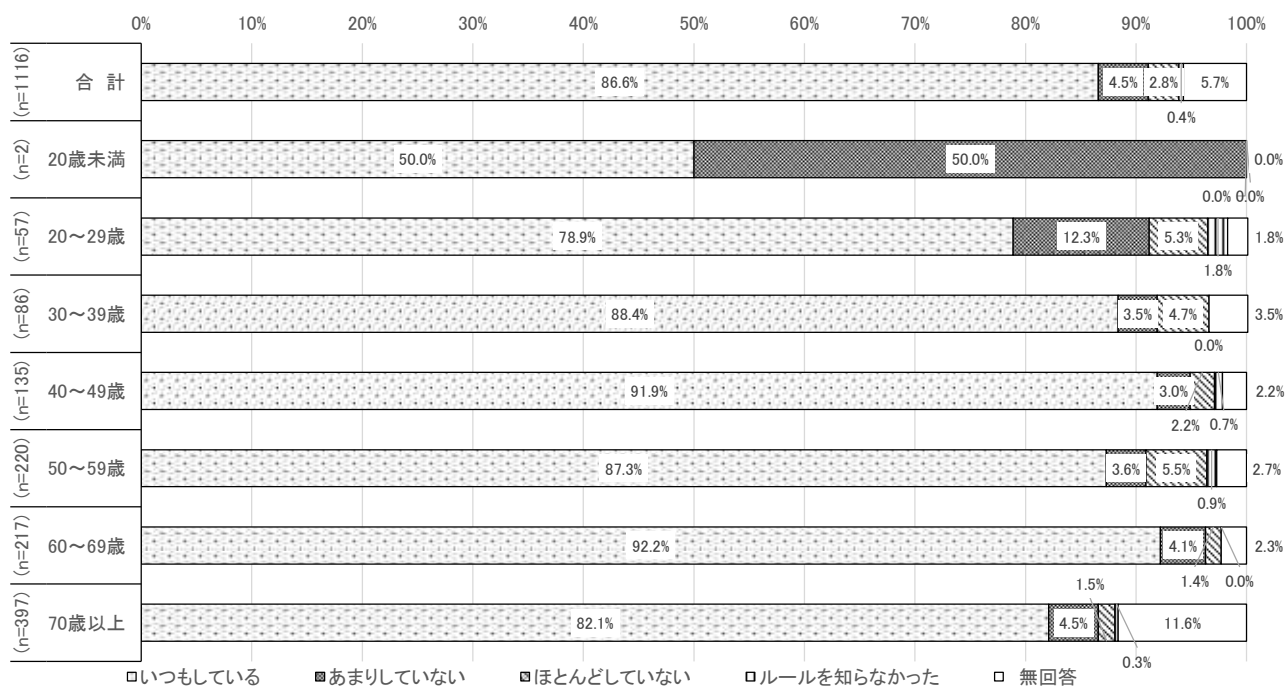
「①いつもしている」の割合が最も高く 86.6%となっている。次いで、無回答を除き「②あまりしていない (4.5%)」、「③ほとんどしていない (2.8%)」となっている。

図表 74 ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況



年齢別に見ると、「40～49 歳」の「いつもしている」の割合が 91.9%と最も高く、30 歳未満及び 70 歳以上になると「いつもしている」の割合が低い傾向にある。

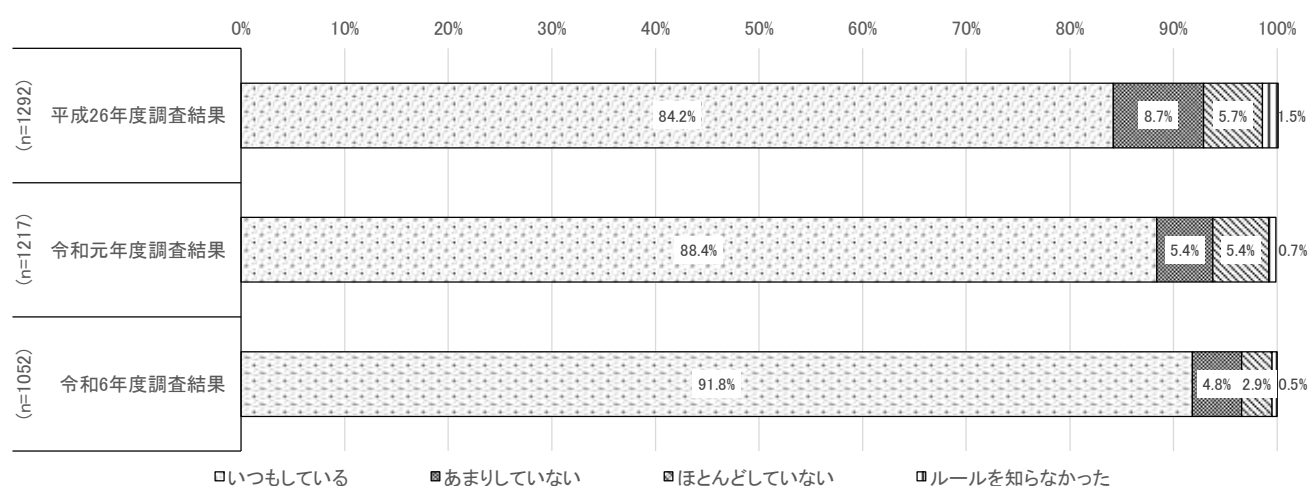
図表 75 ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況(年齢別)



	合 計	いつもしている	あまり していない	ほとんど していない	ルールを 知らなかった	無回答
合 計	1116 100.0%	966 86.6%	50 4.5%	31 2.8%	5 0.4%	64 5.7%
20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	45 78.9%	7 12.3%	3 5.3%	1 1.8%	1 1.8%
30～39歳	86 100.0%	76 88.4%	3 3.5%	4 4.7%	0 0.0%	3 3.5%
40～49歳	135 100.0%	124 91.9%	4 3.0%	3 2.2%	1 0.7%	3 2.2%
50～59歳	220 100.0%	192 87.3%	8 3.6%	12 5.5%	2 0.9%	6 2.7%
60～69歳	217 100.0%	200 92.2%	9 4.1%	3 1.4%	0 0.0%	5 2.3%
70歳以上	397 100.0%	326 82.1%	18 4.5%	6 1.5%	1 0.3%	46 11.6%

「いつもしている」の割合が、平成 26 年度調査では 84.2%、令和元年度調査では 88.4%、令和 6 年度調査では 91.8%と年々高くなっていることから、ペットボトルのラベルを外すことの認知度が上がったことがうかがえる。

図表 76 平成 26 年度及び令和元年度調査結果との比較



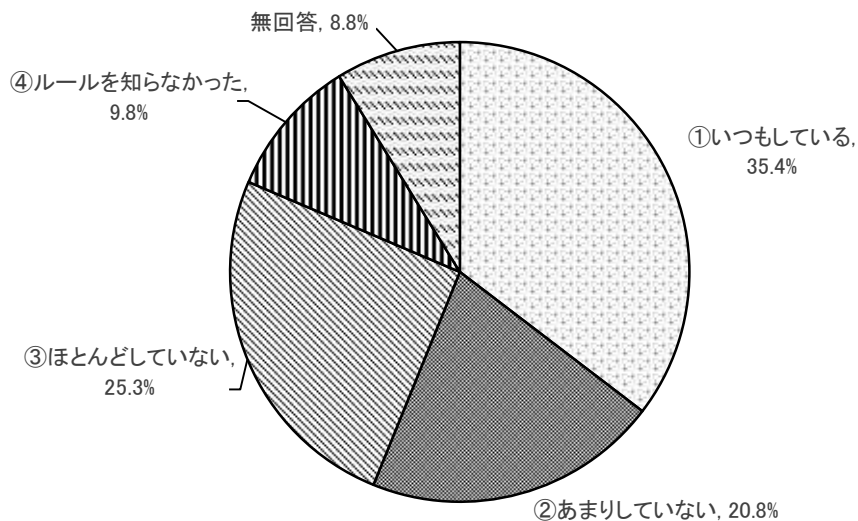
※無回答を除いて集計

(3) ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況

「①いつもしている」の割合が最も高く 35.4%となっている。次いで、「③ほとんどしていない (25.3%)」、「②あまりしていない (20.8%)」となっている。

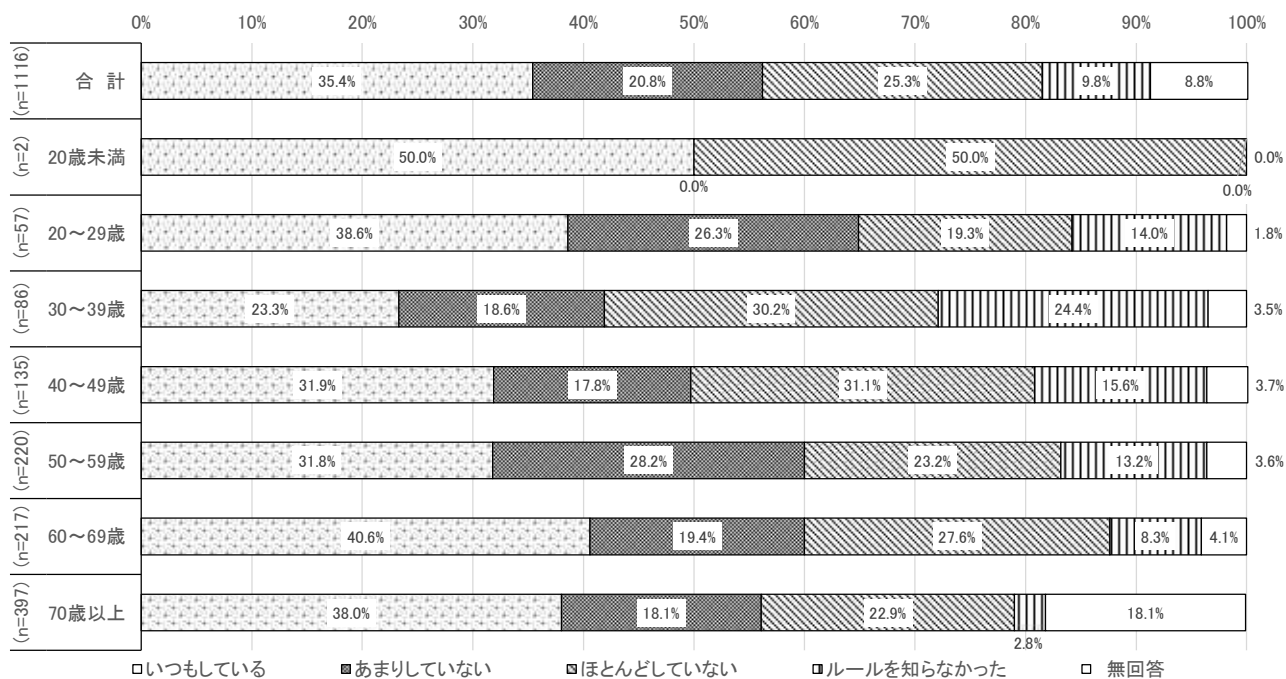
図表 77 ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況

(n=1116)



年齢別に見ると、30代以降については、年齢が高いほど「ルールを知らなかった」の割合が低い傾向にある。

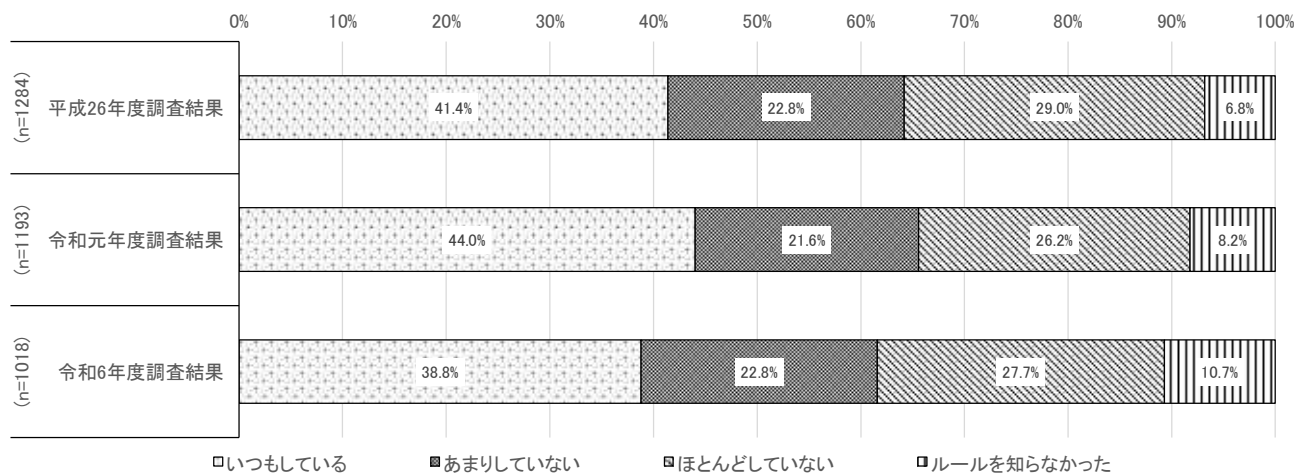
図表 78 ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況(年齢別)



	合 計	いつもしている	あまり していない	ほとんど していない	ルールを 知らなかった	無回答
合 計	1116 100.0%	395 35.4%	232 20.8%	282 25.3%	109 9.8%	98 8.8%
20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	22 38.6%	15 26.3%	11 19.3%	8 14.0%	1 1.8%
30～39歳	86 100.0%	20 23.3%	16 18.6%	26 30.2%	21 24.4%	3 3.5%
40～49歳	135 100.0%	43 31.9%	24 17.8%	42 31.1%	21 15.6%	5 3.7%
50～59歳	220 100.0%	70 31.8%	62 28.2%	51 23.2%	29 13.2%	8 3.6%
60～69歳	217 100.0%	88 40.6%	42 19.4%	60 27.6%	18 8.3%	9 4.1%
70歳以上	397 100.0%	151 38.0%	72 18.1%	91 22.9%	11 2.8%	72 18.1%

「ルールを知らなかった」の割合が、平成 26 年度調査では 6.8%、令和元年度調査では 8.2%、令和 6 年度調査では 10.7%と年々高くなっていることから、ペットボトルをつぶすことの認知度が低くなっていることがうかがえる。

図表 79 平成 26 年度及び令和元年度調査結果との比較



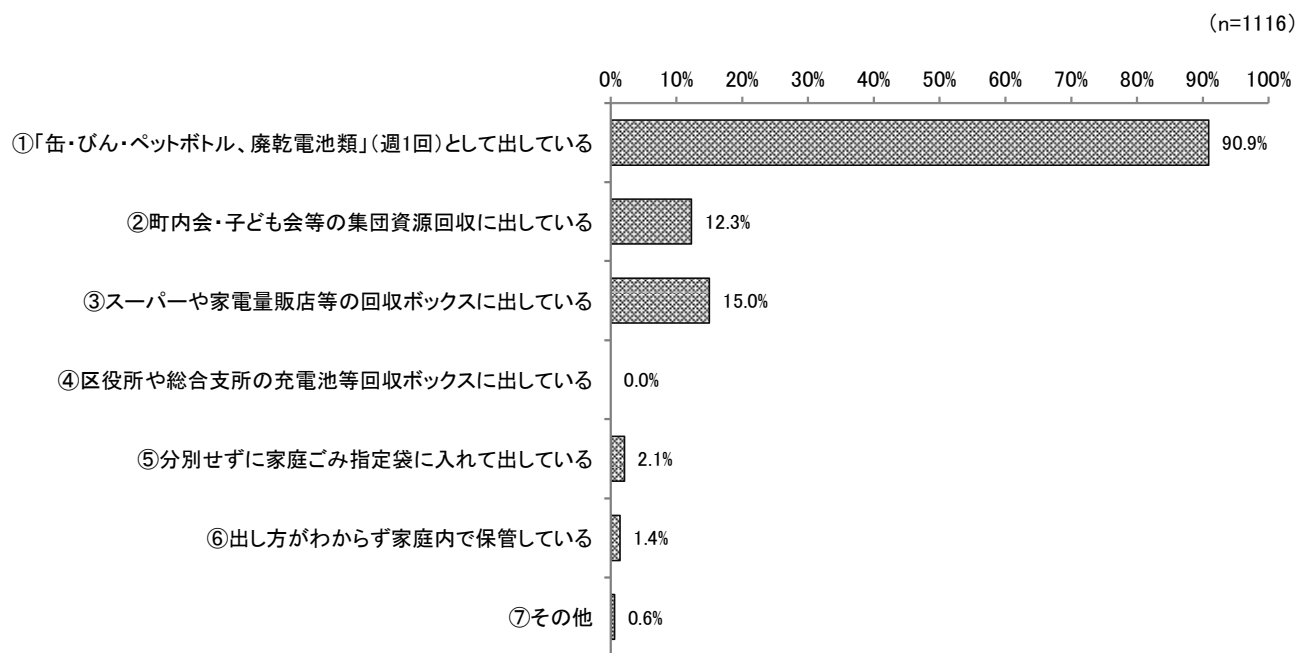
※無回答を除いて集計

2.2.9 缶・びん・ペットボトル、小型充電式電池の排出ルート

(1) 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート

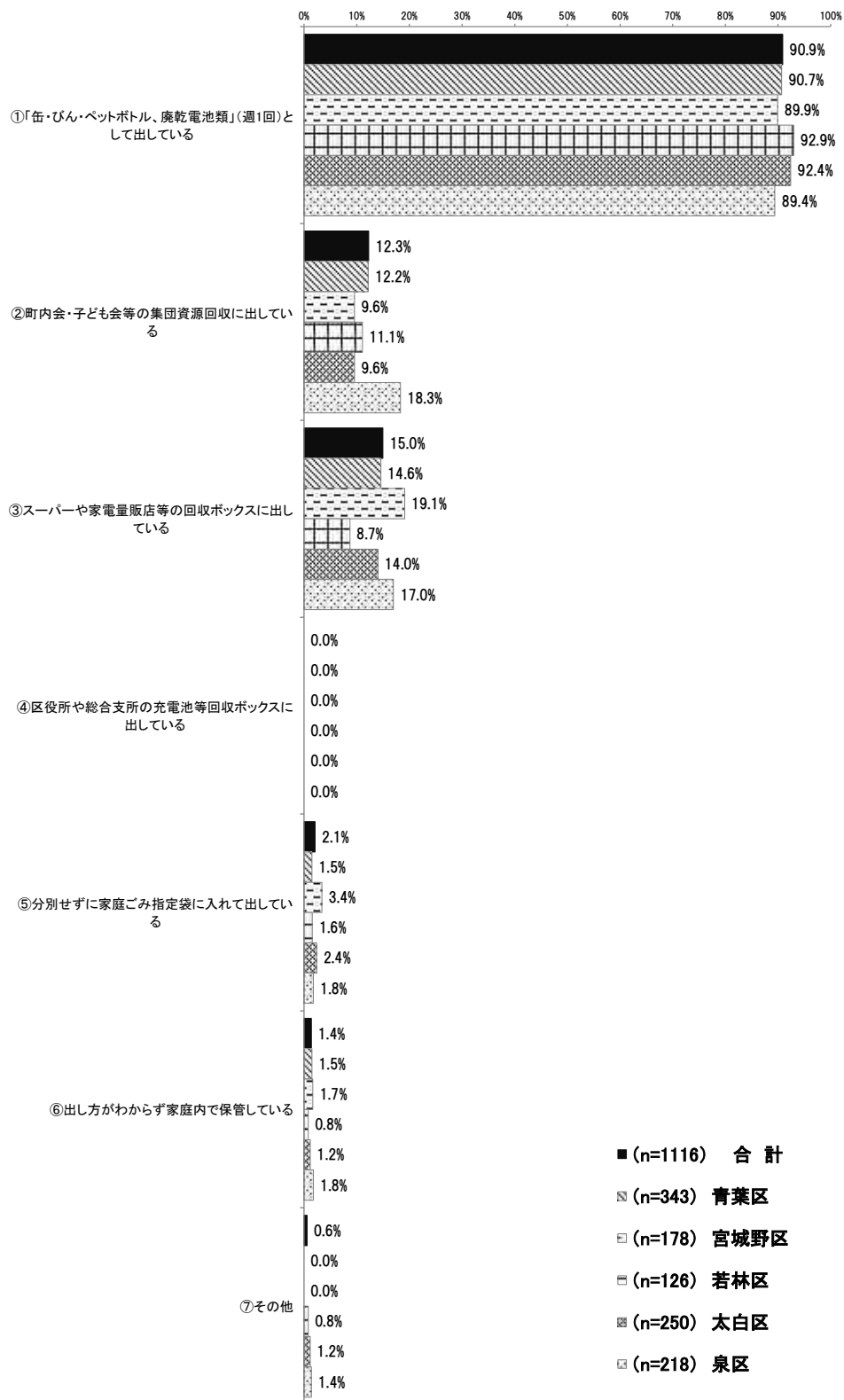
「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高く90.9%となっている。次いで、「③スーパーや家電量販店等の回収ボックスに出している(15.0%)」、「②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している(12.3%)」となっている。

図表 80 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート ※該当するものすべてを回答



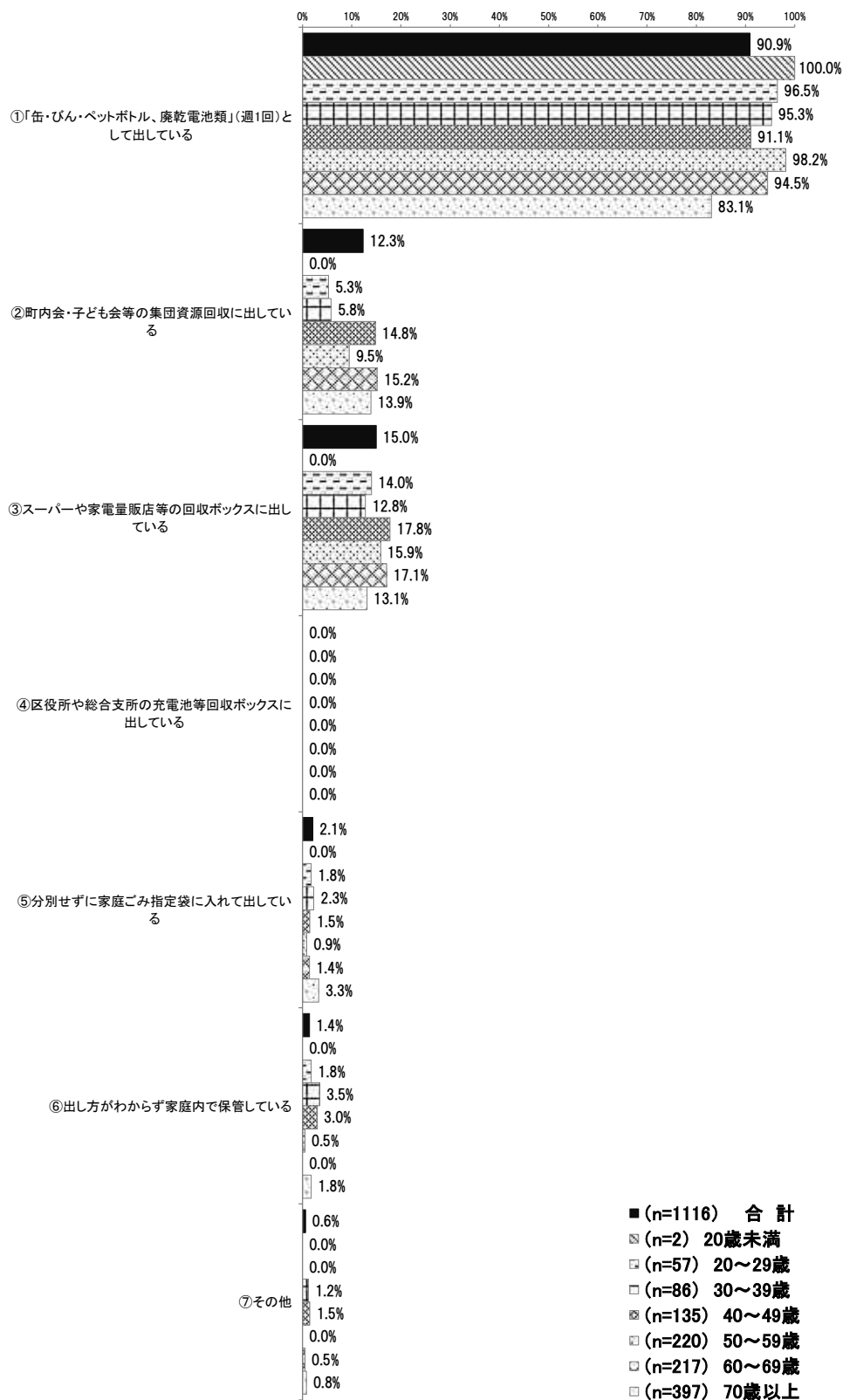
居住区別に見ると、いずれも「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高い。泉区は、他の居住区と比べると、「②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している」割合が高い。

図表 81 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート（居住区別）



年齢別に見ると、いずれも「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高い。

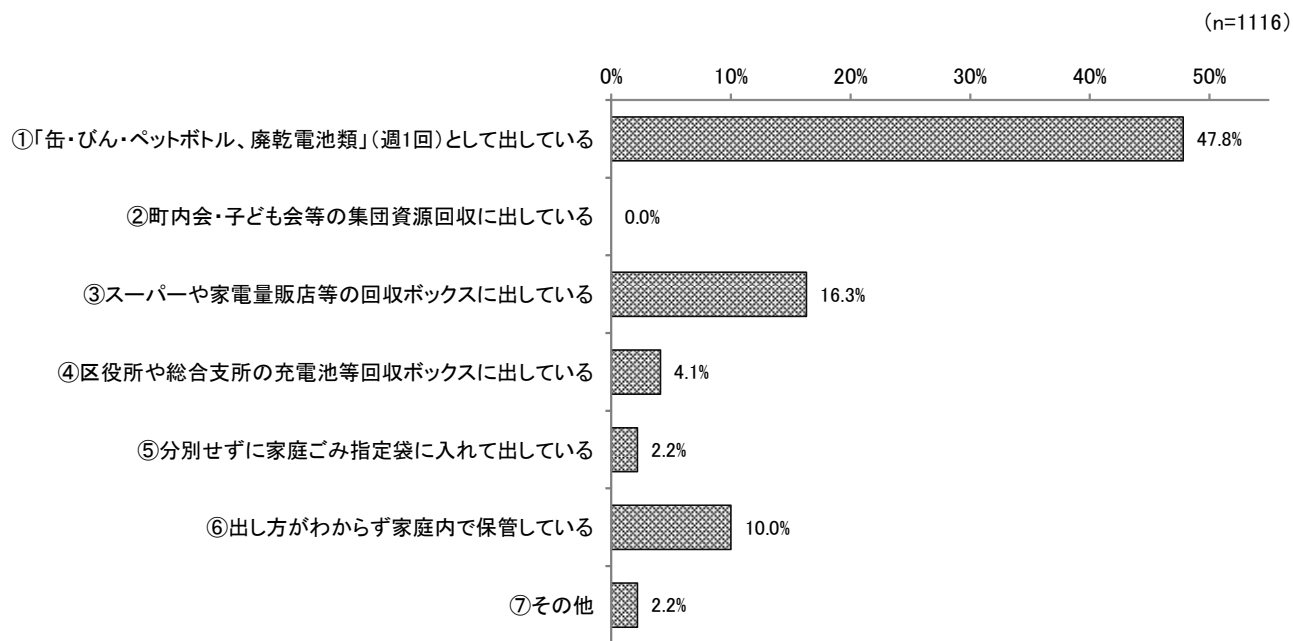
図表 82 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート(年齢別)



(2) 小型充電式電池の市の収集以外の排出ルート

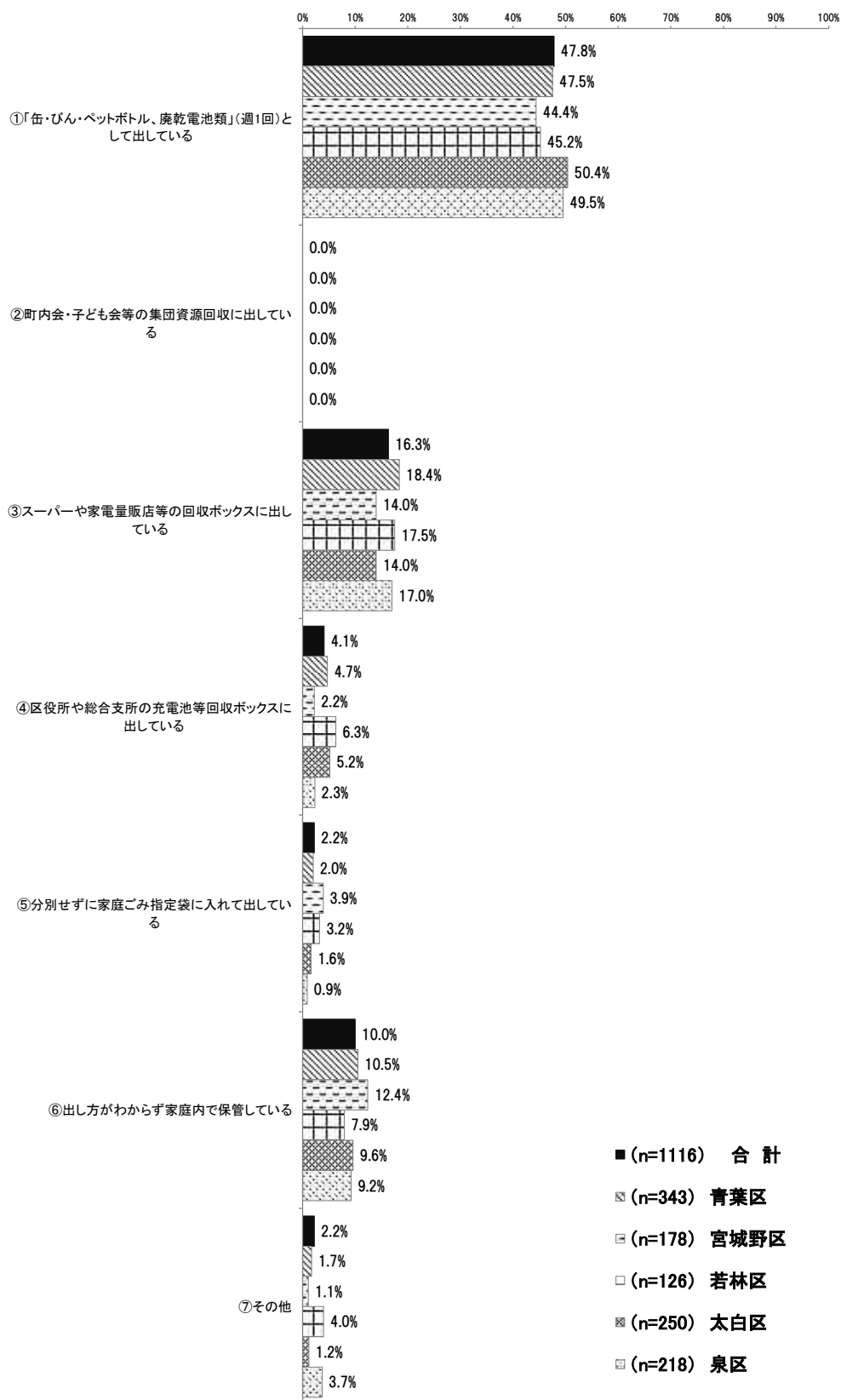
「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高く47.8%となっている。次いで、「③スーパーや家電量販店等の回収ボックスに出している(16.3%)」、「⑥出し方がわからず家庭内で保管している(10.0%)」となっている。

図表 83 小型充電式電池の排出ルート



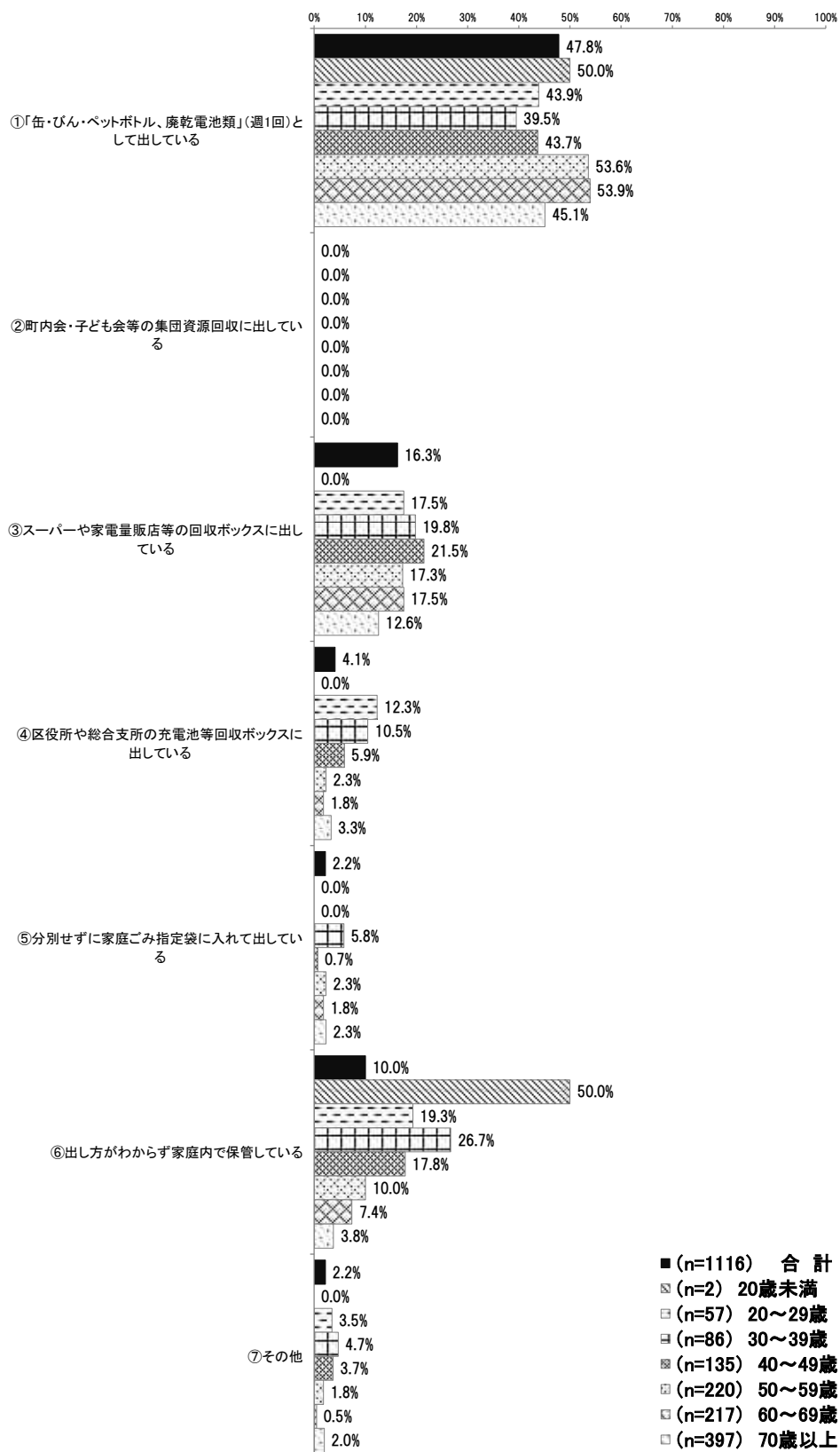
居住区別に見ると、いずれも「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高い。

図表 84 小型充電式電池の排出ルート(居住区別)



年齢別に見ると、「⑥出し方がわからず家庭内で保管している」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 85 小型充電式電池の排出ルート(年齢別)

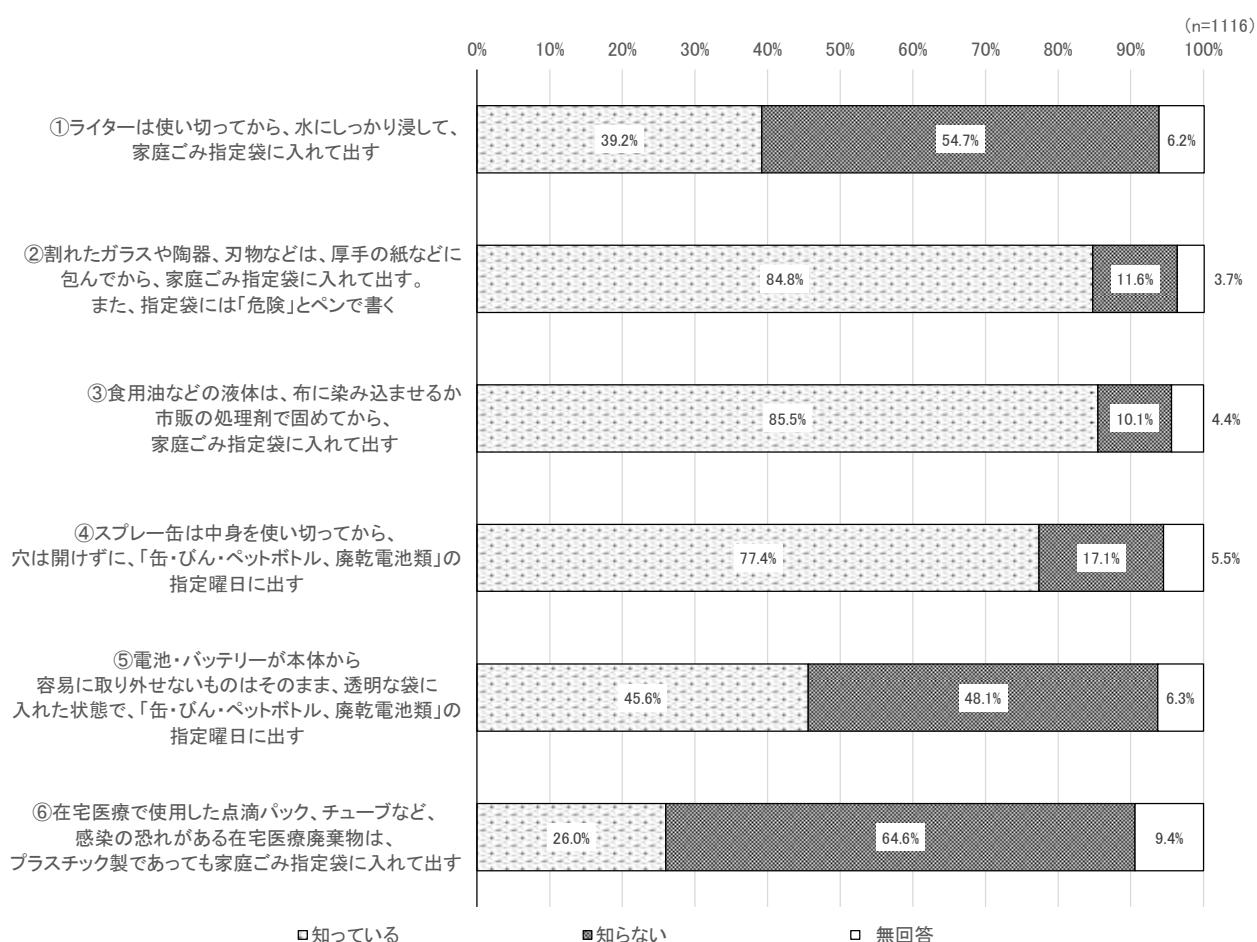


2.2.10 収集・処理工程の安全確保のための排出行動

「知っている」の割合が高いごみの出し方は、「③食用油などの液体は、布に染み込ませるか市販の処理剤で固めてから、家庭ごみ指定袋に入れて出す（85.5%）」、「②割れたガラスや陶器、刃物などは、厚手の紙などに包んでから、家庭ごみ指定袋に入れて出す。また、指定袋には「危険」とペンで書く（84.8%）」となっている。

「知らない」の割合が高いごみの出し方は、「⑥在宅医療で使用した点滴パック、チューブなど、感染の恐れがある在宅医療廃棄物は、プラスチック製であっても家庭ごみ指定袋に入れて出す（64.6%）」、「①ライターは使い切ってから、水にしっかり浸して、家庭ごみ指定袋に入れて出す（54.7%）」となっている。

図表 86 収集・処理工程の安全確保のための排出行動



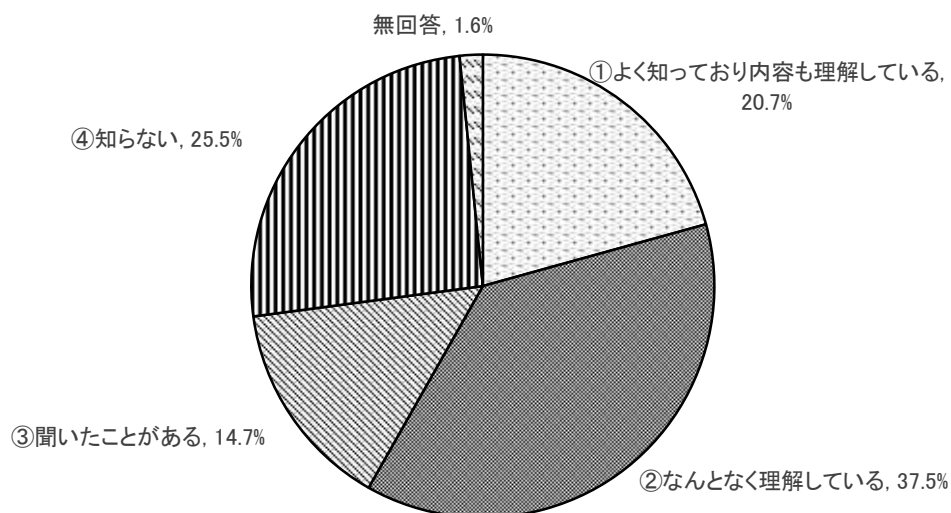
2.3 ごみの減量・3R・循環経済の取り組み等について

2.3.1 「3R」の認知度

「②なんとなく理解している」の割合が最も高く 37.5%となっている。次いで、「④知らない (25.5%)」、「①よく知っており内容も理解している (20.7%)」となっている。

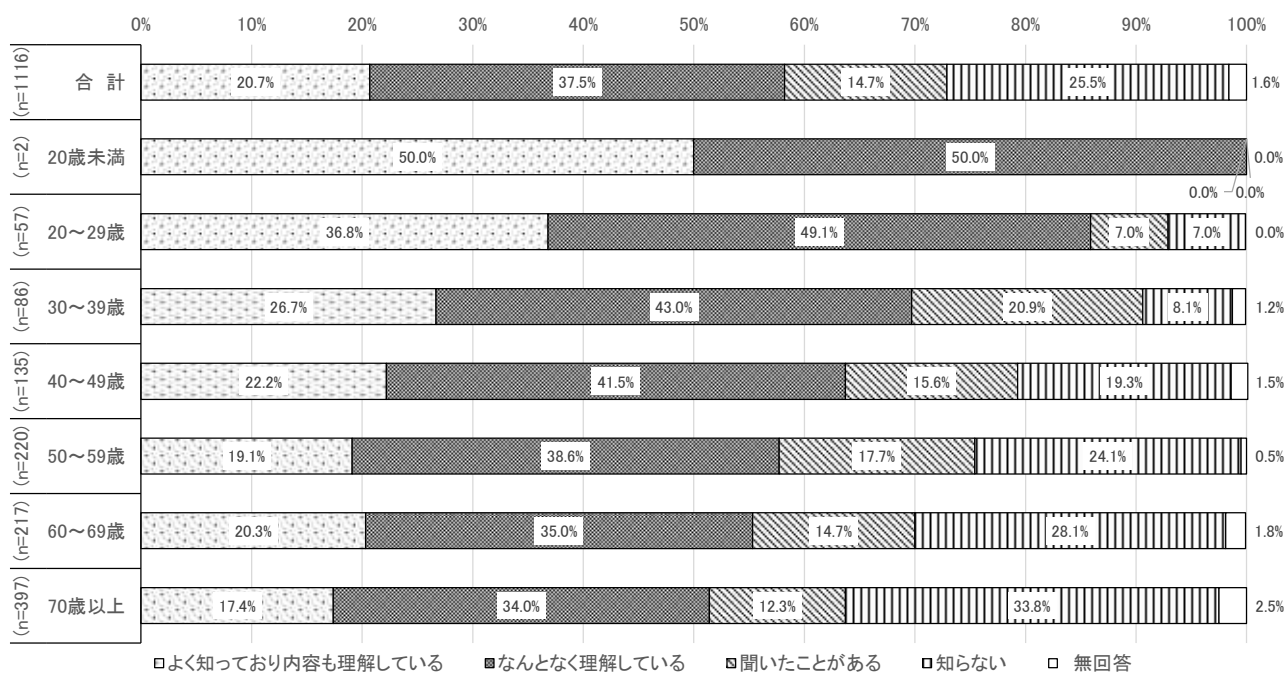
図表 87 3R の認知度

(n=1116)



年齢別に見ると、「よく知っており内容も理解している」と「なんとなく理解している」の割合の合計は年齢が高いほど低い傾向にある。

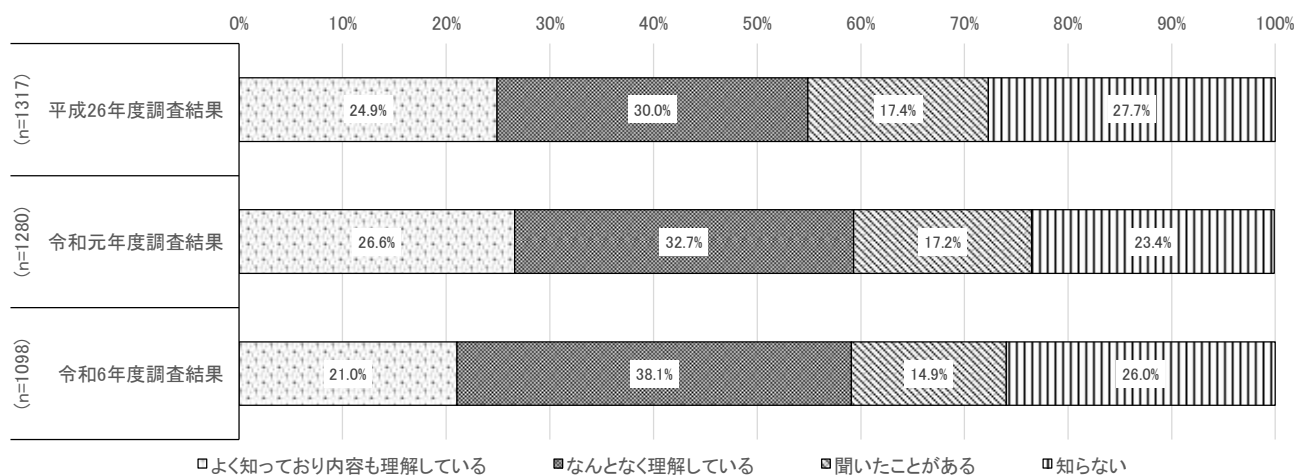
図表 88 3R の認知度(年齢別)



	合 計	よく知っており 内容も理解 している	なんとなく理 解している	聞いたことが ある	知らない	無回答
合 計	1116 100.0%	231 20.7%	418 37.5%	164 14.7%	285 25.5%	18 1.6%
20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	21 36.8%	28 49.1%	4 7.0%	4 7.0%	0 0.0%
30～39歳	86 100.0%	23 26.7%	37 43.0%	18 20.9%	7 8.1%	1 1.2%
40～49歳	135 100.0%	30 22.2%	56 41.5%	21 15.6%	26 19.3%	2 1.5%
50～59歳	220 100.0%	42 19.1%	85 38.6%	39 17.7%	53 24.1%	1 0.5%
60～69歳	217 100.0%	44 20.3%	76 35.0%	32 14.7%	61 28.1%	4 1.8%
70歳以上	397 100.0%	69 17.4%	135 34.0%	49 12.3%	134 33.8%	10 2.5%

令和6年度調査は、令和元年度調査よりも「よく知っており内容も理解している」の割合が5.6ポイント低くなり、「なんとなく理解している」の割合が5.4ポイント、「知らない」の割合が2.6ポイント高くなっていることから、3Rの認知度が低くなっていることがうかがえる。

図表 89 平成26年度及び令和元年度調査結果との比較

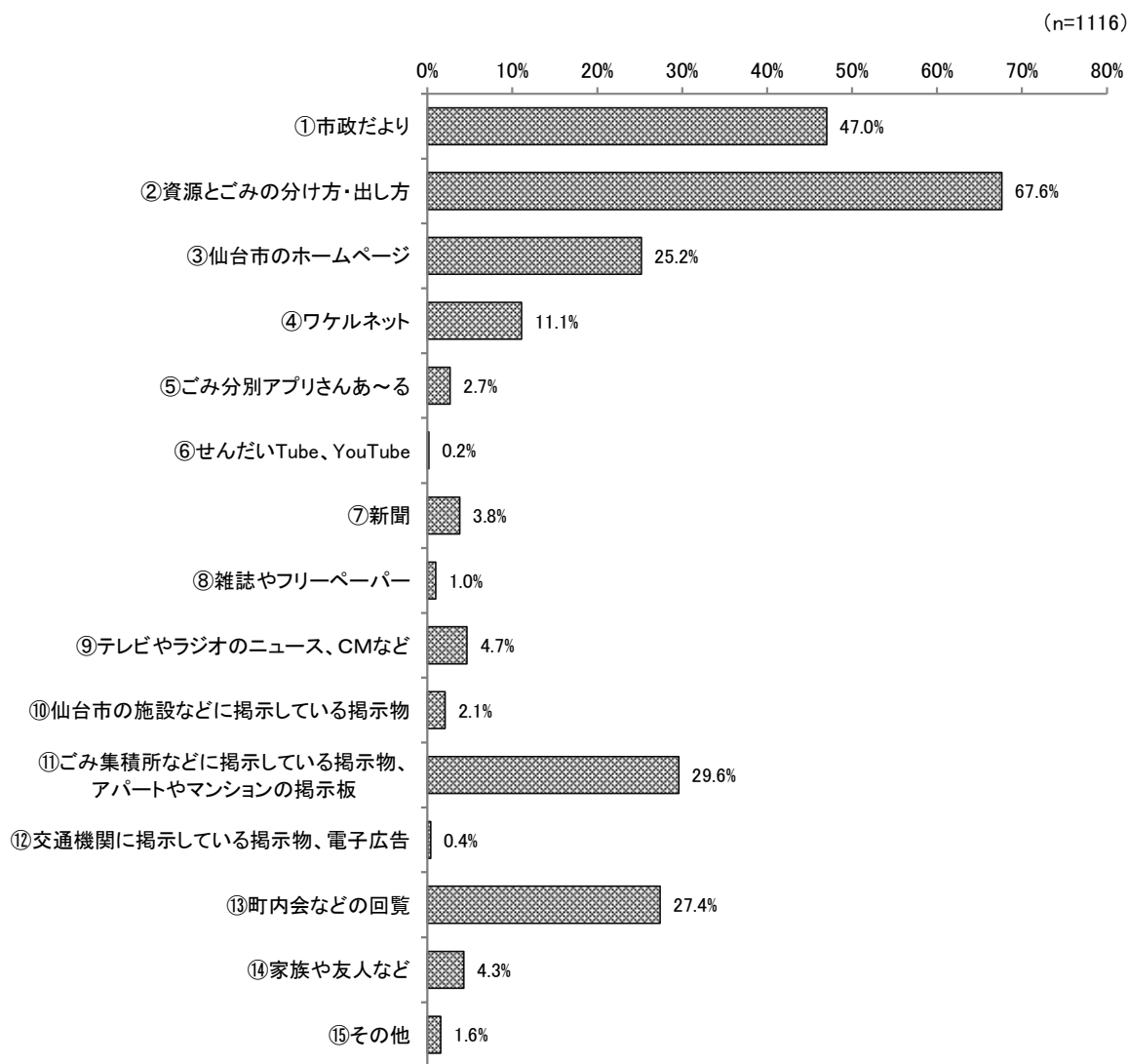


※無回答を除いて集計

2.3.2 ごみに関する情報を知る方法

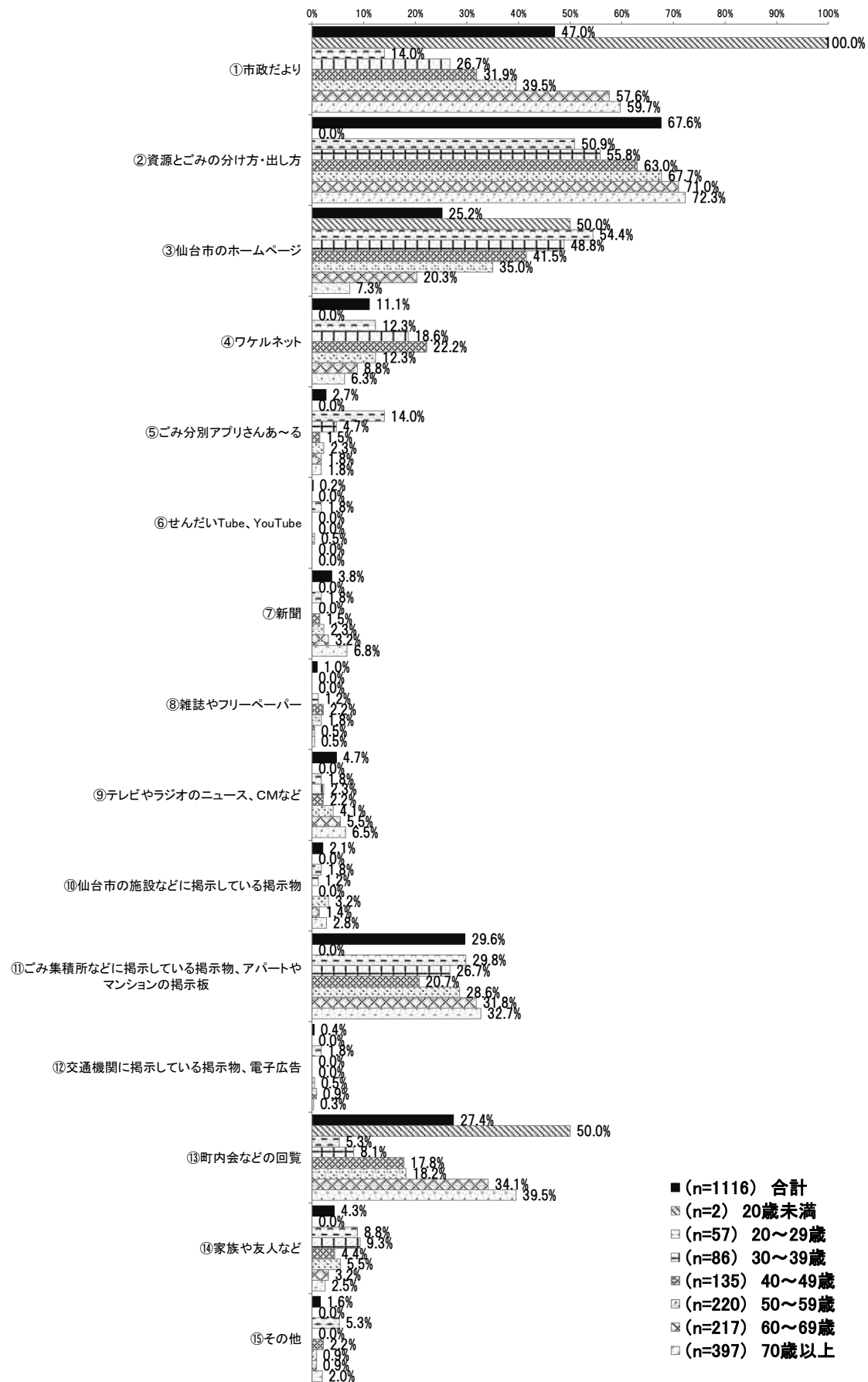
「②資源とごみの分け方・出し方」の割合が最も高く 67.6%となっている。次いで、「①市政だより（47.0%）」、「⑪ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板（29.6%）」となっている。

図表 90 ごみに関する情報を知る方法 ※該当するもの3つまで回答



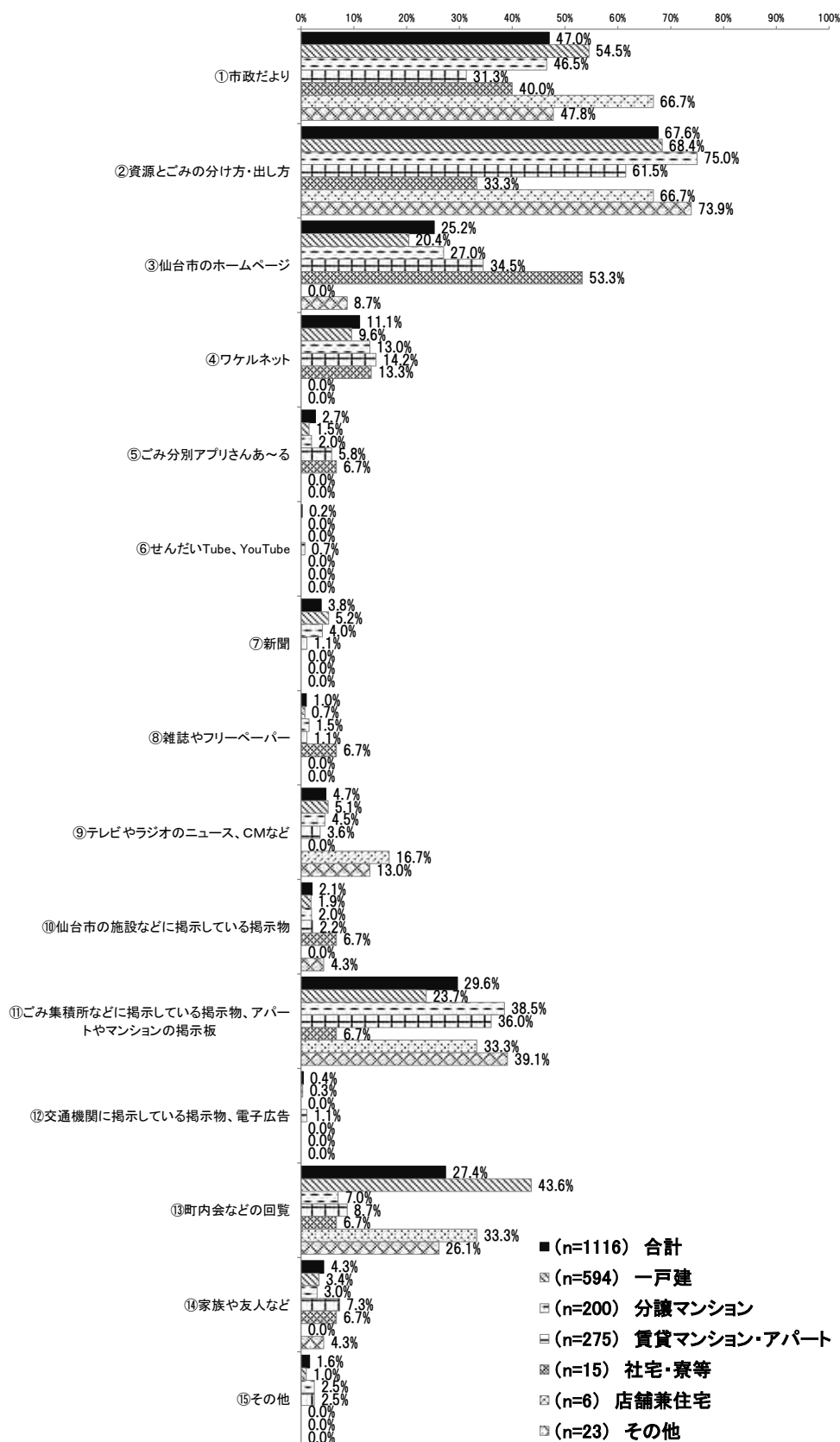
年齢別に見ると、「①市政だより」、「②資源とごみの分け方・出し方」「⑬町内会などの回覧」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。「③仙台市のホームページ」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。「④ワケルネット」の割合については、40代まで年齢が高くなるほど高いが、50代以降は年齢が上がるにつれ低い傾向にある。

図表 91 ごみに関する情報を知る方法(年齢別)



居住形態別に見ると、「社宅・寮等」以外は、いずれも「②資源とごみの分け方・出し方」の割合が最も高い。

図表 92 ごみに関する情報を知る方法(居住形態別)

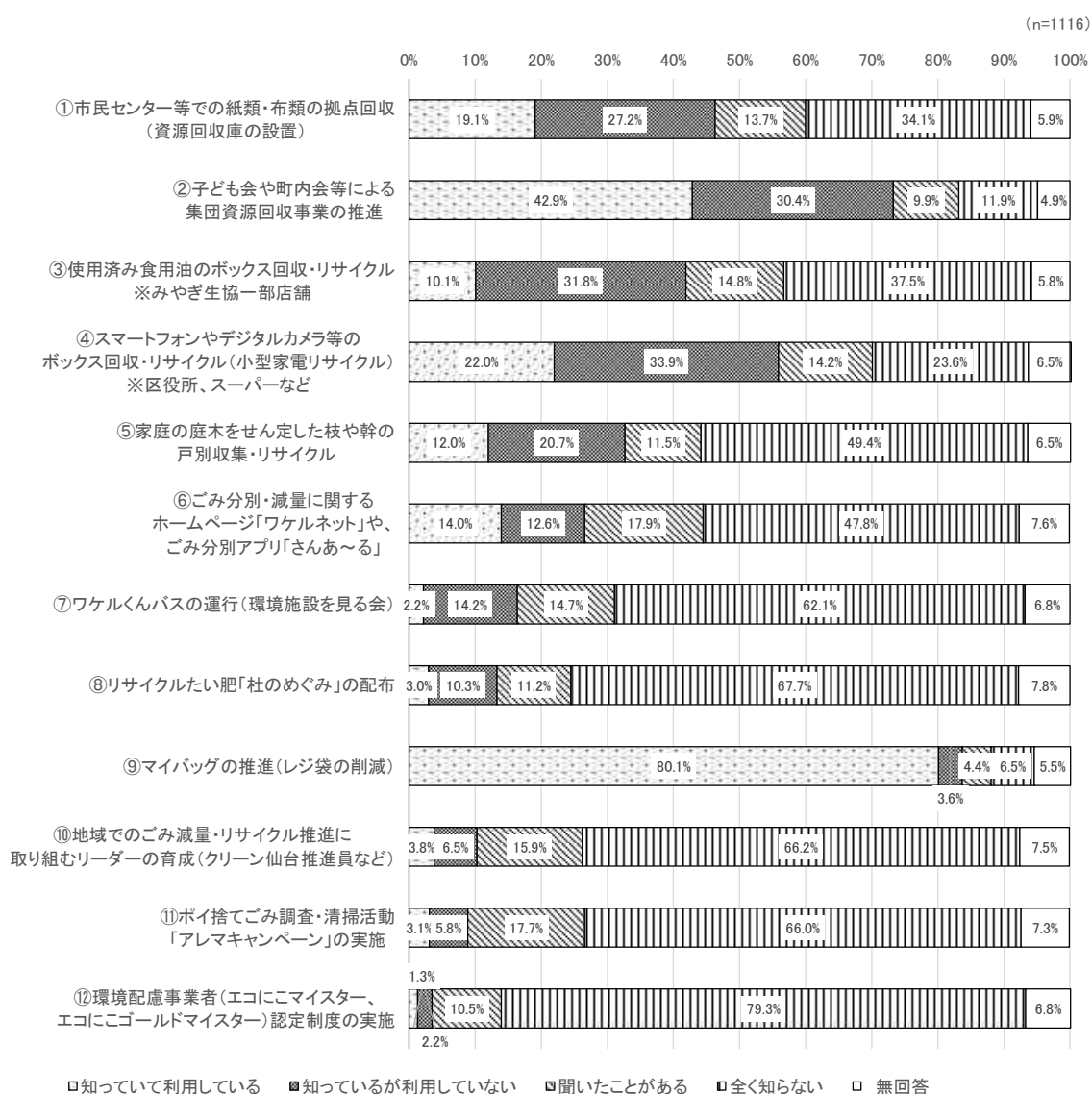


2.3.3 市のごみ減量・3R 推進に関する取り組みの認知度

「知っている利用している」の割合が高い取り組みは、「⑨マイバッグの推進（レジ袋の削減）（80.1%）」、「②子ども会や町内会等による集団資源回収事業の推進（42.9%）」、「④スマートフォンやデジタルカメラ等のボックス回収・リサイクル（小型家電リサイクル）※区役所、スーパーなど（22.0%）」となっている。

「全く知らない」の割合が高い取り組みは、「⑫環境配慮事業者（エコにこマイスター、エコにこゴールドマイスター）認定制度の実施（79.3%）」、「⑧リサイクルたい肥「杜のめぐみ」の配布（67.7%）」、「⑩地域でのごみ減量・リサイクル推進に取り組むリーダーの育成（クリーン仙台推進員など）（66.2%）」となっている。

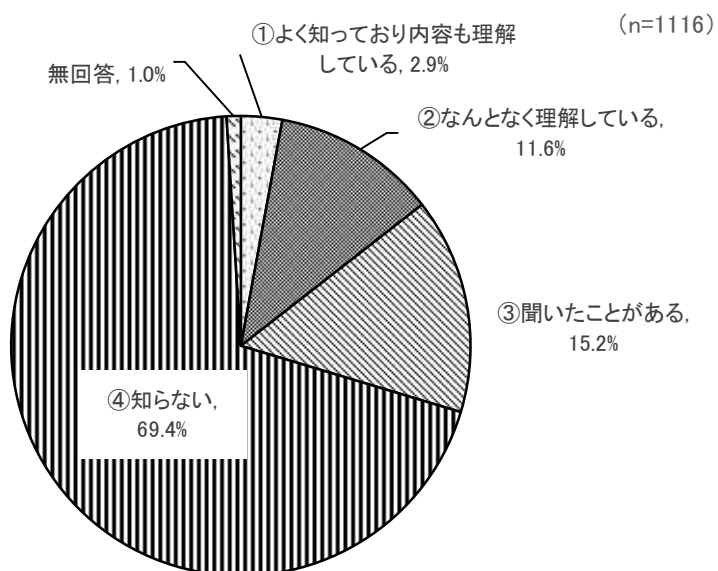
図表 93 市のごみ減量・3R 推進に関する取り組みの認知度



2.3.4 「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の認知度

「④知らない」の割合が最も高く 69.4%となっている。次いで、「③聞いたことがある（15.2%）」、「②なんとなく理解している（11.6%）」となっている。

図表 94 「循環経済（サーキュラーエコノミー）」の認知度

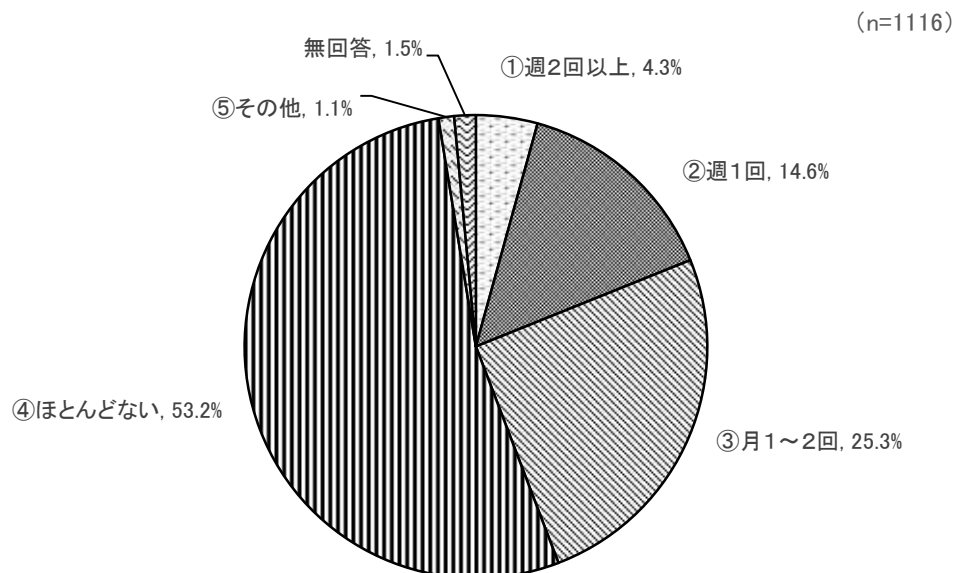


2.4 食品ロス・生ごみについて

2.4.1 食品ロスの排出頻度

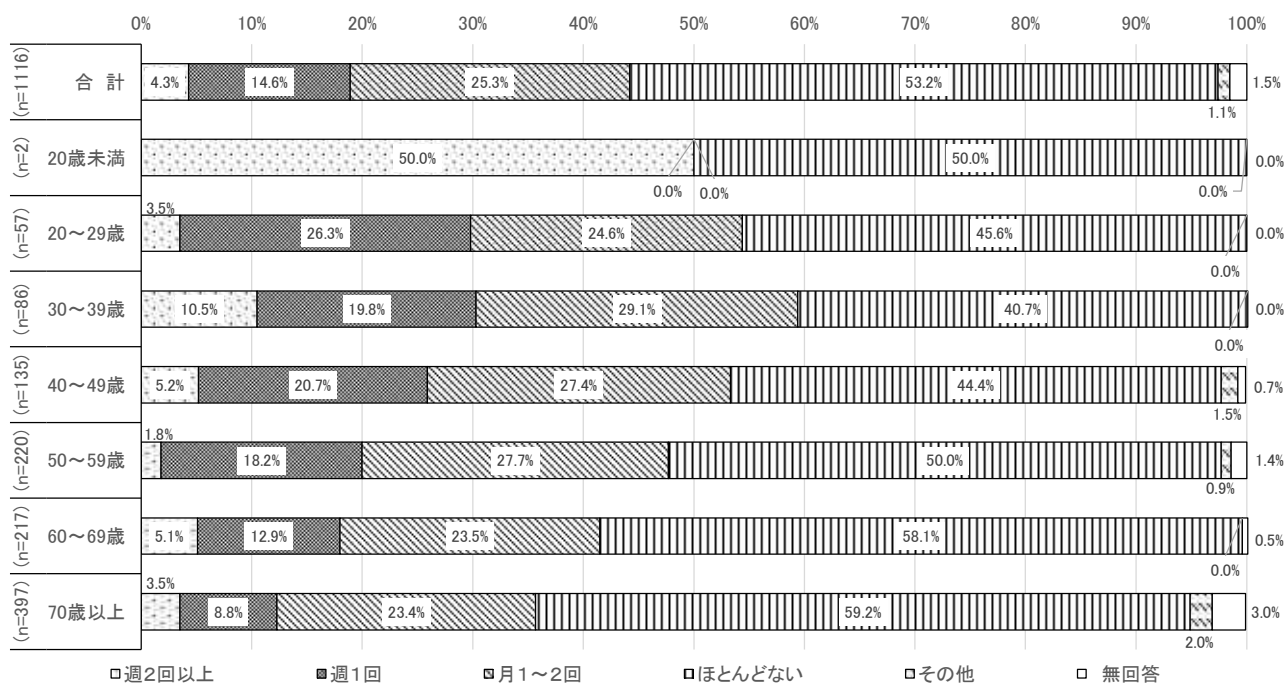
「④ほとんどない」の割合が最も高く 53.2%となっている。次いで、「③月1～2回 (25.3%)」、「②週1回 (14.6%)」となっている。

図表 95 食品ロスの排出頻度



年齢別に見ると、「ほとんどない」の割合は30歳以降、年齢が高いほど高い傾向にあり、「70歳以上」の割合は59.2%と最も高い。

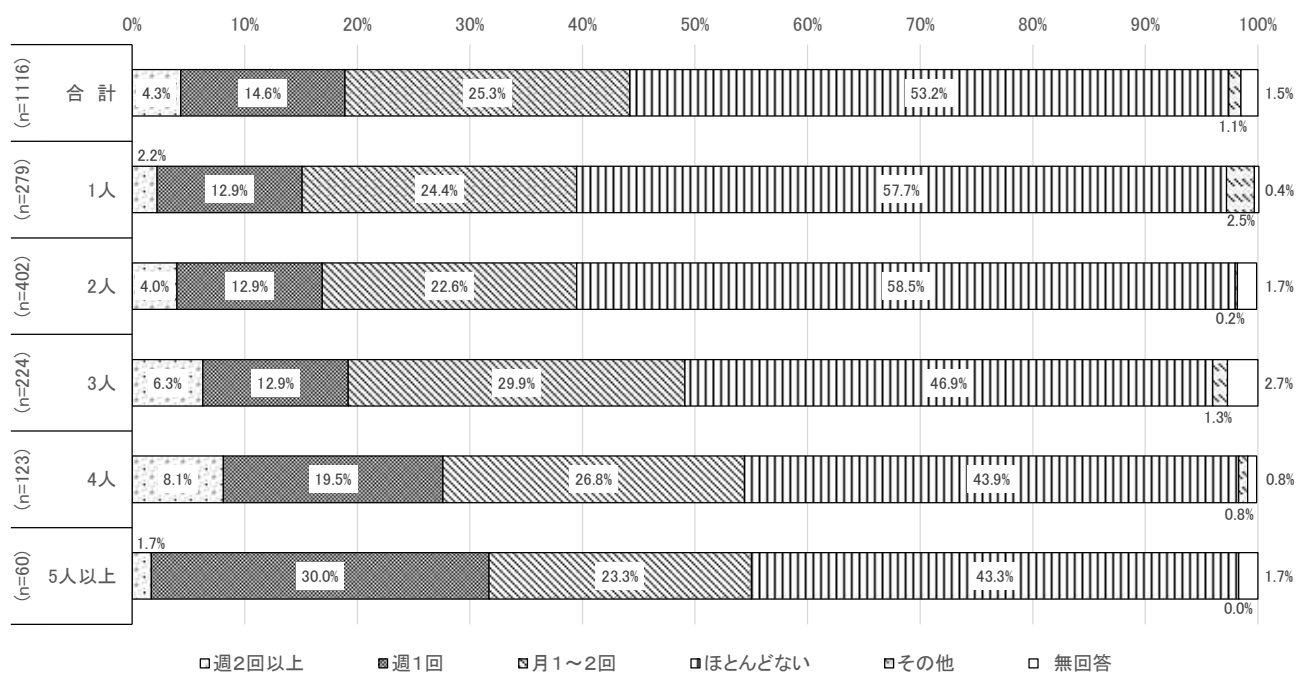
図表 96 食品ロスの排出頻度(年齢別)



	合 計	週2回以上	週1回	月1～2回	ほとんどない	その他	無回答
合 計	1116 100.0%	48 4.3%	163 14.6%	282 25.3%	594 53.2%	12 1.1%	17 1.5%
20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	2 3.5%	15 26.3%	14 24.6%	26 45.6%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	86 100.0%	9 10.5%	17 19.8%	25 29.1%	35 40.7%	0 0.0%	0 0.0%
40～49歳	135 100.0%	7 5.2%	28 20.7%	37 27.4%	60 44.4%	2 1.5%	1 0.7%
50～59歳	220 100.0%	4 1.8%	40 18.2%	61 27.7%	110 50.0%	2 0.9%	3 1.4%
60～69歳	217 100.0%	11 5.1%	28 12.9%	51 23.5%	126 58.1%	0 0.0%	1 0.5%
70歳以上	397 100.0%	14 3.5%	35 8.8%	93 23.4%	235 59.2%	8 2.0%	12 3.0%

同居人数別に見ると、「ほとんどない」の割合は、同居人数が多くなるにつれて低くなる傾向にある。

図表 97 食品ロスの排出頻度(同居人数別)

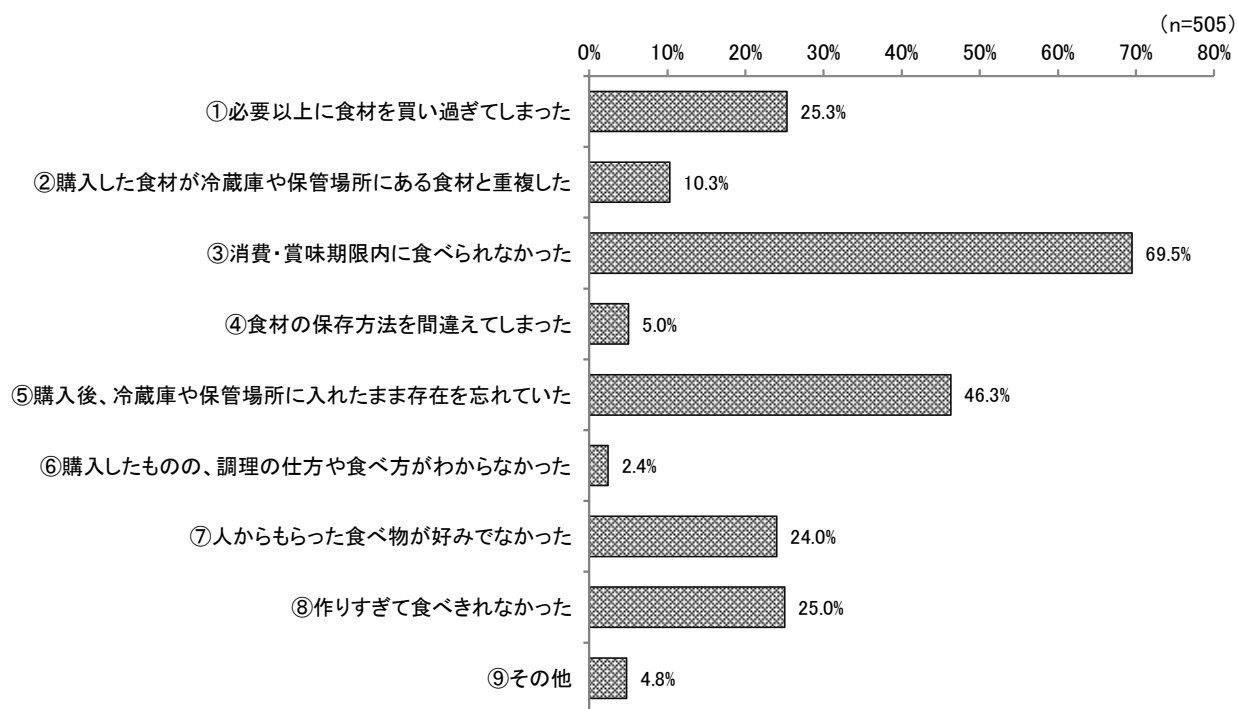


	合 計	週2回以上	週1回	月1～2回	ほとんどない	その他	無回答
合 計	1116 100.0%	48 4.3%	163 14.6%	282 25.3%	594 53.2%	12 1.1%	17 1.5%
1人	279 100.0%	6 2.2%	36 12.9%	68 24.4%	161 57.7%	7 2.5%	1 0.4%
2人	402 100.0%	16 4.0%	52 12.9%	91 22.6%	235 58.5%	1 0.2%	7 1.7%
3人	224 100.0%	14 6.3%	29 12.9%	67 29.9%	105 46.9%	3 1.3%	6 2.7%
4人	123 100.0%	10 8.1%	24 19.5%	33 26.8%	54 43.9%	1 0.8%	1 0.8%
5人以上	60 100.0%	1 1.7%	18 30.0%	14 23.3%	26 43.3%	0 0.0%	1 1.7%

2.4.2 食品ロスの排出要因

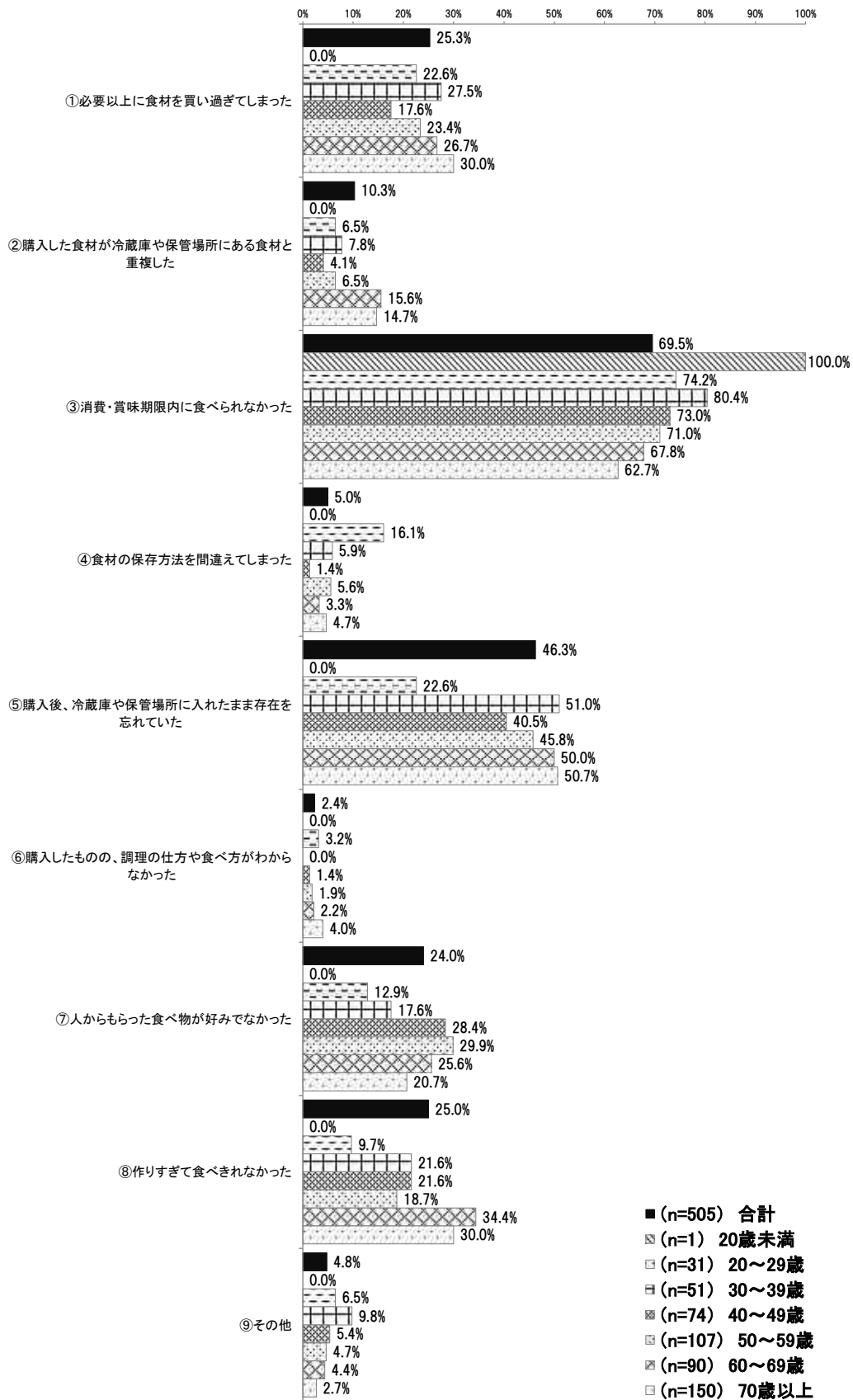
「③消費・賞味期限内に食べられなかった」の割合が最も高く 69.5%となっている。次いで、「⑤購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた (46.3%)」、「①必要以上に食材を買い過ぎてしまった (25.3%)」となっている。

図表 98 食品ロスの排出要因 ※該当するものすべてを回答



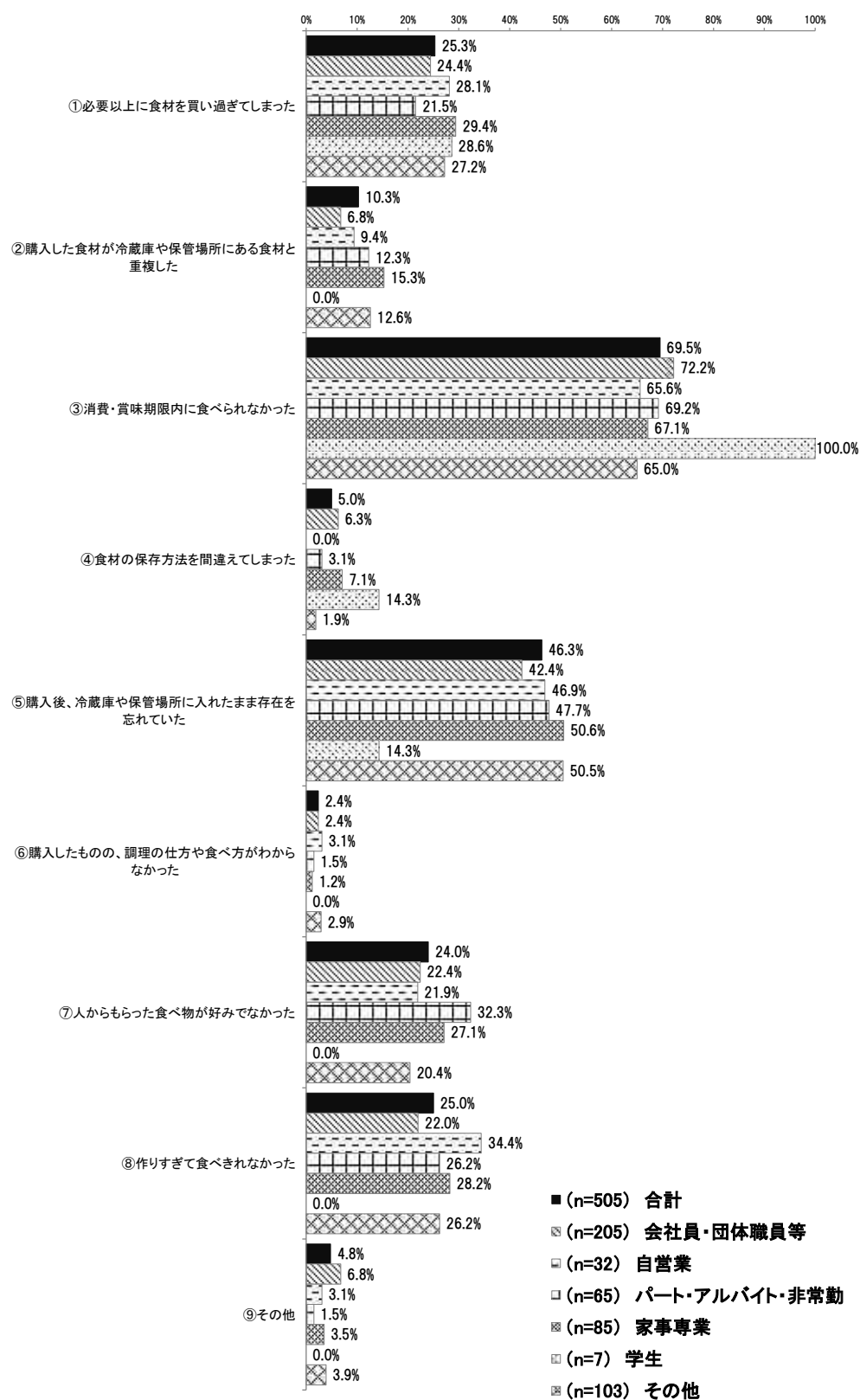
年齢別に見ると、「①必要以上に食材を買い過ぎてしまった」、「⑤購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。一方で、「③消費・賞味期限内に食べられなかった」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 99 食品ロスの排出要因(年齢別)



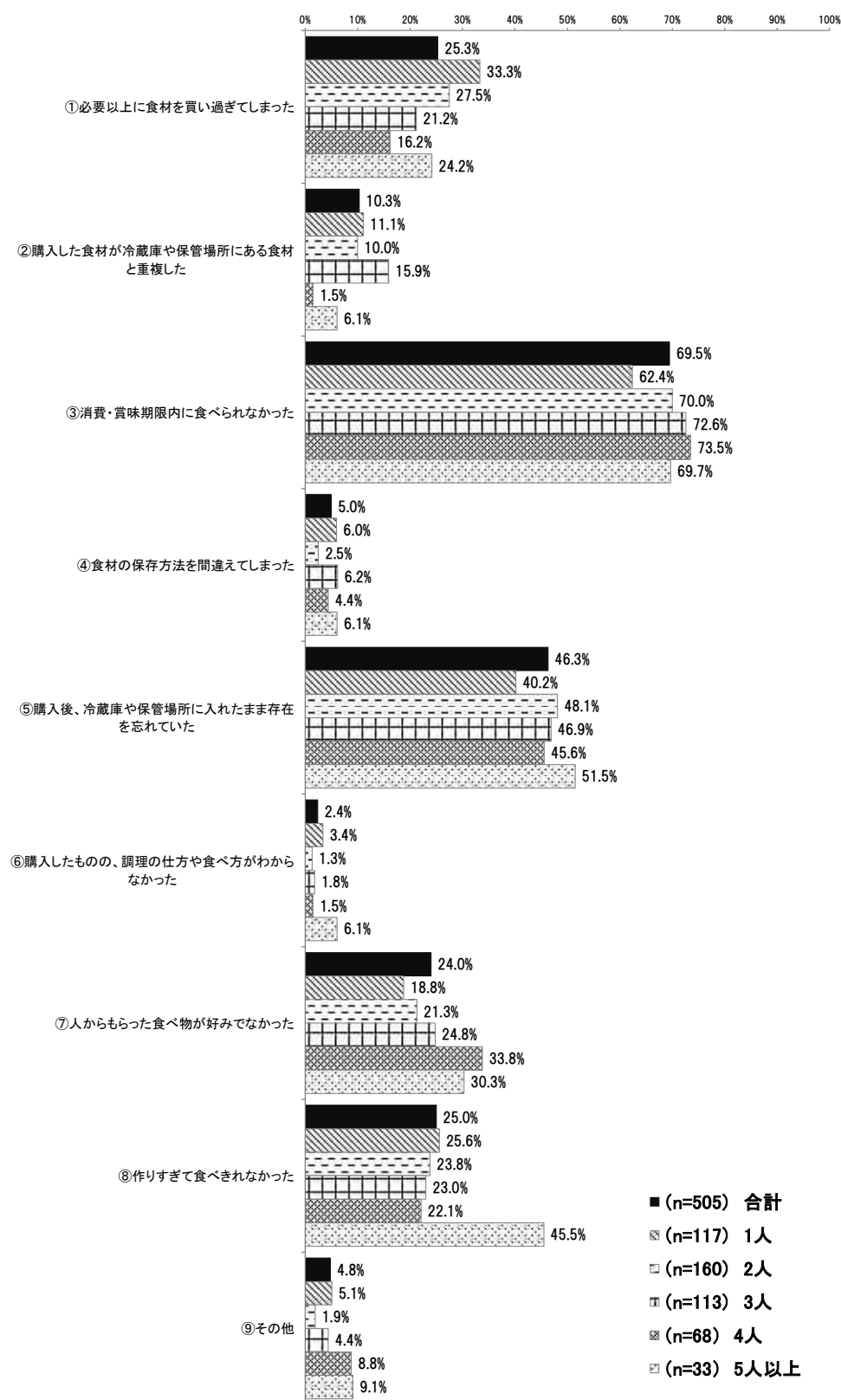
職業別に見ると、「パート・アルバイト・非常勤」における「⑦人からもらった食べ物が好みでなかった（32.3%）」、「自営業」における「⑧作りすぎて食べきれなかった（34.4%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 100 食品ロスの排出要因(職業別)



同居人数別に見ると、「1人」における「①必要以上に食材を買い過ぎてしまった（33.3%）」、「5人以上」における「⑧作りすぎて食べきれなかった（45.5%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

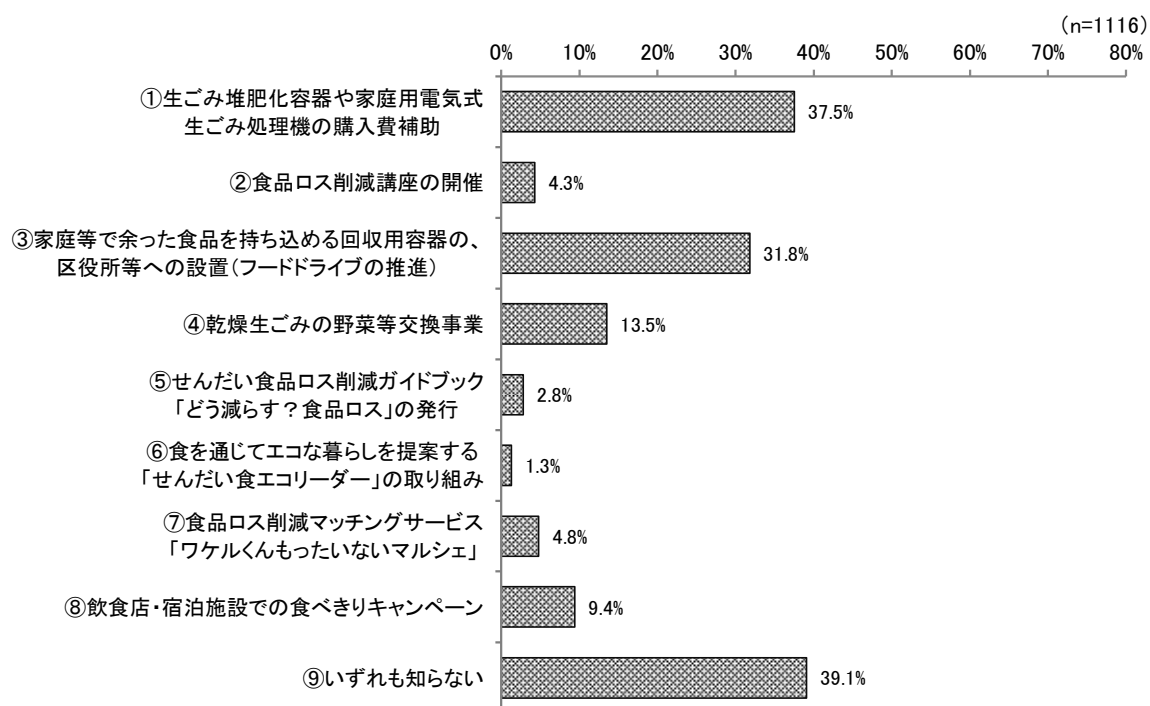
図表 101 食品ロスの排出要因(同居人数別)



2.4.3 市の食品ロス・生ゴミ削減のための取り組みの認知度

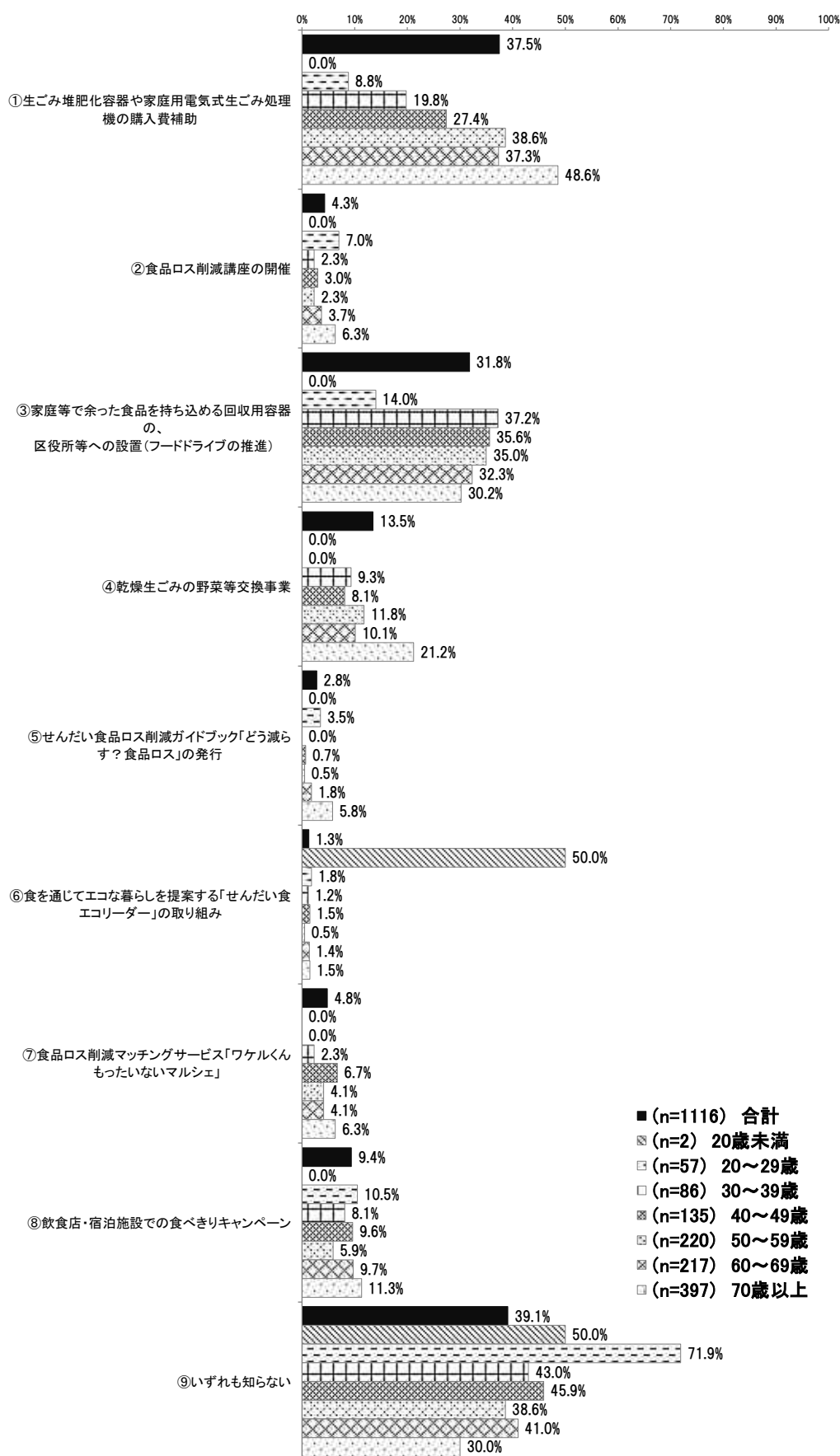
「⑨いずれも知らない」の割合が最も高く 39.1%となっている。次いで、「①生ゴミ堆肥化容器や家庭用電気式生ゴミ処理機の購入費補助（37.5%）」、「③家庭等で余った食品を持ち込める回収用容器の、区役所等への設置（フードドライブの推進）（31.8%）」となっている。

図表 102 市の食品ロス・生ゴミ削減のための取り組みの認知度 ※該当するものすべてを回答



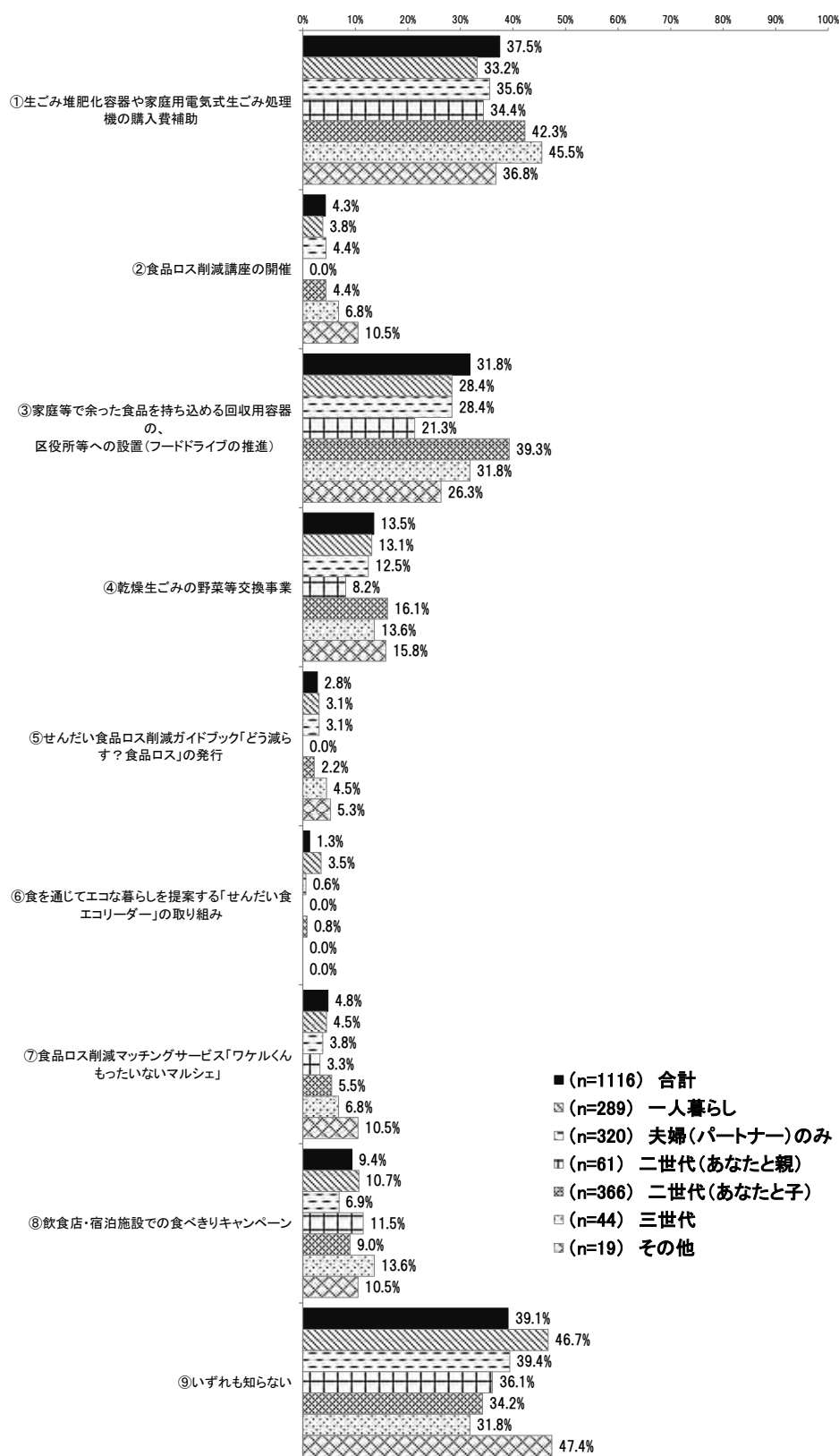
年齢別に見ると、「①生ゴミ堆肥化容器や家庭用電気式生ゴミ処理機の購入費補助」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。「③家庭等で余った食品を持ち込める回収用容器の、区役所等への設置」の割合は、30代以降は年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 103 市の食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの認知度(年齢別)



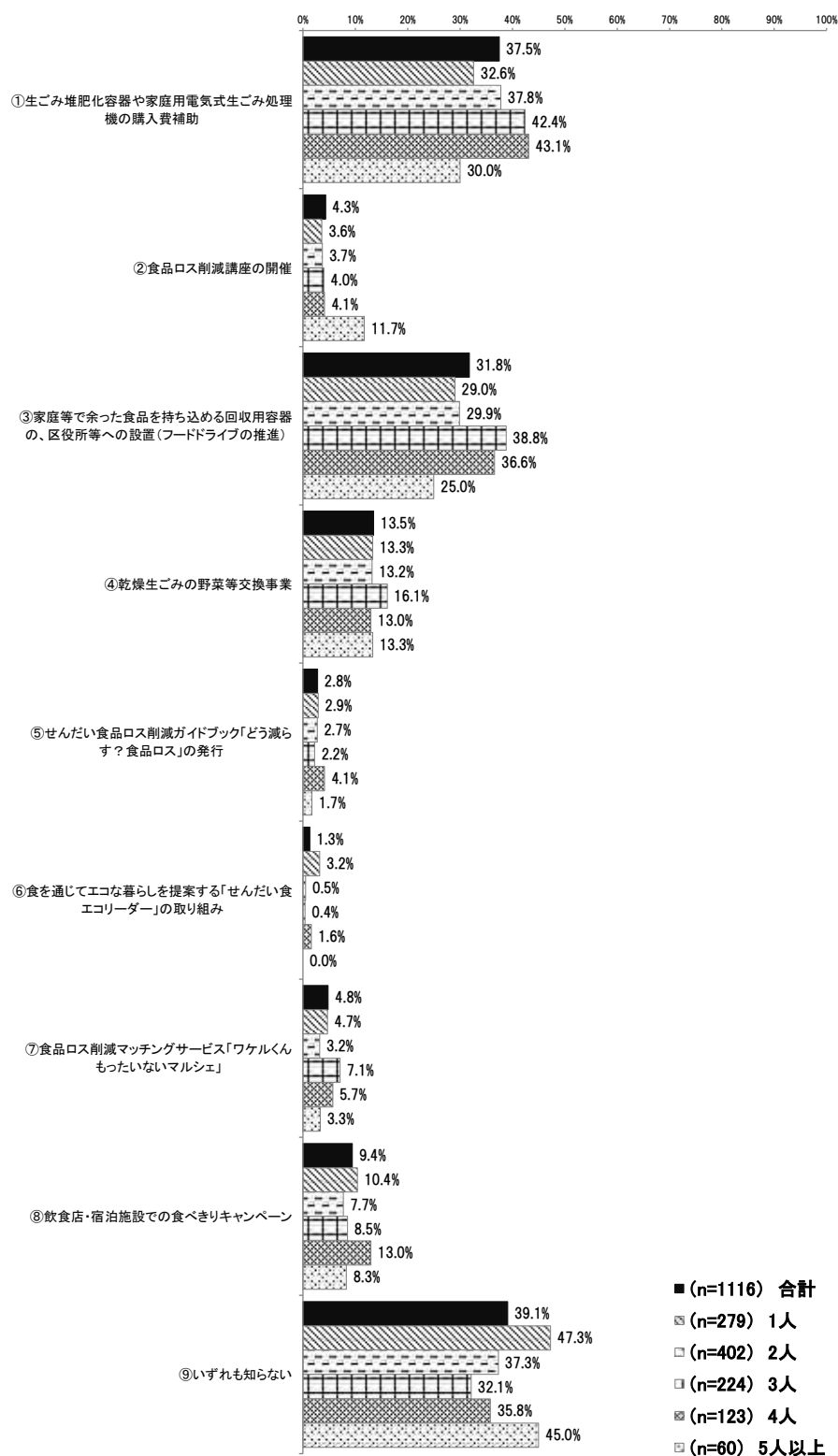
世帯構成別に見ると、「一人暮らし」における「⑨いずれも知らない（46.7%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 104 市の食品ロス・生ゴミ削減のための取り組みの認知度（世帯構成別）



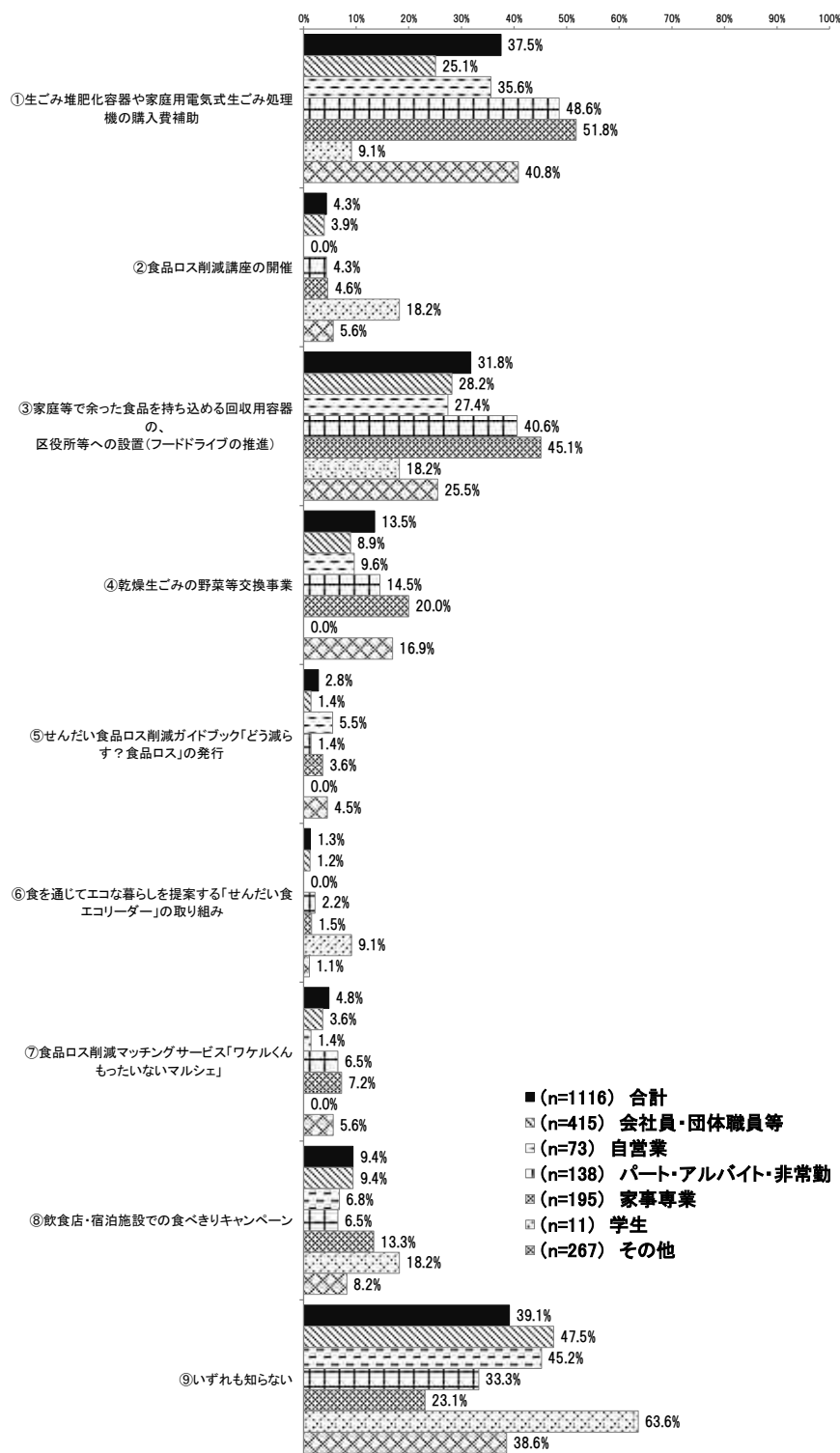
同居人数別に見ると、「⑨いずれも知らない」の割合は、「1人」が47.3%と最も高く、「1人」から「3人」までは減少傾向にあるが、3人以上は増加傾向にある。「①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助」の割合は、1～4人までは、同居人数が多いほど高くなる傾向がある。

図表 105 市の食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの認知度(同居人数別)



職業別に見ると、「パート・アルバイト・非常勤」及び「家事専業」における「①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助」、「③家庭等で余った食品を持ち込める回収用容器の、区役所等への設置（フードドライブの推進）」、「会社員・団体職員等」、「自営業」、「学生」における「⑨いずれも知らない」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 106 市の食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの認知度(職業別)

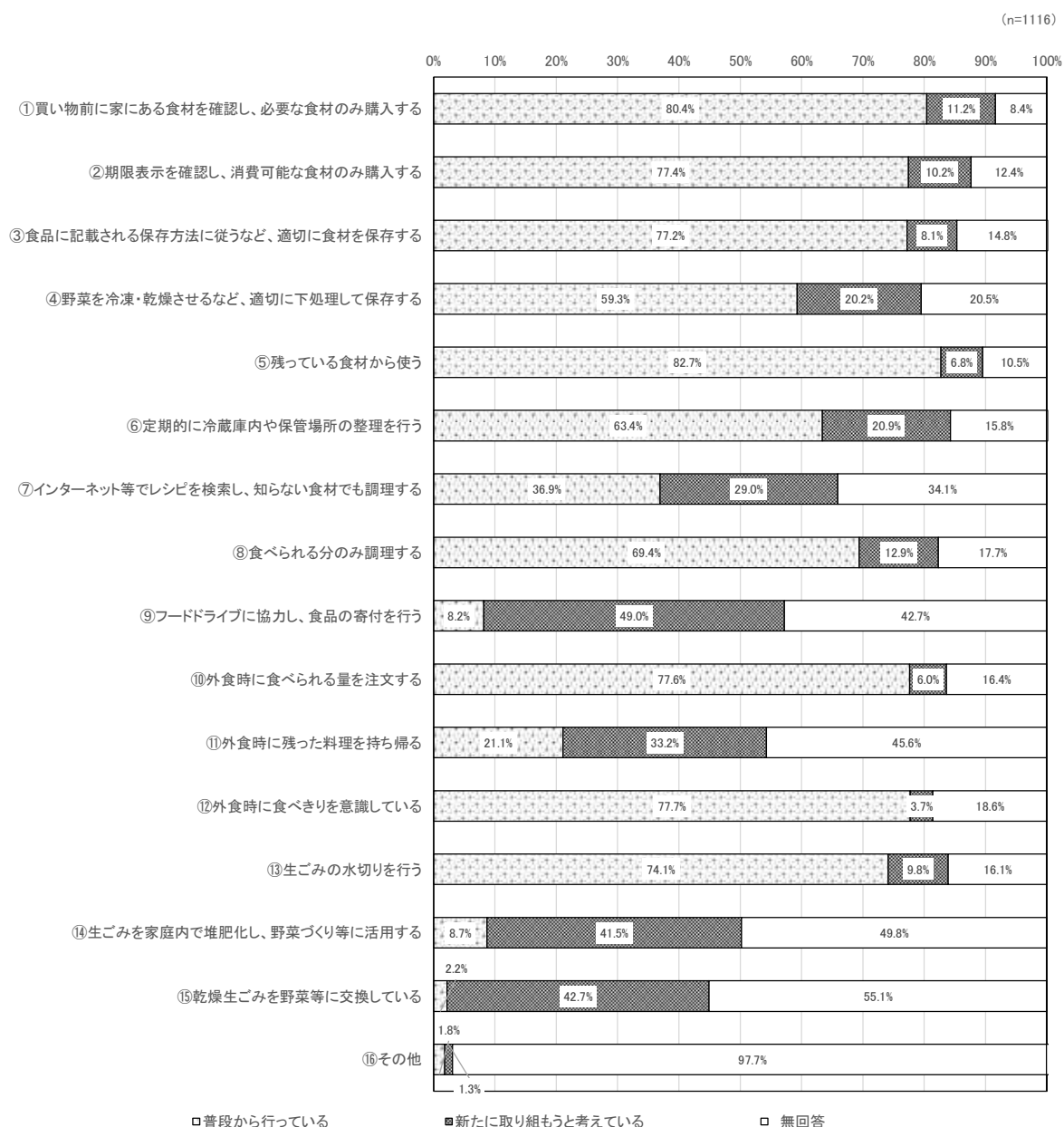


2.4.4 食品ロス・生ごみ削減のための現在の取り組み状況及び新たに取組もうと考えていること

「普段から行っている」割合が高い取り組みは、「⑤残っている食材から使う（82.7%）」、「①買い物前に家にある食材を確認し、必要な食材のみ購入する（80.4%）」、「⑫外食時に食べきを意識している（77.7%）」となっている。

「新たに取組もうと考えている」割合が高い取り組みは、「⑨フードドライブに協力し、食品の寄付を行う（49.0%）」、「⑮乾燥生ごみを野菜等に交換している（42.7%）」、「⑭生ごみを家庭内で堆肥化し、野菜づくり等に活用する（41.5%）」となっている。

図表 107 食品ロス・生ごみ削減のための現在の取り組み状況及び新たに取組もうと考えていること

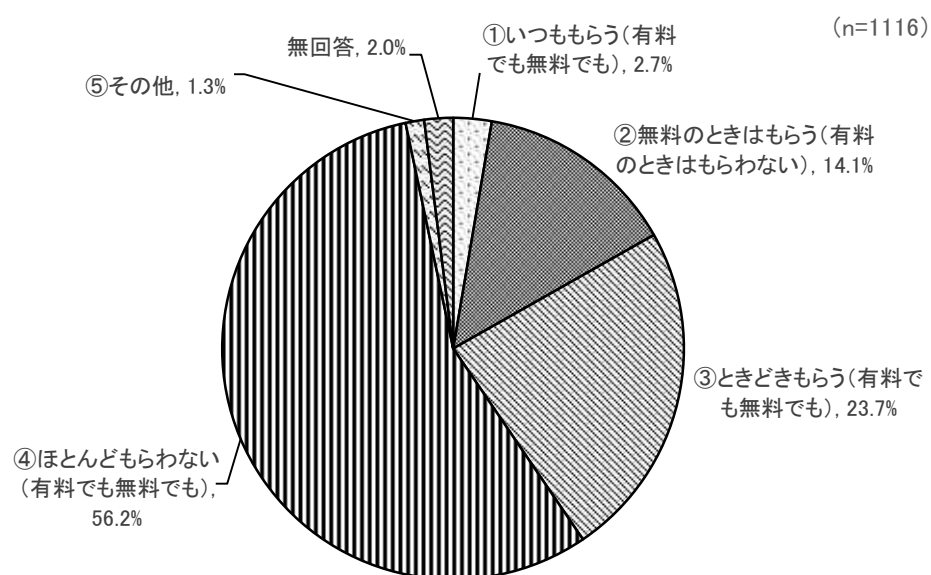


2.5 プラスチックについて

2.5.1 レジ袋の受取状況

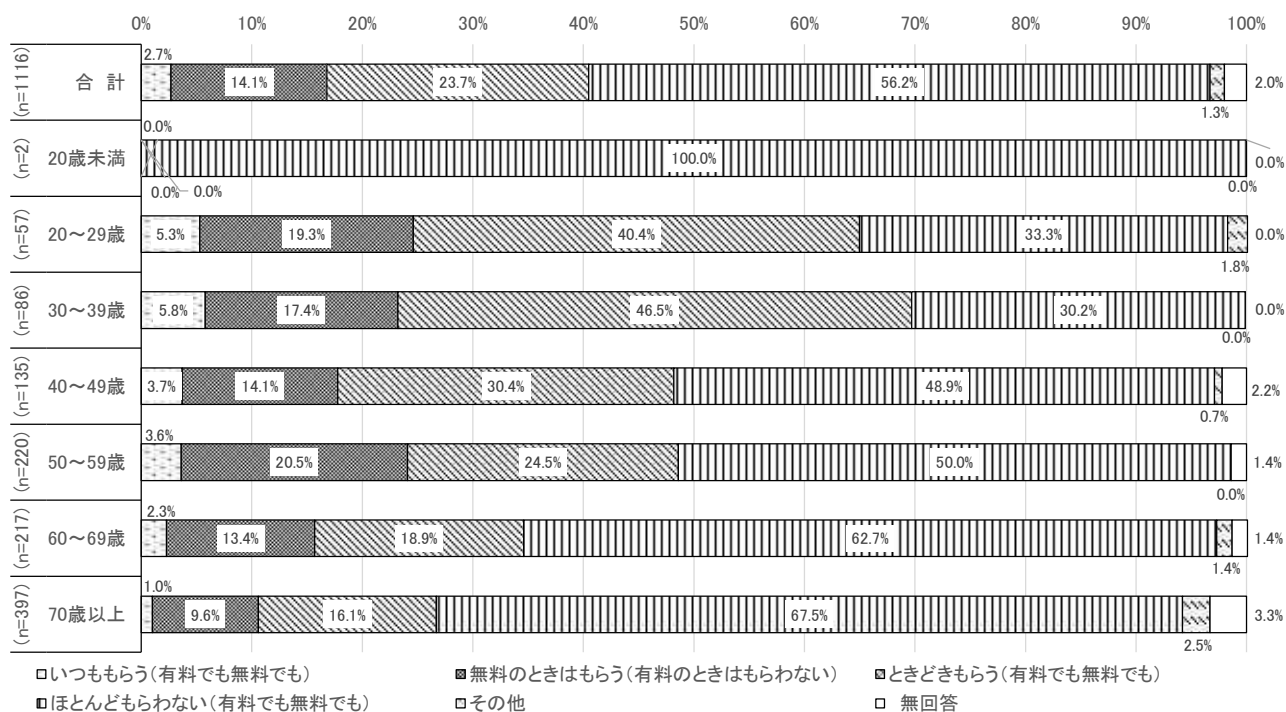
「④ほとんどもらわない(有料でも無料でも)」の割合が最も高く 56.2%となっている。次いで、「③ときどきもらう(有料でも無料でも) (23.7%)」、「②無料のときはもらう(有料のときはもらわない) (14.1%)」となっている。

図表 108 レジ袋の受け取り状況



年齢別に見ると、「ほとんどもらわない（有料でも無料でも）」の割合は、30歳以降、年齢が高いほど高い傾向にある。

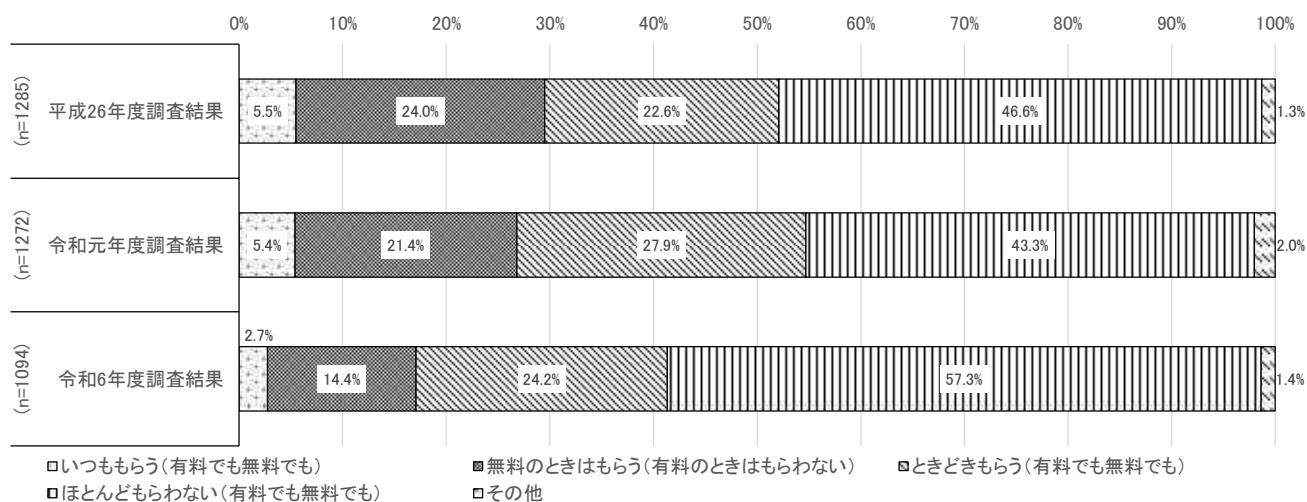
図表 109 レジ袋の受け取り状況（年齢別）



	合 計	いつももらう	無料のときはもらう	ときどきもらう	ほとんどもらわない	その他	無回答
合 計	1116	30	157	265	627	15	22
	100.0%	2.7%	14.1%	23.7%	56.2%	1.3%	2.0%
20歳未満	2	0	0	0	2	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	57	3	11	23	19	1	0
	100.0%	5.3%	19.3%	40.4%	33.3%	1.8%	0.0%
30～39歳	86	5	15	40	26	0	0
	100.0%	5.8%	17.4%	46.5%	30.2%	0.0%	0.0%
40～49歳	135	5	19	41	66	1	3
	100.0%	3.7%	14.1%	30.4%	48.9%	0.7%	2.2%
50～59歳	220	8	45	54	110	0	3
	100.0%	3.6%	20.5%	24.5%	50.0%	0.0%	1.4%
60～69歳	217	5	29	41	136	3	3
	100.0%	2.3%	13.4%	18.9%	62.7%	1.4%	1.4%
70歳以上	397	4	38	64	268	10	13
	100.0%	1.0%	9.6%	16.1%	67.5%	2.5%	3.3%

「ほとんどもらわない（有料でも無料でも）」の割合が、令和 6 年度調査（57.3%）では平成 26 年度調査（46.6%）及び令和元年度調査（43.3%）よりも高くなっている。2020 年 7 月に開始したプラスチック製買物袋有料化等の影響により、レジ袋を辞退する人の割合が増加したことがうかがえる。

図表 110 平成 26 年度及び令和元年度調査結果との比較



※無回答を除いて集計

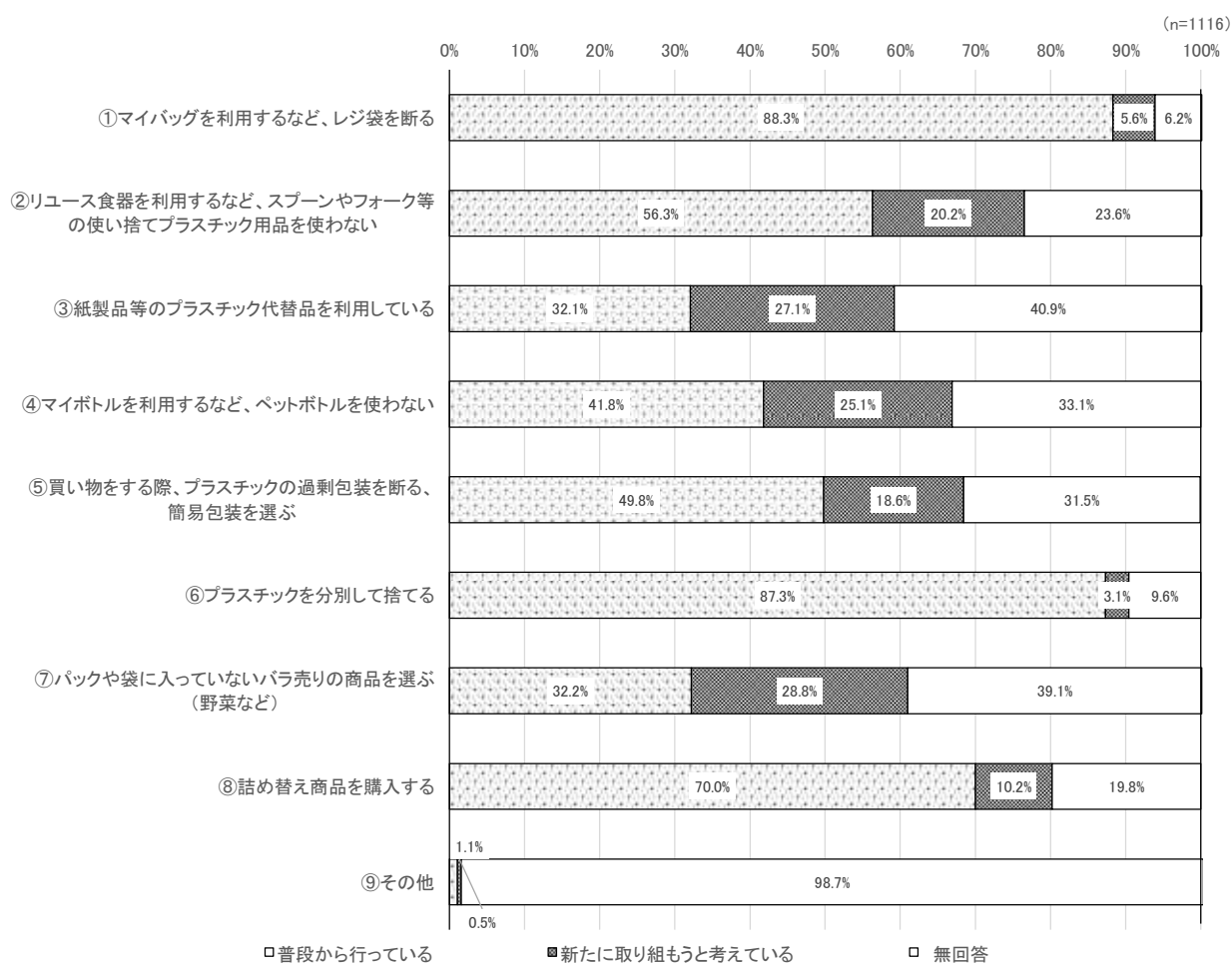
2.5.2 プラスチックごみ削減やリサイクルのための現在の取り組み状況及び新たに取り組もうと考えていること

「普段から取り組んでいる」割合が高い取り組みは、「①マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る(88.3%)」、「⑥プラスチックを分別して捨てる(87.3%)」、「⑧詰め替え商品を購入する(70.0%)」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」割合が高い取り組みは、「⑦パックや袋に入っていないバラ売りの商品を選ぶ(野菜など)(28.8%)」、「③紙製品等のプラスチック代替品を利用している(27.1%)」、「④マイボトルを利用するなど、ペットボトルを使わない(25.1%)」となっている。

図表 111 プラスチックごみ削減やリサイクルのための現在の取り組み状況及び新たに取り組もうと考えていること

※該当するものすべてを回答

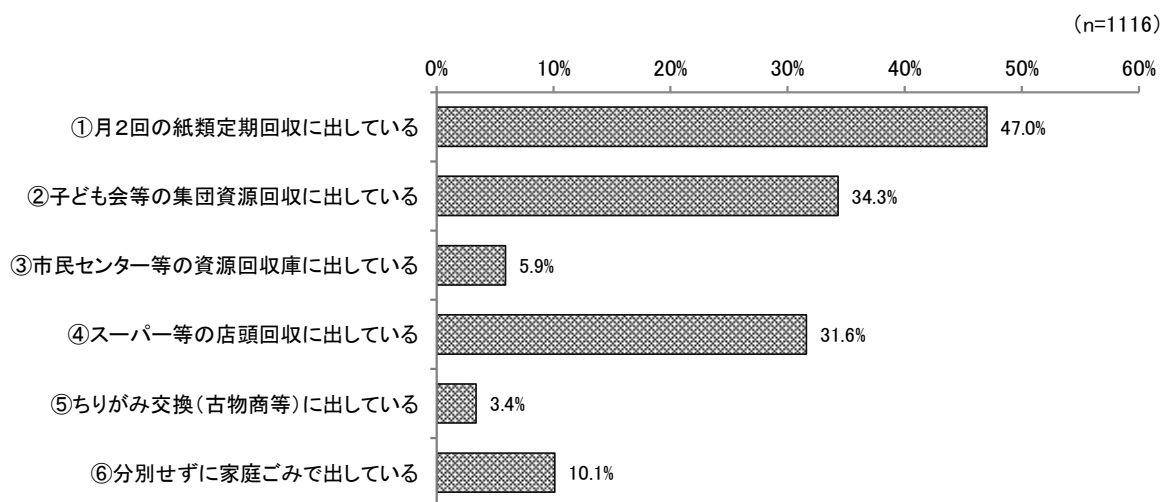


2.6 紙類について

2.6.1 紙類の出し方

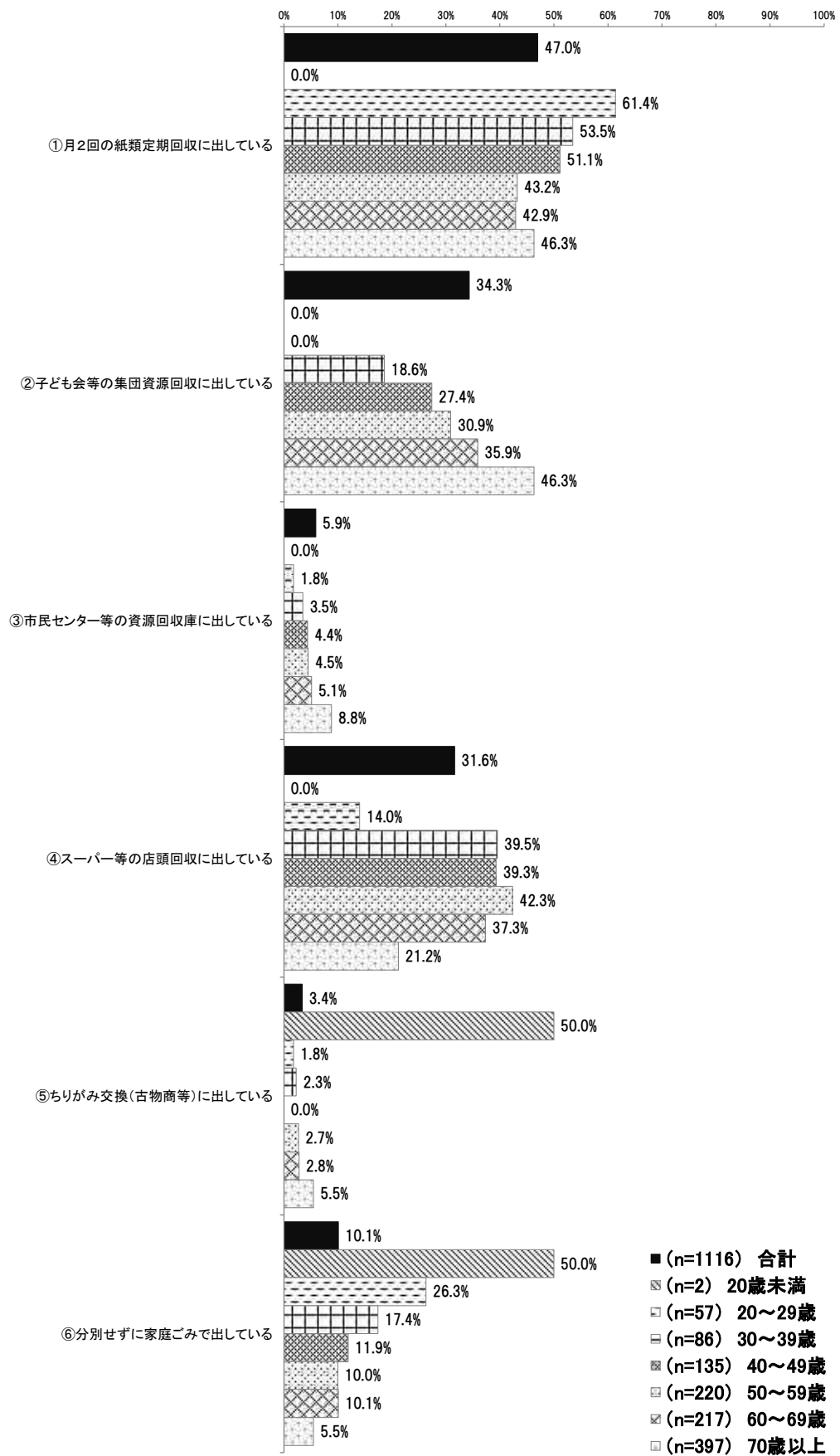
「①月2回の紙類定期回収に出している」の割合が最も高く 47.0%となっている。次いで、「②子ども会等の集団資源回収に出している（34.3%）」、「④スーパー等の店頭回収に出している（31.6%）」となっている。

図表 112 紙類の出し方 ※該当するものすべてを回答



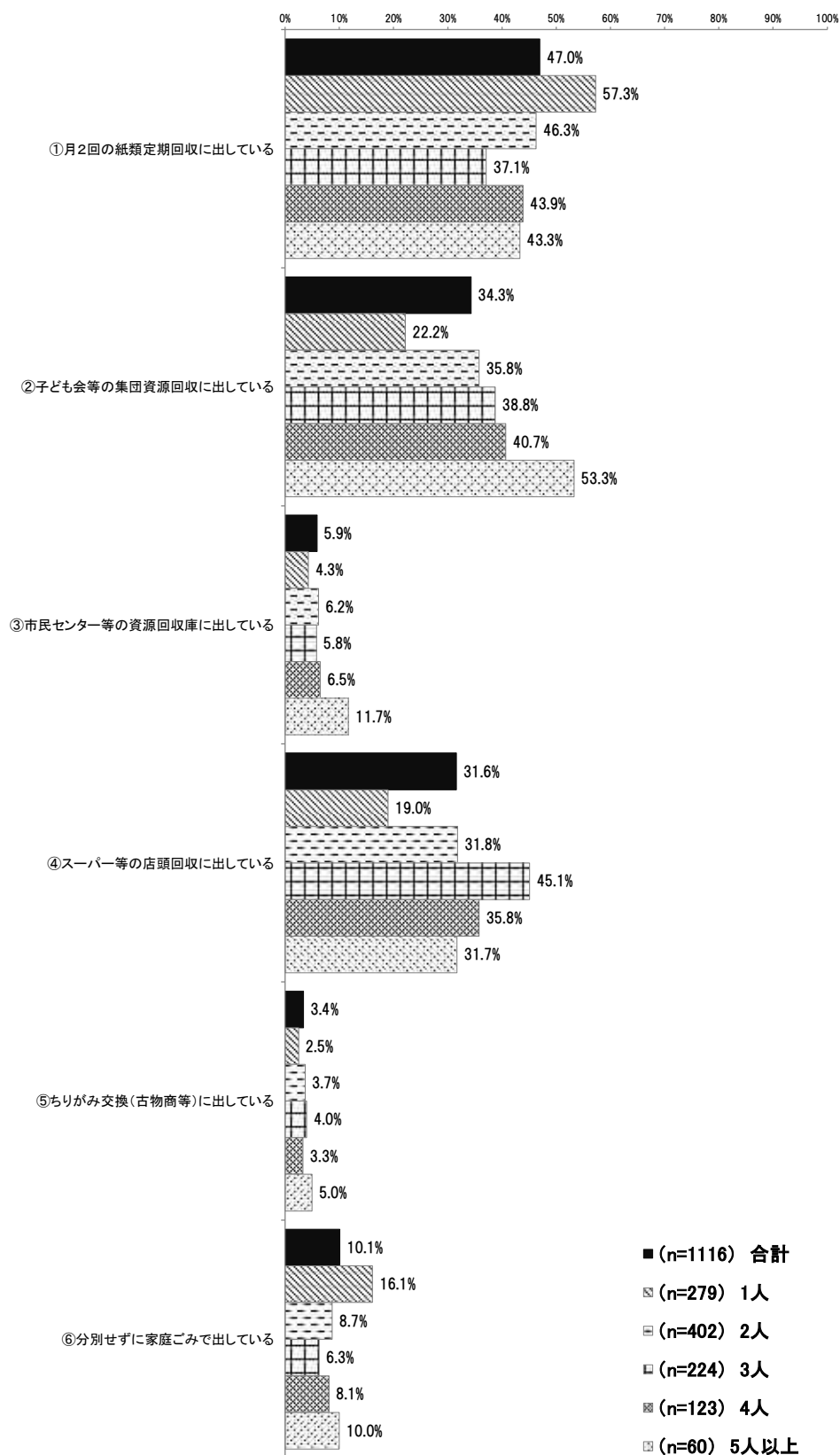
年齢別に見ると、「①月2回の紙類定期回収に出している」、「⑥分別せずに家庭ごみで出している」の割合は年齢が高いほど低い傾向にある。一方で、「②子ども会等の集団資源回収に出している」の割合は年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 113 紙類の出し方(年齢別)



同居人数別に見ると、「②子ども会等の集団資源回収に出している」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。

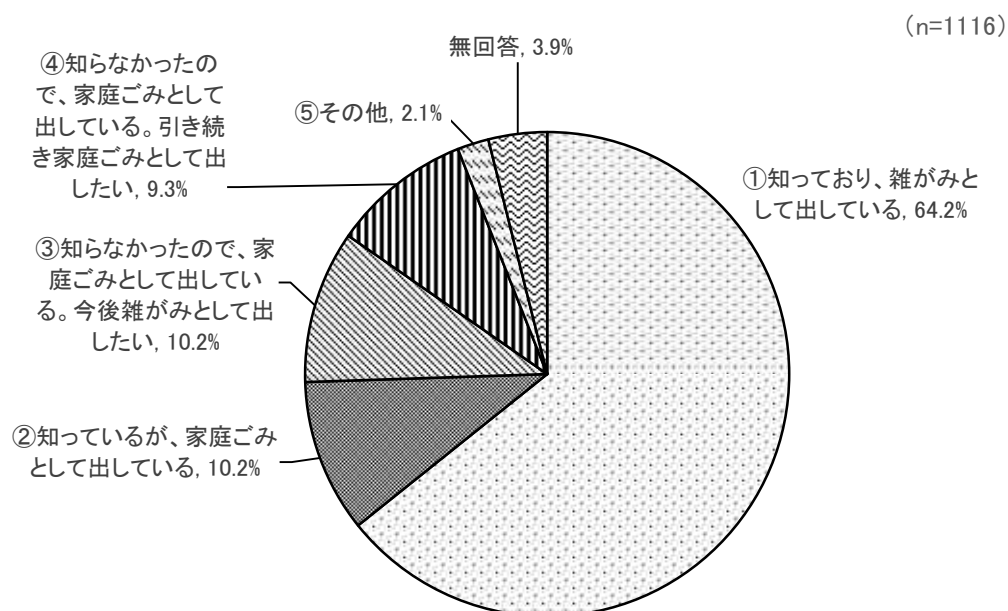
図表 114 紙類の出し方(同居人数別)



2.6.2 雑がみ回収の認知度と排出行動

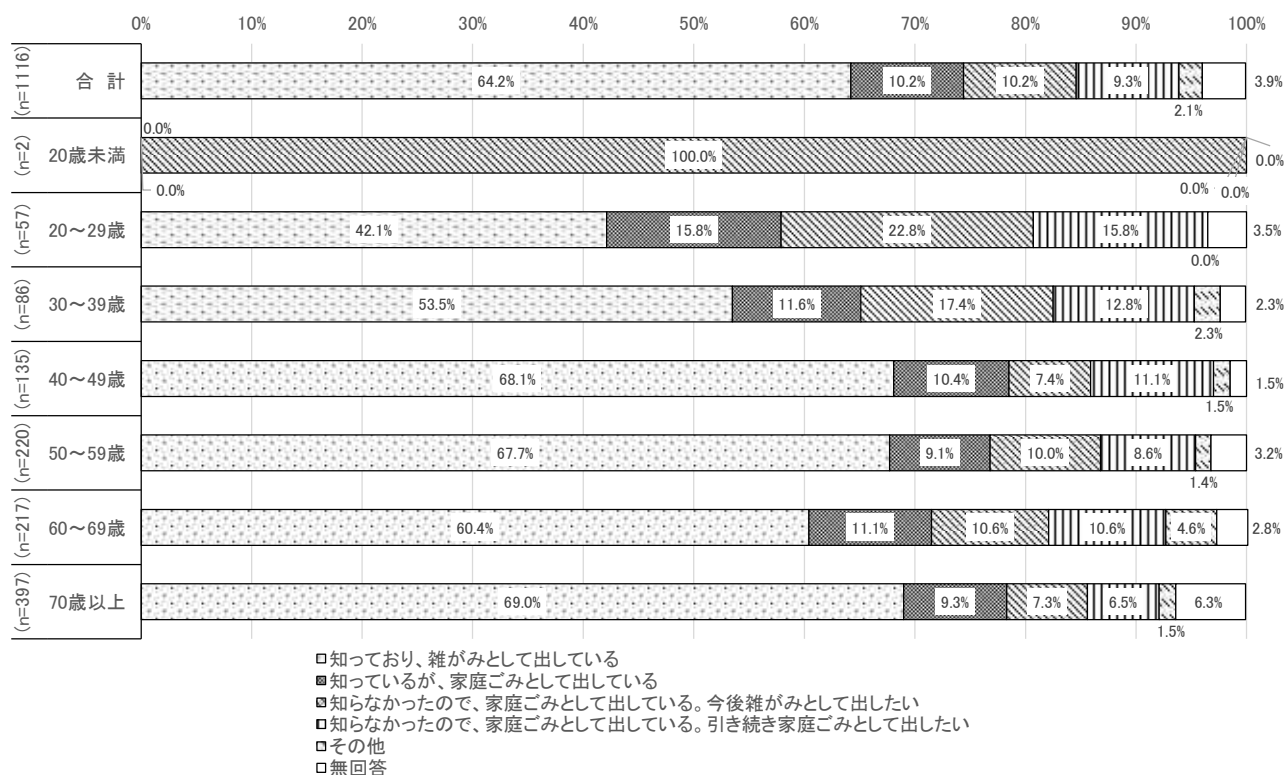
「①知っており、雑がみとして出している」の割合が最も高く 64.2%となっている。次いで、「②知っているが、家庭ごみとして出している」、「③知らなかったのに、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい」がいずれも 10.2%となっている。

図表 115 雑がみ回収の認知度と排出行動



年齢別に見ると、「知らなかったので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

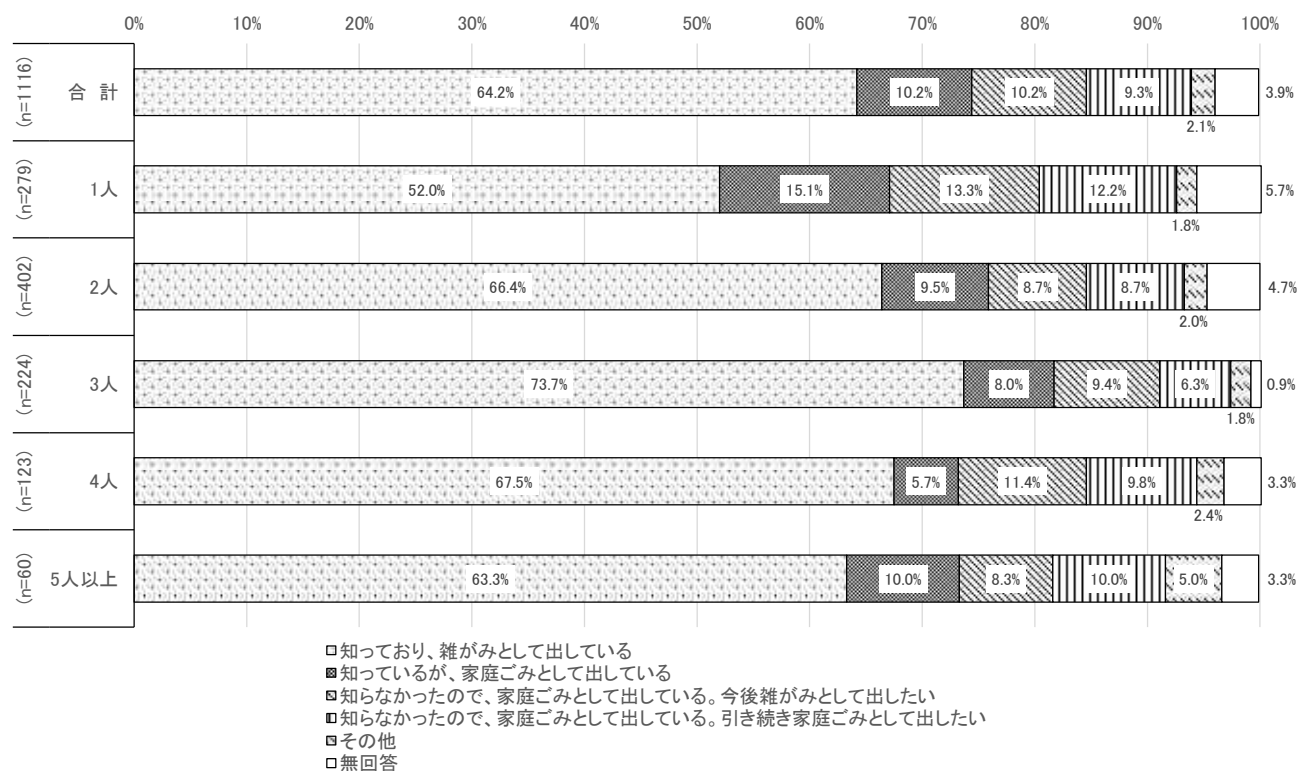
図表 116 雑がみ回収の認知度と排出行動(年齢別)



	合 計	知っており、 雑がみとして 出している	知っているが、 家庭ごみとして 出している	知らなかったで、 家庭ごみとして 出している。今後 雑がみとして 出したい	知らなかったで、 家庭ごみとして 出している。引き続 き家庭ごみとして 出したい	その他	無回答
合 計	1116	717	114	114	104	23	44
	100.0%	64.2%	10.2%	10.2%	9.3%	2.1%	3.9%
20歳未満	2	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	57	24	9	13	9	0	2
	100.0%	42.1%	15.8%	22.8%	15.8%	0.0%	3.5%
30～39歳	86	46	10	15	11	2	2
	100.0%	53.5%	11.6%	17.4%	12.8%	2.3%	2.3%
40～49歳	135	92	14	10	15	2	2
	100.0%	68.1%	10.4%	7.4%	11.1%	1.5%	1.5%
50～59歳	220	149	20	22	19	3	7
	100.0%	67.7%	9.1%	10.0%	8.6%	1.4%	3.2%
60～69歳	217	131	24	23	23	10	6
	100.0%	60.4%	11.1%	10.6%	10.6%	4.6%	2.8%
70歳以上	397	274	37	29	26	6	25
	100.0%	69.0%	9.3%	7.3%	6.5%	1.5%	6.3%

同居人数別に見ると、「1人」における「知っているが、家庭ごみとして出している（15.1%）」、「3人」における「知っており、雑がみとして出している（73.7%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 117 雑がみ回収の認知度と排出行動(同居人数別)

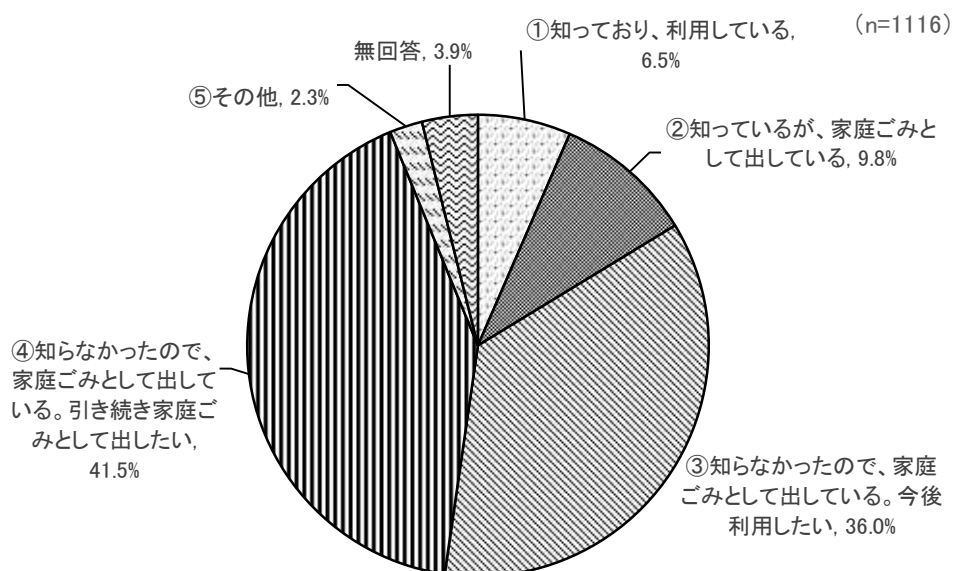


	合 計	知っており、 雑がみとして 出している	知っているが、 家庭ごみとして 出している	知らなかったのに、 家庭ごみとして 出している。今後 雑がみとして 出したい	知らなかったのに、 家庭ごみとして 出している。引き続き 家庭ごみとして 出したい	その他	無回答
合 計	1116	717	114	114	104	23	44
	100.0%	64.2%	10.2%	10.2%	9.3%	2.1%	3.9%
1人	279	145	42	37	34	5	16
	100.0%	52.0%	15.1%	13.3%	12.2%	1.8%	5.7%
2人	402	267	38	35	35	8	19
	100.0%	66.4%	9.5%	8.7%	8.7%	2.0%	4.7%
3人	224	165	18	21	14	4	2
	100.0%	73.7%	8.0%	9.4%	6.3%	1.8%	0.9%
4人	123	83	7	14	12	3	4
	100.0%	67.5%	5.7%	11.4%	9.8%	2.4%	3.3%
5人以上	60	38	6	5	6	3	2
	100.0%	63.3%	10.0%	8.3%	10.0%	5.0%	3.3%

2.6.3 コーティングされた紙容器の資源回収庫による回収の認知度

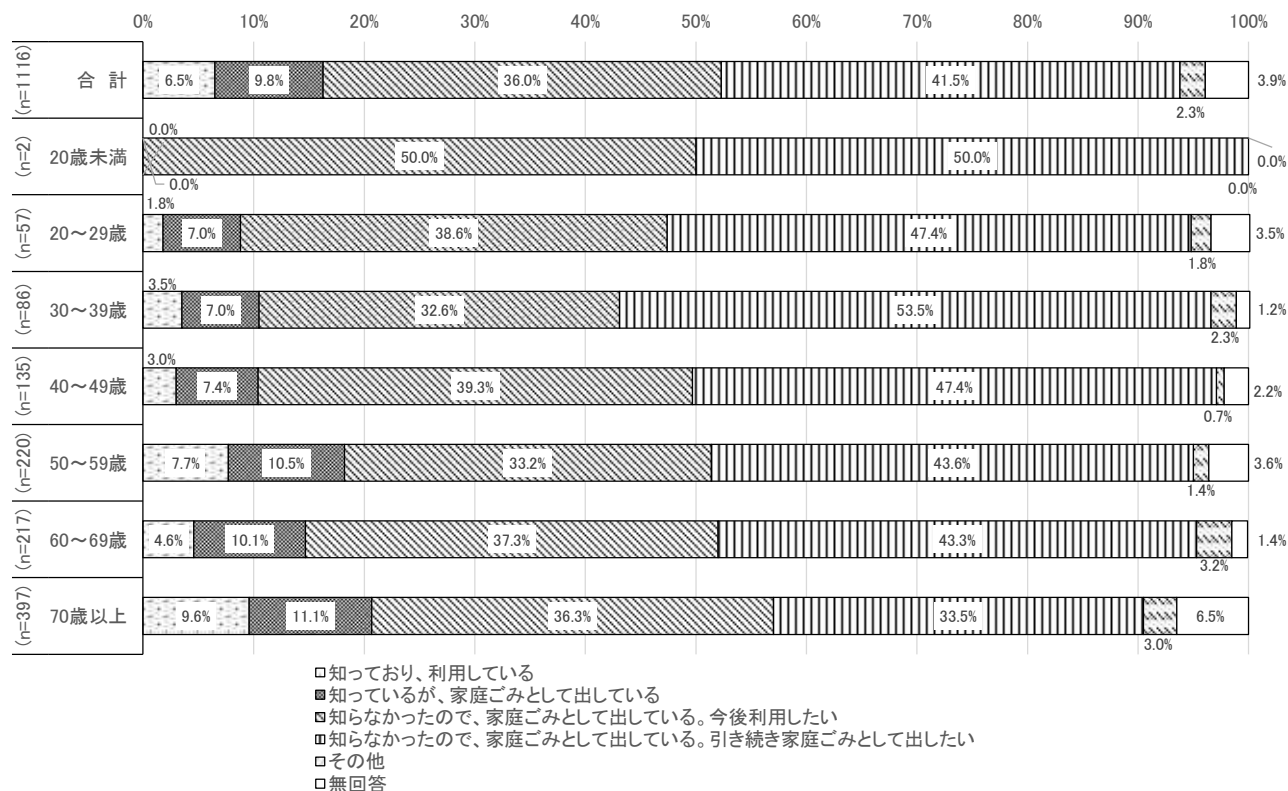
「④知らなかったのに、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい」の割合が最も高く 41.5%となっている。次いで、「③知らなかったのに、家庭ごみとして出している。今後利用したい (36.0%)」、「②知っているが、家庭ごみとして出している (9.8%)」となっている。

図表 118 コーティングされた紙容器の資源回収庫による回収の認知度



年齢別に見ると、「知らなかったので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 119 コーティングされた紙容器の資源回収庫による回収の認知度(年齢別)



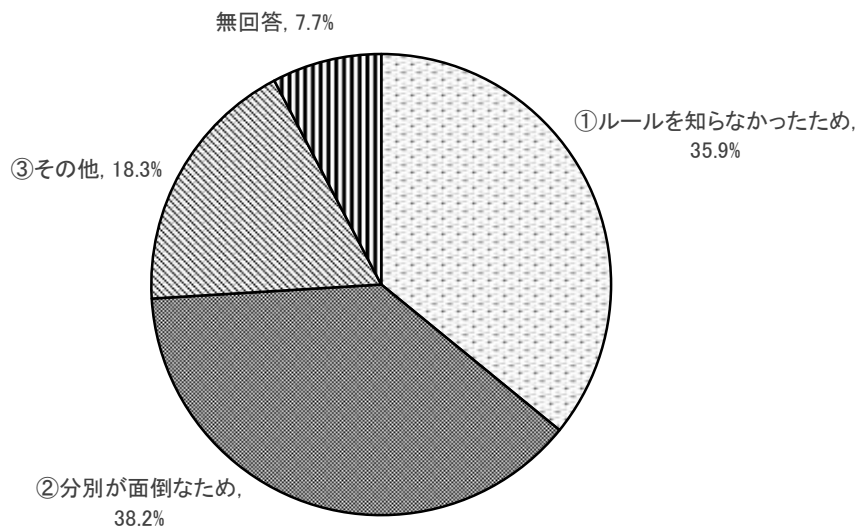
	合 計	知っており、 利用している	知っているが、 家庭ごみとして 出している	知らなかったで、 家庭ごみとして 出している。今後 利用したい	知らなかったで、 家庭ごみとして 出している。引き続き 家庭ごみとして 出したい	その他	無回答
合 計	1116	73	109	402	463	26	43
	100.0%	6.5%	9.8%	36.0%	41.5%	2.3%	3.9%
20歳未満	2	0	0	1	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	57	1	4	22	27	1	2
	100.0%	1.8%	7.0%	38.6%	47.4%	1.8%	3.5%
30～39歳	86	3	6	28	46	2	1
	100.0%	3.5%	7.0%	32.6%	53.5%	2.3%	1.2%
40～49歳	135	4	10	53	64	1	3
	100.0%	3.0%	7.4%	39.3%	47.4%	0.7%	2.2%
50～59歳	220	17	23	73	96	3	8
	100.0%	7.7%	10.5%	33.2%	43.6%	1.4%	3.6%
60～69歳	217	10	22	81	94	7	3
	100.0%	4.6%	10.1%	37.3%	43.3%	3.2%	1.4%
70歳以上	397	38	44	144	133	12	26
	100.0%	9.6%	11.1%	36.3%	33.5%	3.0%	6.5%

2.6.4 雑がみを家庭ごみとして出す理由

「②分別が面倒なため」の割合が最も高く 38.2%となっている。次いで、「①ルールを知らなかったため (35.9%)」、「③その他 (18.3%)」となっている。

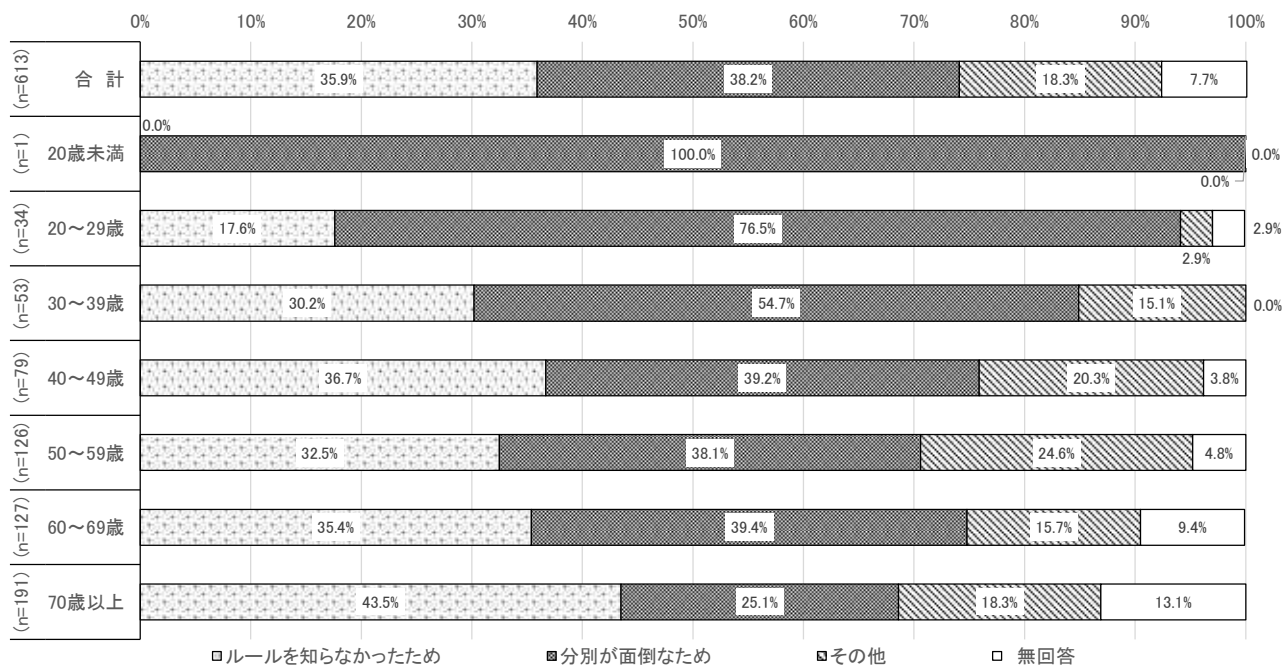
図表 120 雑がみを家庭ごみとして出す理由

(n=613)



年齢別に見ると、「20～29 歳」における「分別が面倒なため (76.5%)」、「30～39 歳」における「分別が面倒なため (54.7%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 121 雑がみを家庭ごみとして出す理由 (年齢別)



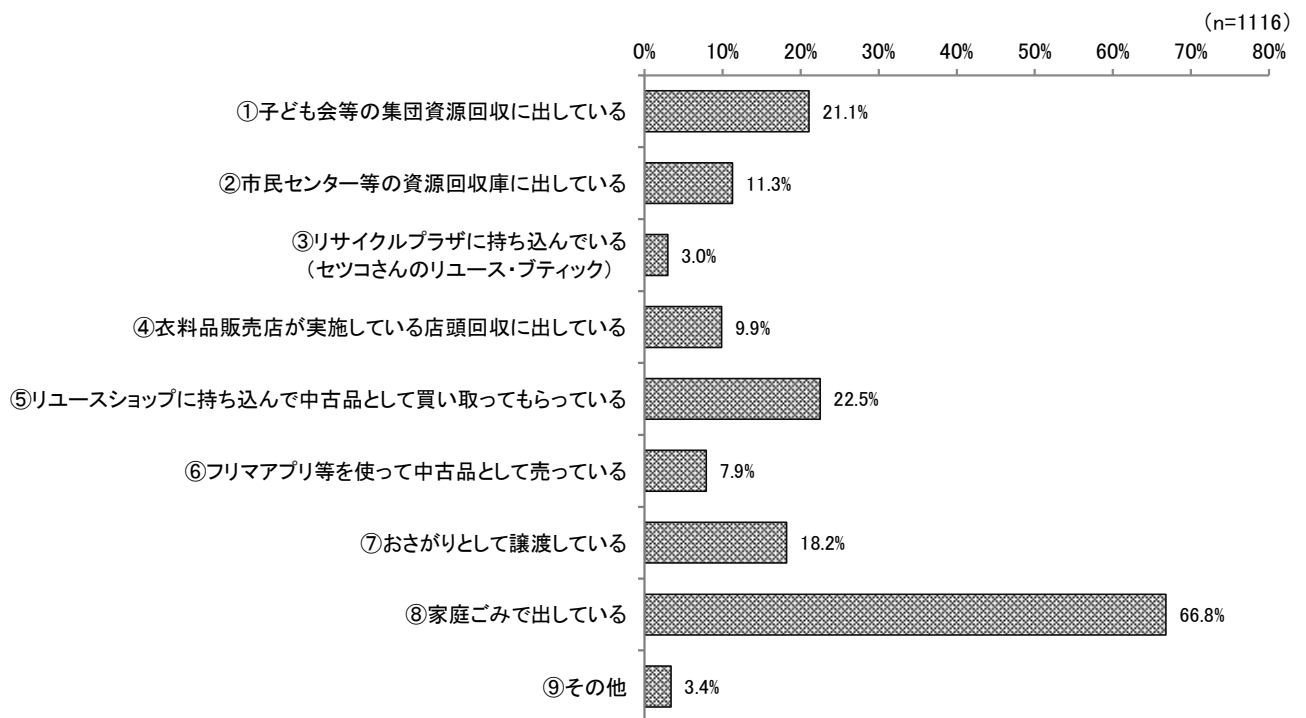
	合 計	ルールを知らなかったため	分別が面倒なため	その他	無回答
合 計	613 100.0%	220 35.9%	234 38.2%	112 18.3%	47 7.7%
20歳未満	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	34 100.0%	6 17.6%	26 76.5%	1 2.9%	1 2.9%
30～39歳	53 100.0%	16 30.2%	29 54.7%	8 15.1%	0 0.0%
40～49歳	79 100.0%	29 36.7%	31 39.2%	16 20.3%	3 3.8%
50～59歳	126 100.0%	41 32.5%	48 38.1%	31 24.6%	6 4.8%
60～69歳	127 100.0%	45 35.4%	50 39.4%	20 15.7%	12 9.4%
70歳以上	191 100.0%	83 43.5%	48 25.1%	35 18.3%	25 13.1%

2.7 衣類・布類について

2.7.1 衣類・布類の出し方

「⑧家庭ごみで出している」の割合が最も高く 66.8%となっている。次いで、「⑤リユースショップに持ち込んで中古品として買い取ってもらっている（22.5%）」、「①子ども会等の集団資源回収に出している（21.1%）」となっている。

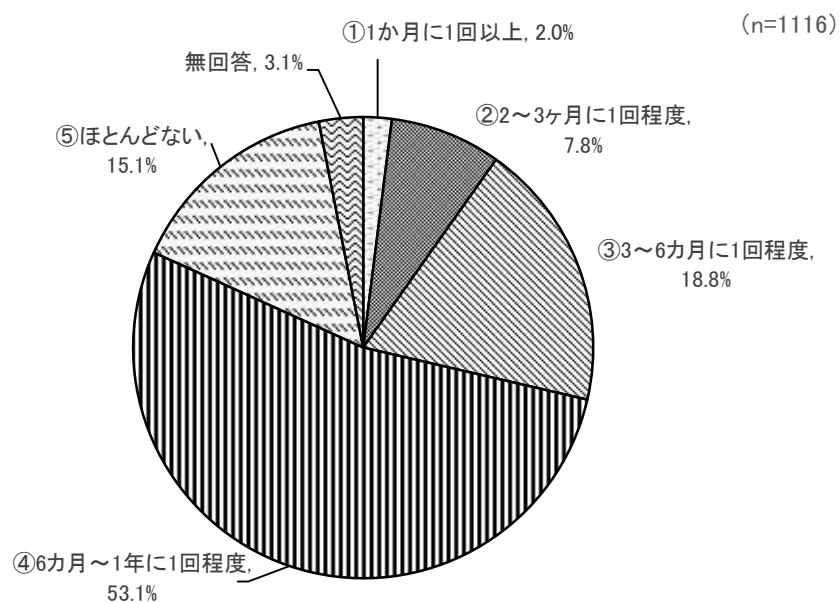
図表 122 衣類・布類の出し方 ※該当するものすべてを回答



2.7.2 衣類・布類の排出頻度

「④6ヵ月～1年に1回程度」の割合が最も高く53.1%となっている。次いで、「③3～6ヵ月に1回程度（18.8%）」、「⑤ほとんどない（15.1%）」となっている。

図表 123 衣類・布類の排出頻度

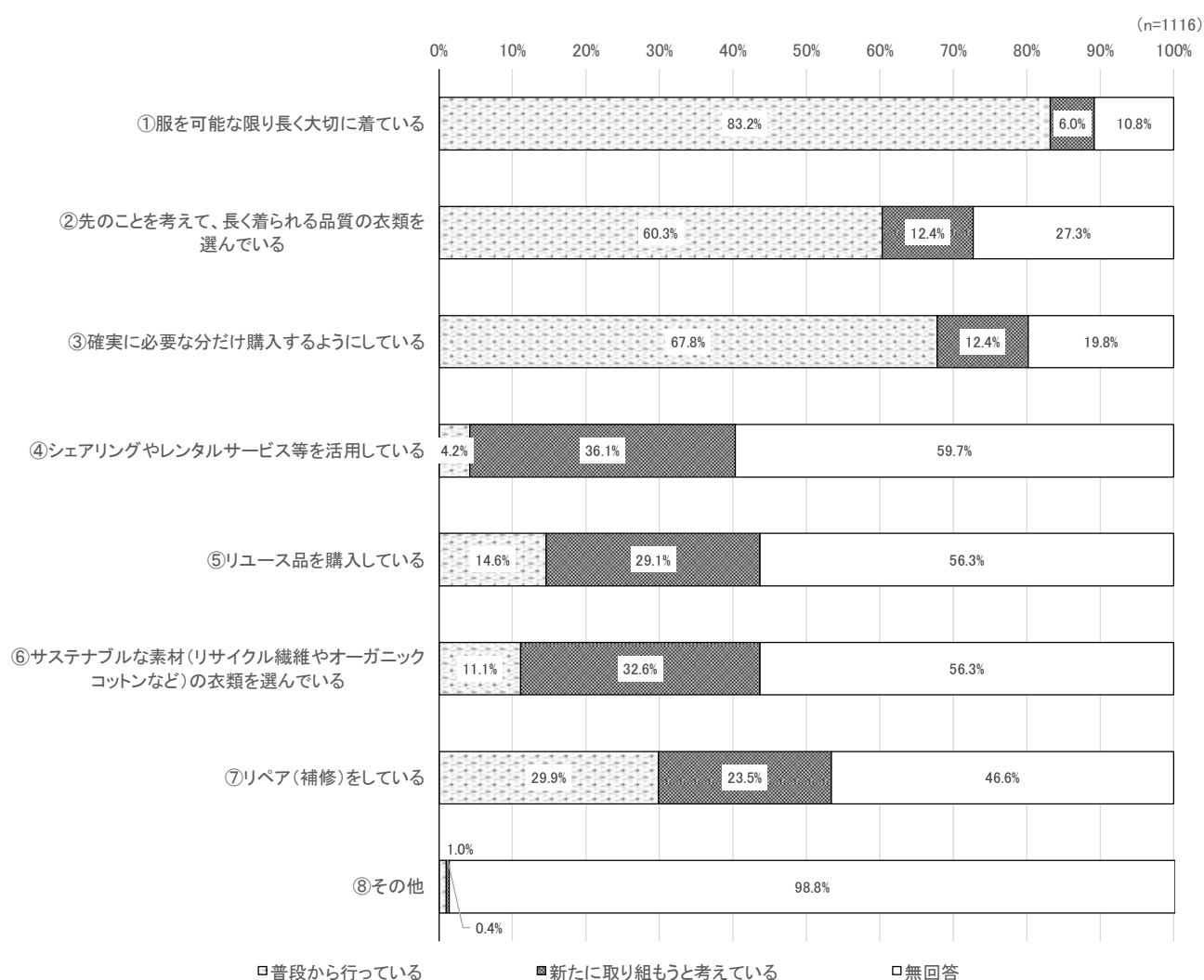


2.7.3 衣類・布類のごみ削減やリユース、リサイクルのための現在の取り組み状況及び新たに取り組もうと考えていること

「普段から取り組んでいる」割合が高い取り組みは、「①服を可能な限り長く大切に着ている（83.2%）」、「③確実に必要な分だけ購入するようにしている（67.8%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」割合が高い取り組みは、「④シェアリングやレンタルサービス等を活用している（36.1%）」、「⑥サステナブルな素材（リサイクル繊維やオーガニックコットンなど）の衣類を選んでいる（32.6%）」となっている。

図表 124 衣類・布類のごみ削減やリユース、リサイクルのための現在の取り組み状況及び新たに取り組もうと考えていること ※該当するものすべてを回答



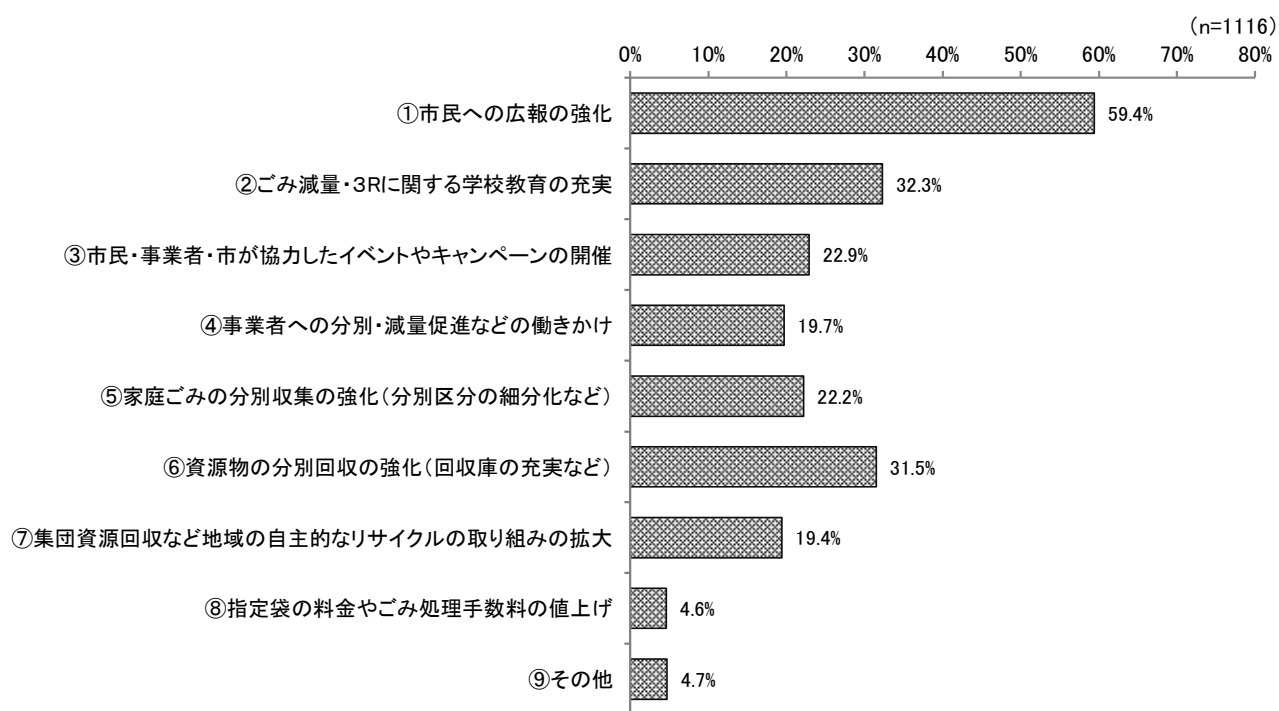
2.8 更なるごみ減量・3Rの推進について

2.8.1 全般

市が講じるべき施策（全般）について、「①市民への広報の強化」の割合が最も高く 59.4%となっている。次いで、「②ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実（32.3%）」、「⑥資源物の分別回収の強化（回収庫の充実など）（31.5%）」となっている。

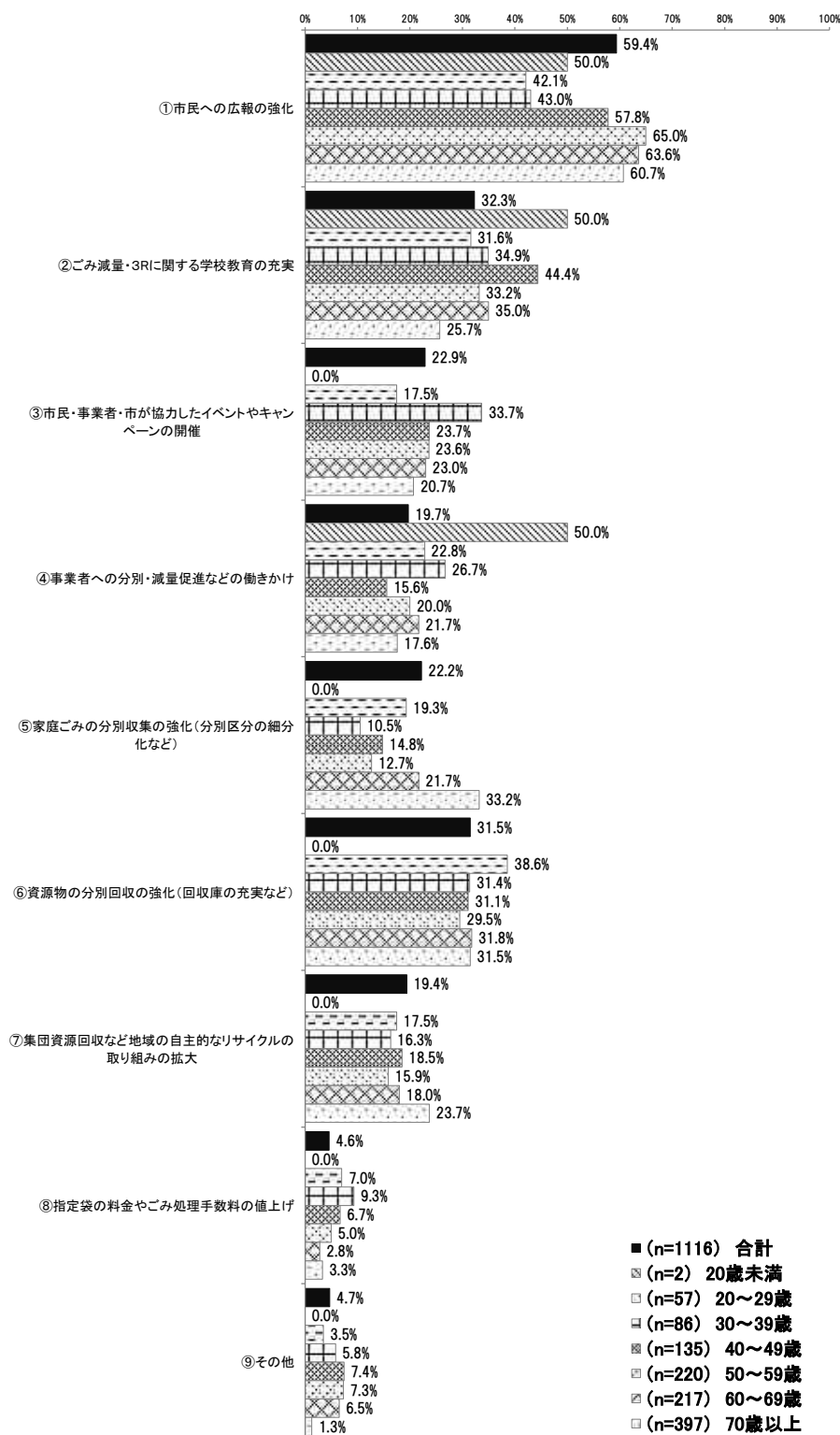
「⑧指定袋の料金やごみ処理手数料の値上げ」の割合は最も低く 4.6%となっている。⑧を回答した市民の自由回答では、「家庭ごみ指定袋とプラスチック資源指定袋の料金差をより大きくすることでリサイクル量が増加するのではないか」、「子ども達の学校教育が重要ではないか」、等の回答が見受けられた。

図表 125 市が講じるべき施策（全般） ※該当するもの3つまで回答



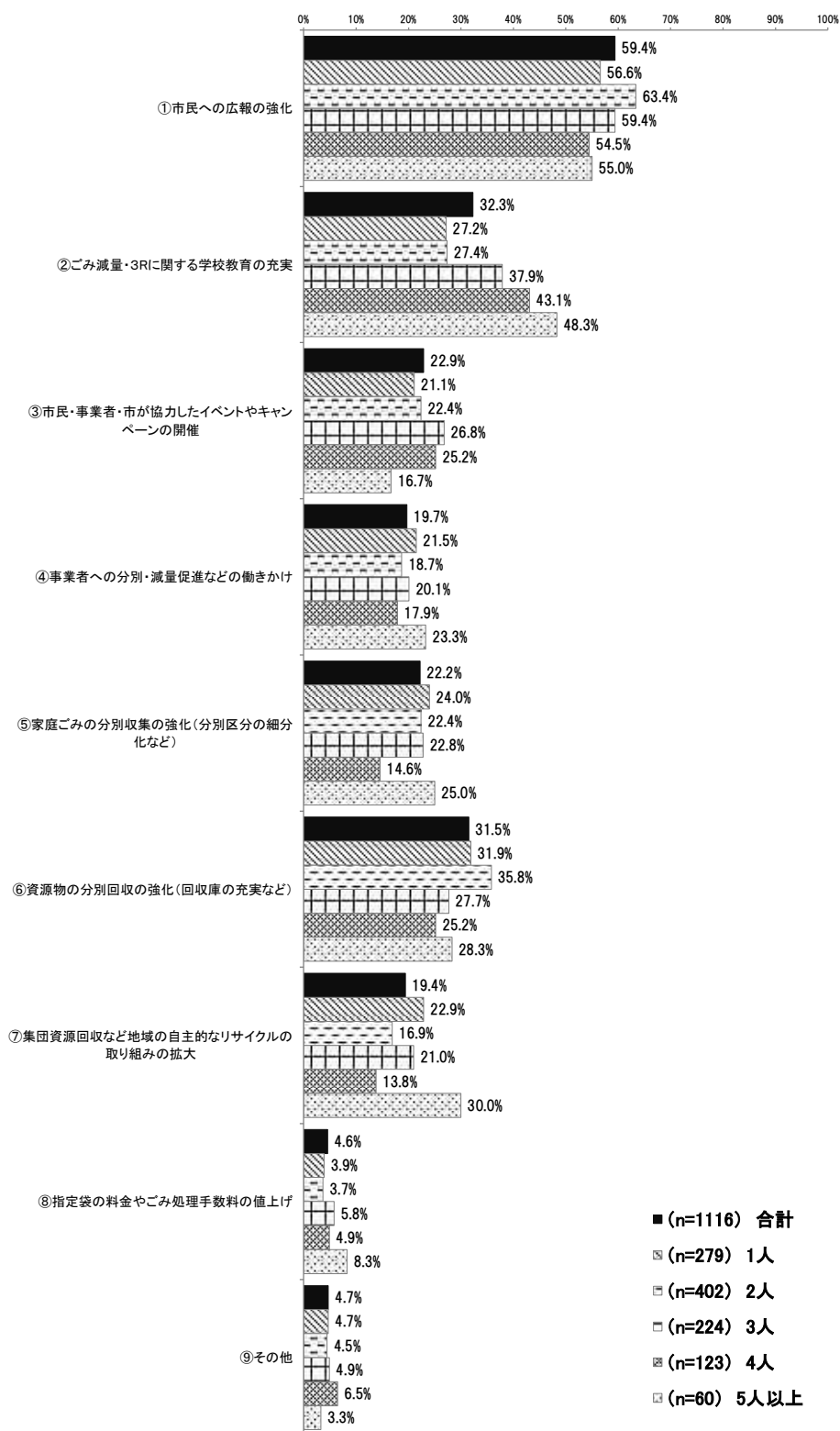
年齢別に見ると、「③市民・事業者・市が協力したイベントやキャンペーンの開催」の割合は、30代以降については、年齢が高いほど低い傾向みられ、「⑦集団資源回収など地域の自主的なリサイクルの取り組みの拡大」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。「⑧指定袋の料金やごみ処理手数料の値上げ」の割合は、20代～40代が高い傾向にある。

図表 126 市が講じるべき施策(全般)(年齢別)



同居人数別に見ると、「②ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。「⑧指定袋の料金やごみ処理手数料の値上げ」の割合は、3人以上が高い傾向にある。

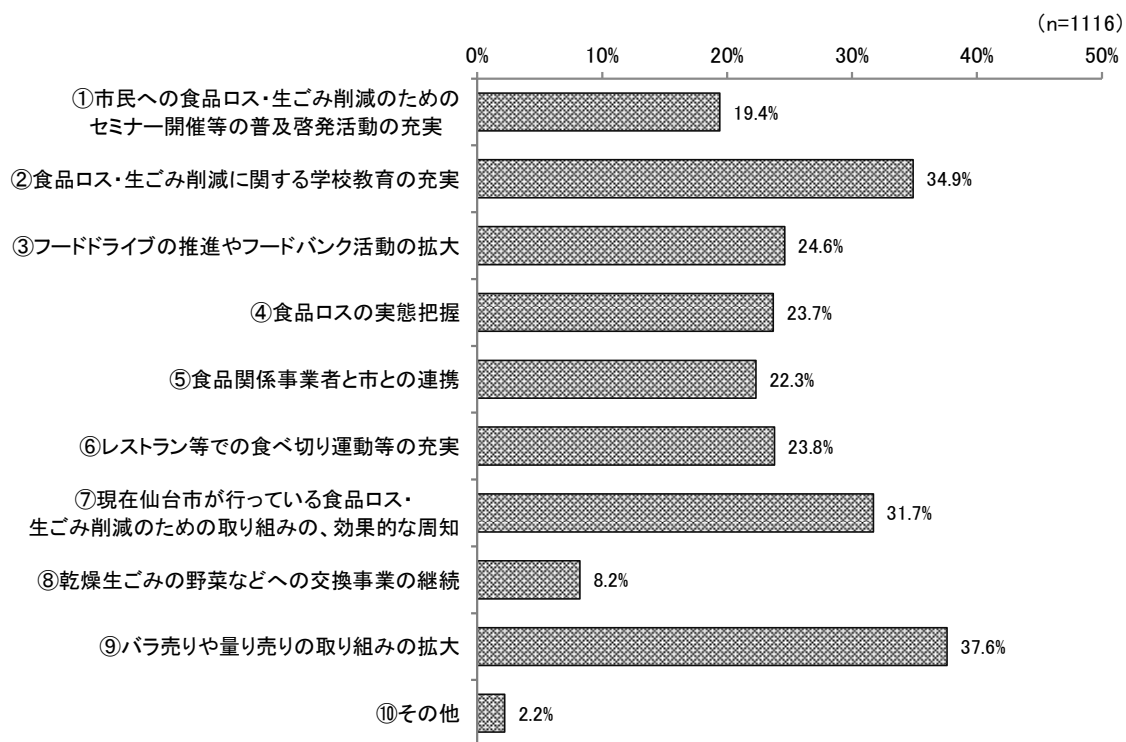
図表 127 市が講じるべき施策(全般)(同居人数別)



2.8.2 食品ロス・生ごみの削減

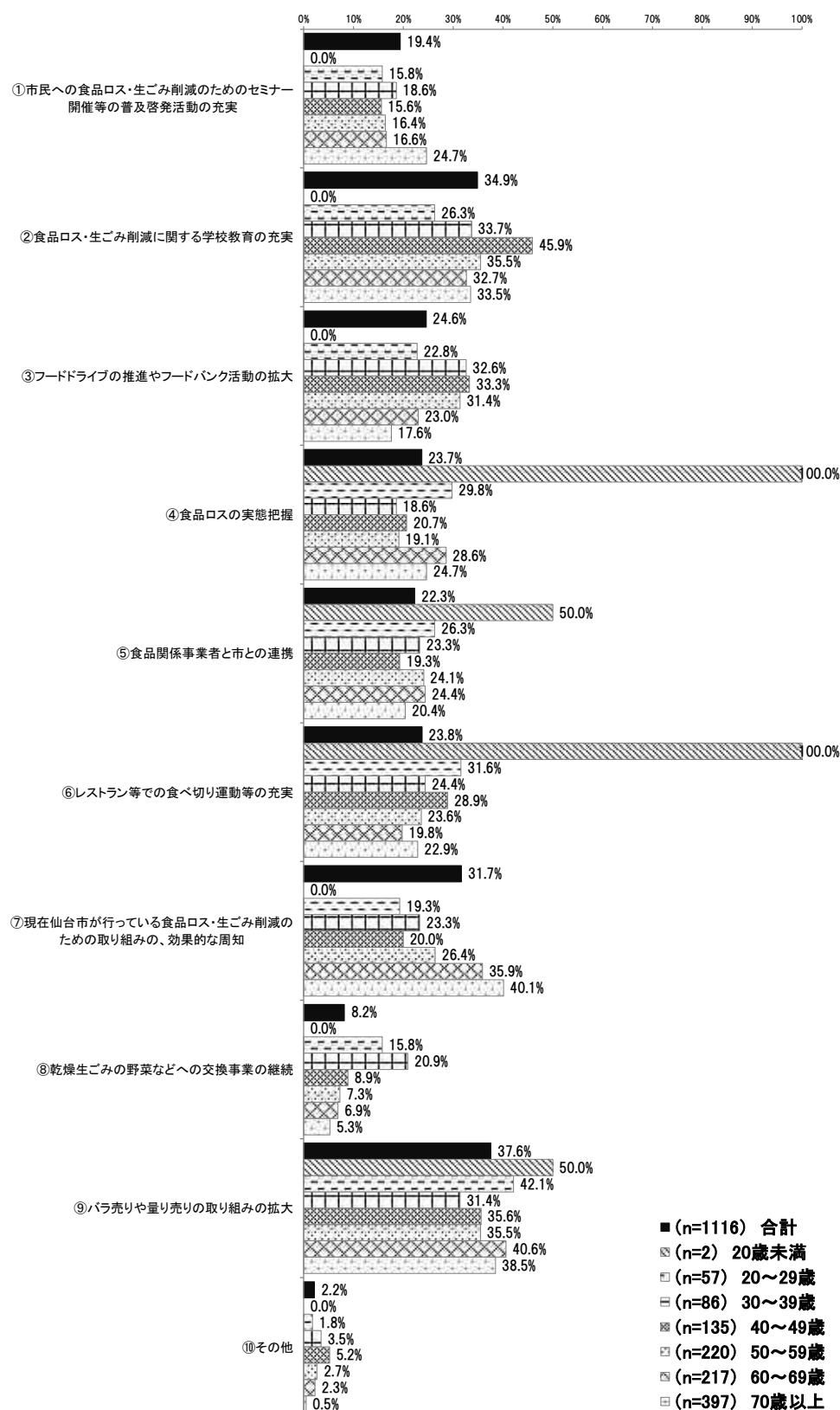
「⑨バラ売りや量り売りの取り組みの拡大」の割合が最も高く 37.6%となっている。次いで、「②食品ロス・生ごみ削減に関する学校教育の充実（34.9%）」、「⑦現在仙台市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの、効果的な周知（31.7%）」となっている。

図表 128 市が講じるべき施策（食品ロス・生ごみの削減） ※該当するもの3つまで回答



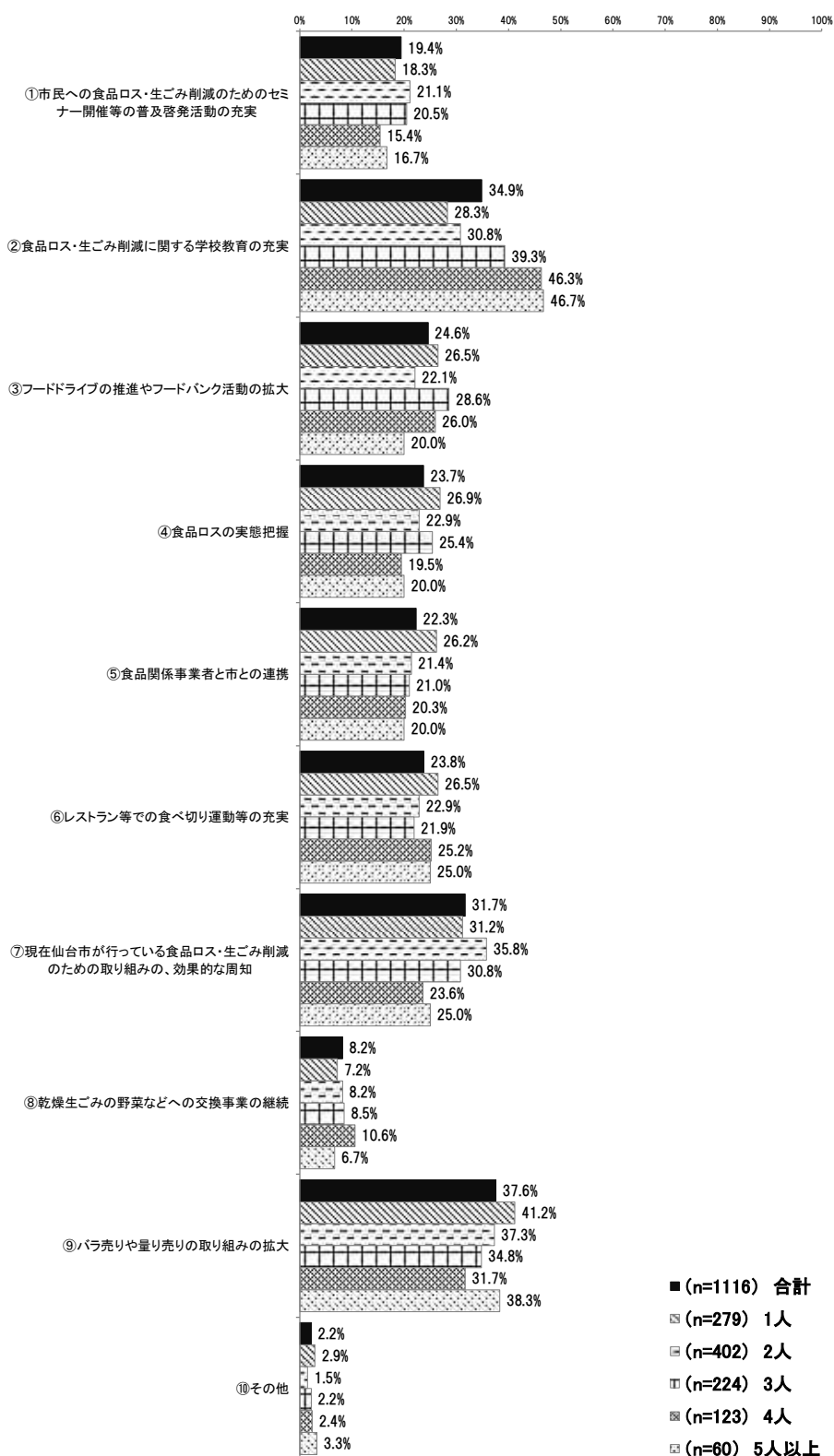
年齢別に見ると、「⑦現在仙台市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの、効果的な周知」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 129 市が講じるべき施策(食品ロス・生ごみの削減)(年齢別)



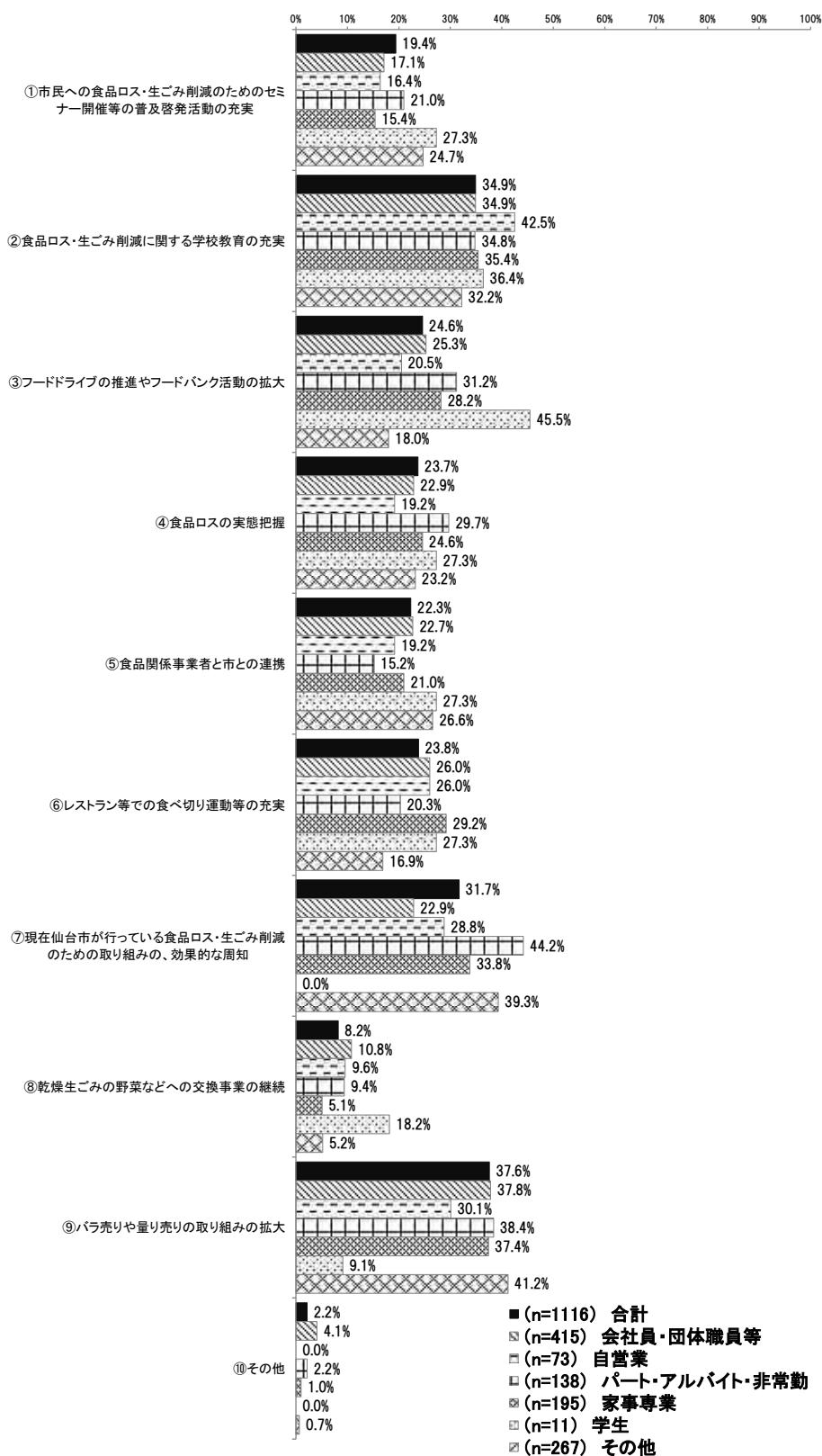
同居人数別に見ると、「⑤食品関係事業者と市との連携」の割合は、同居人数が多いほど低い傾向にある。「②食品ロス・生ごみ削減に関する学校教育の充実」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。

図表 130 市が講じるべき施策(食品ロス・生ごみの削減)(同居人数別)



職業別に見ると、「学生」における「③フードドライブの推進やフードバンク活動の拡大(45.5%)」、「パート・アルバイト・非常勤」における「⑦現在仙台市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの、効果的な周知(44.2%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

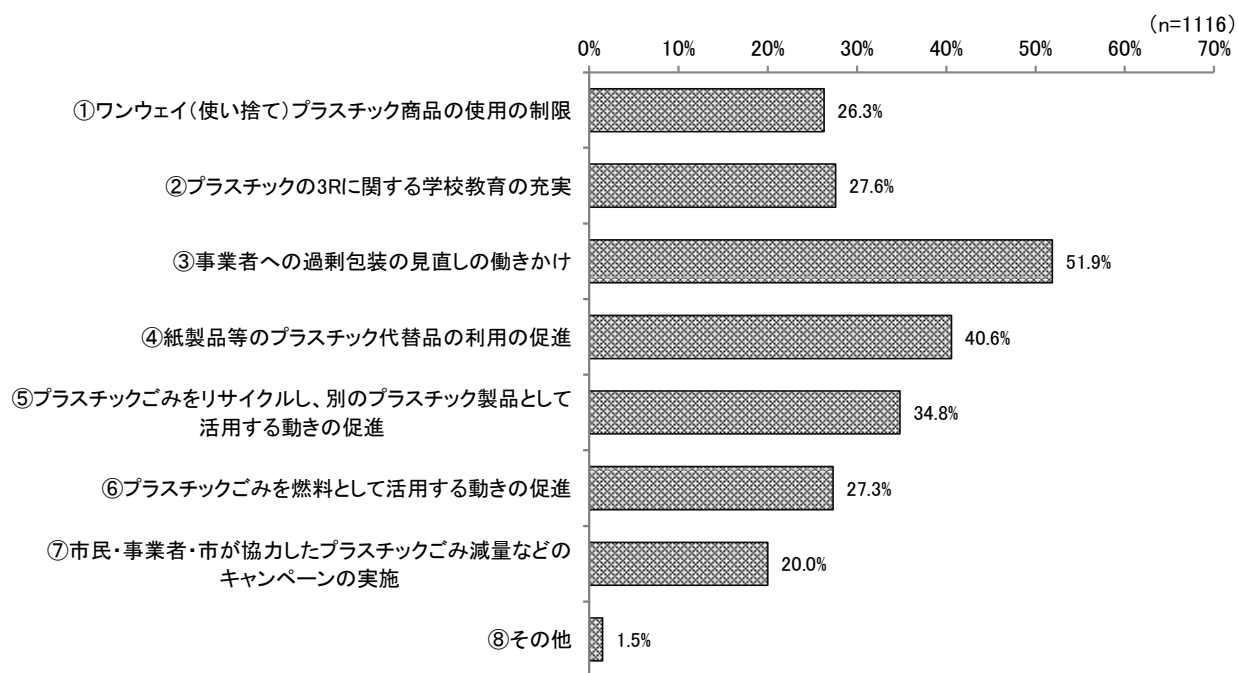
図表 131 市が講じるべき施策(食品ロス・生ごみの削減)(職業別)



2.8.3 プラスチックごみの削減・リサイクルの促進

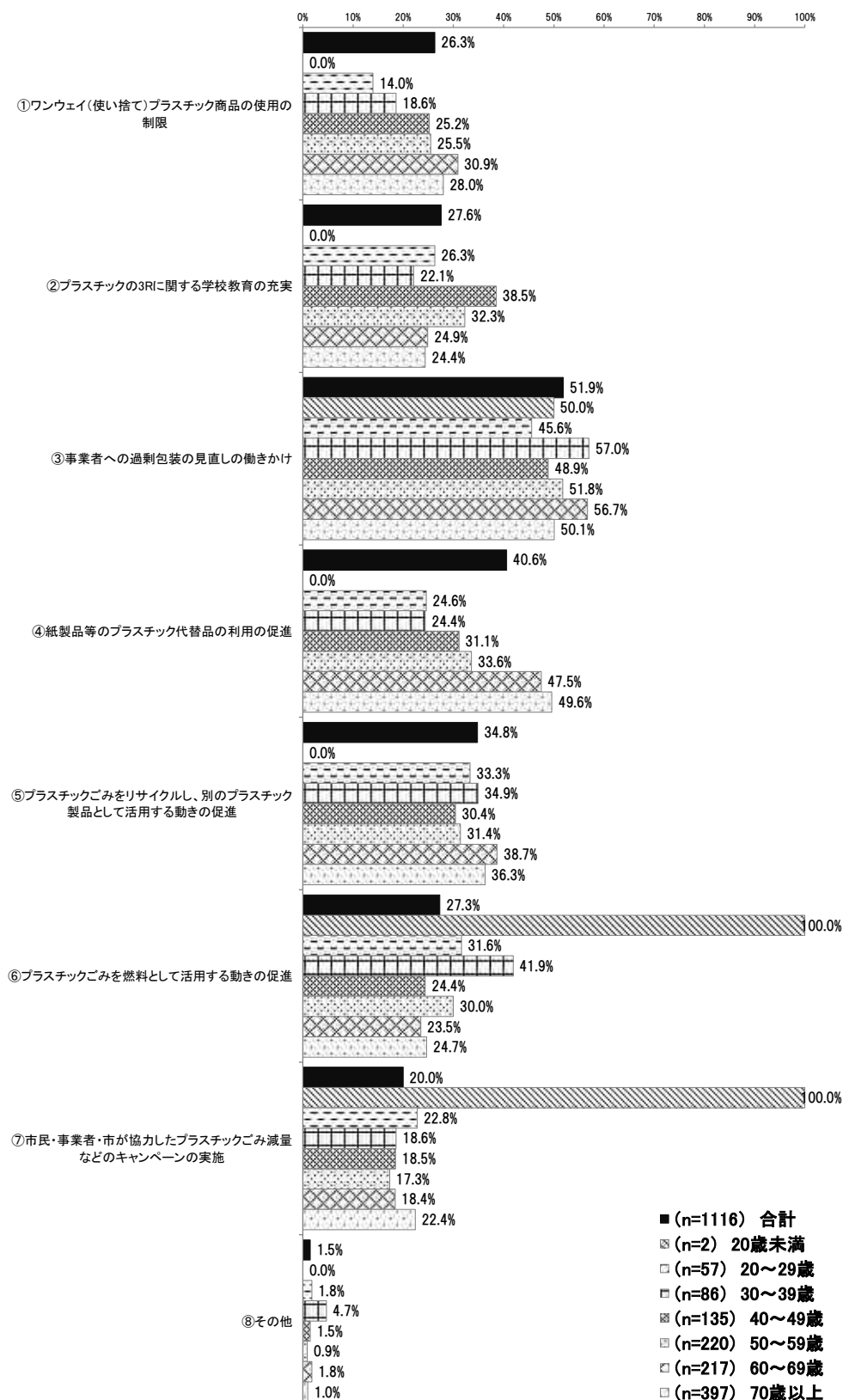
「③事業者への過剰包装の見直しの働きかけ」の割合が最も高く 51.9%となっている。次いで、「④紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進（40.6%）」、「⑤プラスチックごみをリサイクルし、別のプラスチック製品として活用する動きの促進（34.8%）」となっている。

図表 132 市が講じるべき施策（プラスチックごみの削減・リサイクルの促進） ※該当するもの3つまで回答



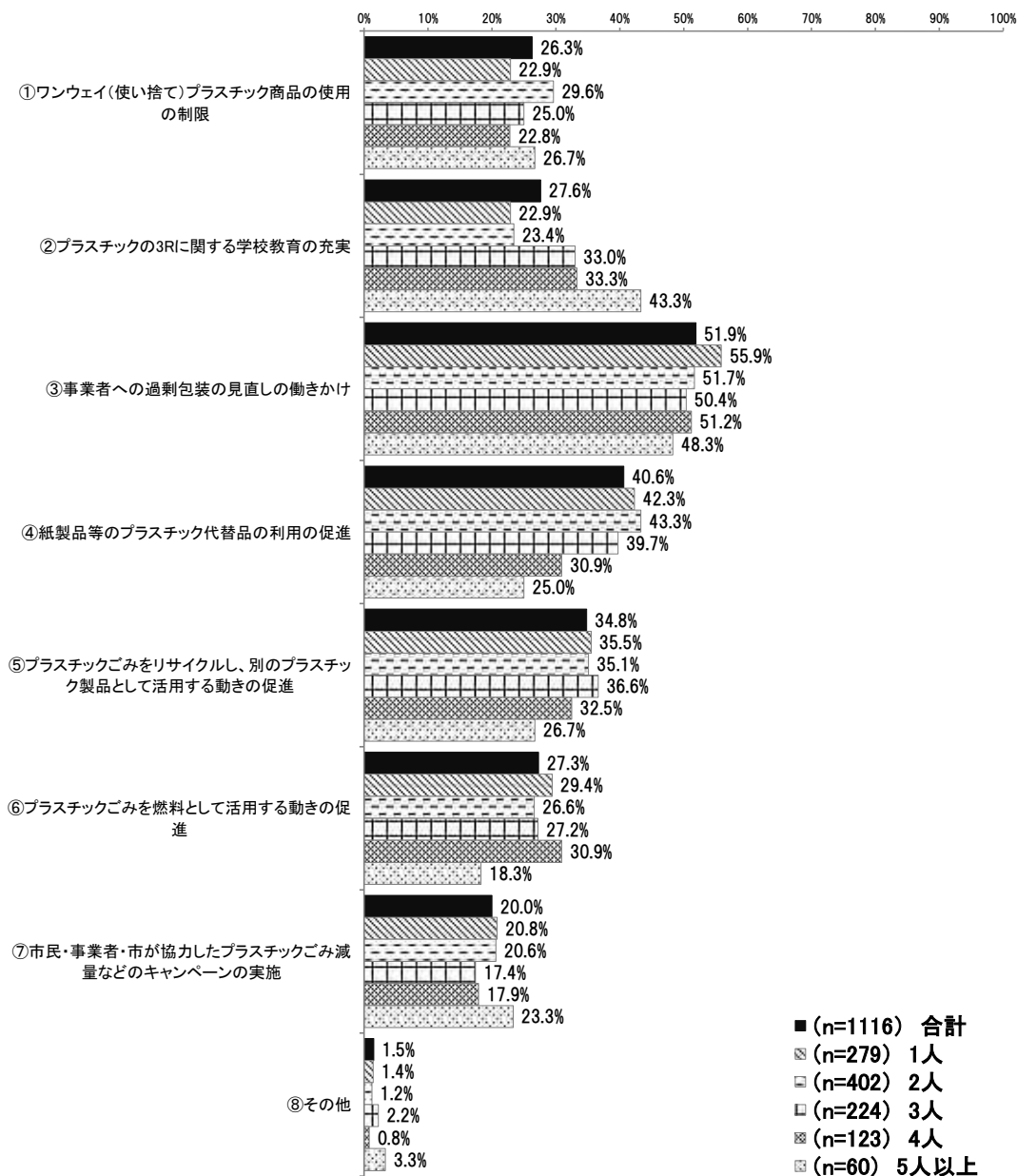
年齢別に見ると、「①ワンウェイ（使い捨て）プラスチック商品の使用の制限」、「④紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 133 市が講じるべき施策(プラスチックごみの削減・リサイクルの促進)(年齢別)



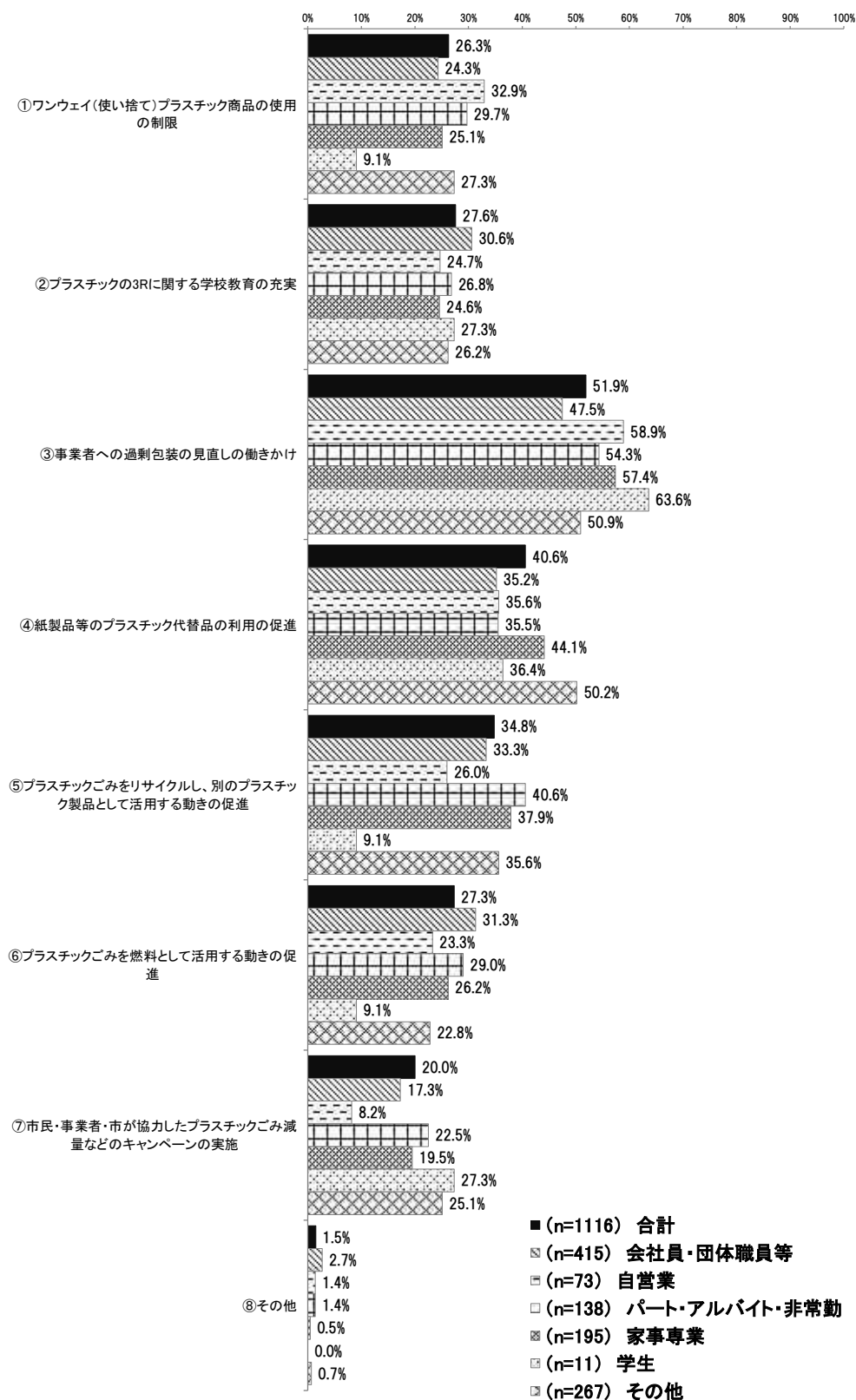
同居人数別に見ると、「④紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進」の割合は、2人までは全体よりも高いが、3人以上は同居人数が多いほど低い傾向にある。「②プラスチックの3Rに関する学校教育の充実」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。

図表 134 市が講じるべき施策(プラスチックごみの削減・リサイクルの促進)(同居人数別)



職業別に見ると、「③事業者への過剰包装の見直しの働きかけ」における「学生（63.6%）」及び「自営業（58.9%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

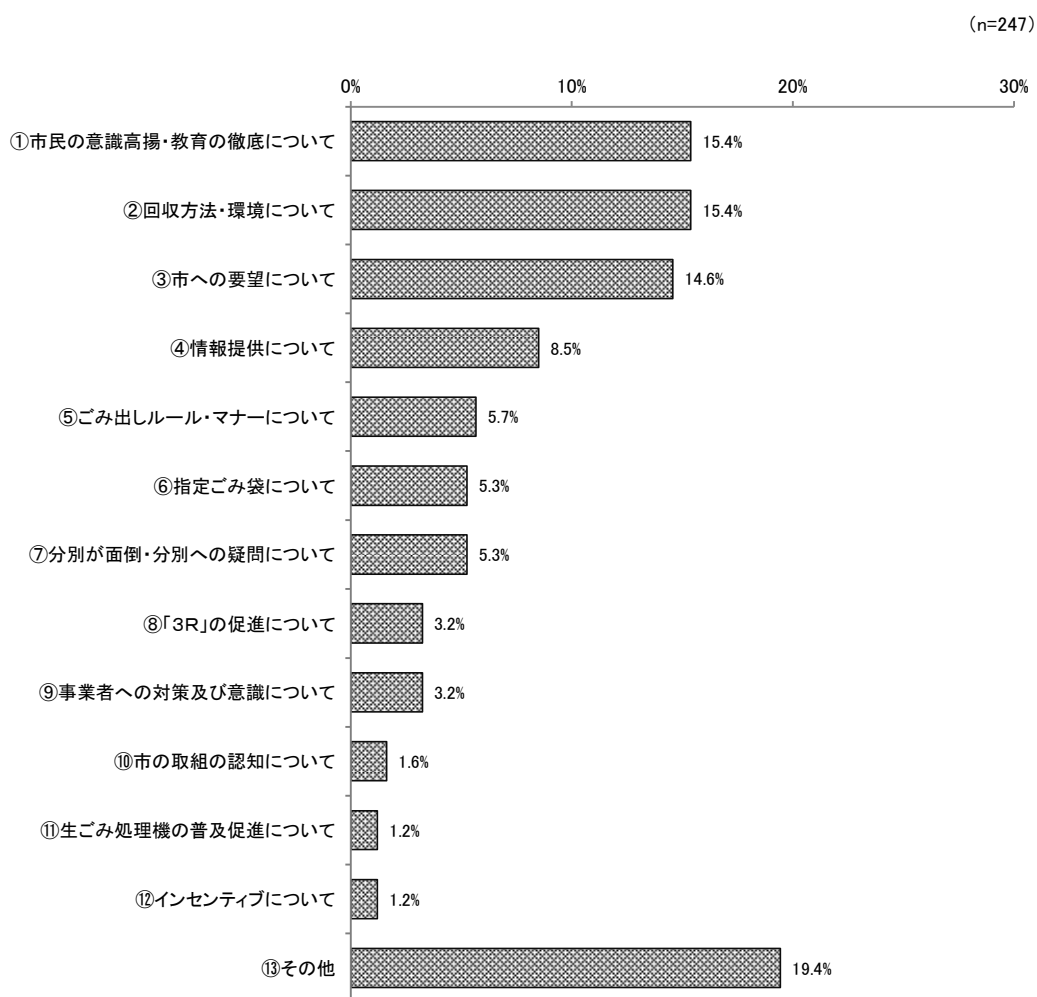
図表 135 市が講じるべき施策(プラスチックごみの削減・リサイクルの促進)(職業別)



2.9 自由回答

仙台市のこれまでのごみ処理施策や今後のごみ処理施策の方向性等について自由記載で意見を求め、以下の13分類の回答集計を行った。「⑬その他」が最も高く19.4%となっている。次いで、「①市民の意識高揚・教育の徹底について」、「②回収方法・環境について」がいずれも15.4%となっている。

図表 136 自由回答の内容及び件数



(全247件のうち)主な回答

【①市民の意識高揚・教育の徹底について】

- ・学生や単身者などのアパート住民に対する教育。又あっせんする不動産業者などを通じ厳しくルールを守らせる。(太白区 70歳以上 男性)
- ・ごみ分別の周知不足、環境に与える影響への教育不足、学校での外部講師による教育(みちのくEMS 他)。会社では若い人も分別してないので学校での教育必要。(泉区 50～59歳 女性)
- ・ごみの分別から1人1人が自覚を持って対処していく事が大事だと思う。生ごみの水切りの徹底を心がける。家庭ごみの内生ごみの水分が多くをしめている実態を周知して皆が気をつけていく様にうながす。(太白区 60～69歳 女性)
- ・マンションの管理人をしています。ごみの分別が全く出来ていません。例えば、資源ごみに平気で、瀬戸物容器やガラス(割れたもの)片を入れたりしてきます。その他の捨て方でも、ペットボトルに飲料が残ったままとか、しょうゆ瓶(or プラ)にしょうゆが残っていたりする場合も

あります。又、生ものの汁が残ったまま捨てるとかです。もっと分別方法について、あるいは捨てる方について告知、教育が必要に思います。(太白区 70 歳以上 男性)

- ・分別方法を市民の一人一人に、広告やポスターにて周知し、町内会等の集会時に指導や教育し、その機会を増やしていけば良くなると思う。(青葉区 60～69 歳 男性)
- ・ごみの分別はしっかり行っている自信があり、仙台市のルールやごみ削減の取り組みを理解しているつもりでいたが、知らないものもあったため今回意識調査に参加できて良かったと感じた。(若林区 40～49 歳 男性)

【②回収方法・環境について】

- ・ダンボール回収が月 2 回は少ないです。他自治体では週 1 回(月 4 回)あります。また、スーパーでも食器トレイのみの回収を行うところ、加えてびん缶も回収するところなど様々で、まとめて回収ボックスへ持参するのに、1km 近く離れたスーパーを行き来することもあります。全てのスーパーで、トレイ、びん、缶、卵パック、牛乳パックを一通り回収できるようボックスを設置してほしいです。(青葉区 30～39 歳 男性)
- ・知らないことも多いが、例えば資源回収庫や回収用容器等については知ってはいても身近にないと、つい面倒になり、簡単な方法で処理する人が多くなる。(青葉区 70 歳以上 男性)
- ・衣類・布類について、月 1 回程度の回収日の指定をお願いします。(宮城野区 70 歳以上 男性)
- ・先日、大きなプラスチック製品の無料回収を今泉リサイクルプラザに直接、持込みということで回収されてましたが、一人暮らしで、持込手段がない為、出来れば、期間限定で町内会のごみ集積所でも回収していただけたら助かります。(泉区 70 歳以上 女性)
- ・紙類の収集日が、月 2 回であるため、5 週ある月は、3 週間収集がないので、5 週の月は 3 回収してほしいです。(青葉区 70 歳以上 女性)
- ・カラスなど害鳥類のごみ置場対策をしてほしい(太白区 60～69 歳 男性)
- ・なかなか難しいとは思いますが、カラスや小動物による、ごみ散乱防止のためにも、鉄柵の設置を増やしてほしい。(太白区 60～69 歳 男性)

【③市への要望について】

- ・楽しく習慣化する事が定着になると思うので、ワケルくんやワケ猫ちゃん等を活用して目でわかる、パッと見てわかる、愛されるキャラクター戦略で進めてほしい。(青葉区 50～59 歳 女性)
- ・保存版「資源とごみの分け方・出し方」が解りにくい。ポイントをしばって、字・絵を大きくし、解り易い表現にしてほしい。環境事業所の担当の方には電話問い合わせで迷惑をかけています。(泉区 70 歳以上 男性)
- ・疑問に何でも答えてくれる電話があればと(あるのかも知れませんが)思います。(青葉区 70 歳以上 女性)
- ・市政だよりにも書かれても、なかなか読まないのだから広報活動の方法を考えてほしいです。(青葉区 70 歳以上 女性)
- ・ごみの分別方法、処理の仕方等、情報収集の仕方が難しい。もう少し、簡素化して欲しい。(宮城野区 40～49 歳 女性)
- ・リサイクル活動によって、市民がどのような利益を受ける事ができるのかが、全くわからない。どれくらいの経費をかけていて、どれくらいの利益があるのか。あるいは具体的な成果がどれほどあるのかを市民に明確に示す必要がある。(宮城野区 50～59 歳 男性)
- ・どれが家庭ごみでどれが、プラスチックごみなのか、又雑がみの内容、種類が事細かく示している物で家の中に掲示できるものがほしいです。(若林区 40～49 歳 女性)

【④情報提供について】

- ・「プラごみ」、「一般ごみ」の処理方法についての広報活動の強化。(泉区 70 歳以上 男性)
- ・小型充電式電池の処分の仕方が全くわからない。どういうものなのか、わかりやすい説明があれば良いかと思います。(若林区 70 歳以上 女性)
- ・20 年以上仙台に住んでいますが、知らないルールが多いと感じました。より、積極的な周知が必要だと思います。頑張って下さい。(青葉区 30～39 歳 男性)

- ・ごみが増えるのだが以前の様に、ごみのパンフレットを配布してほしい。分かりやすかった。ネットのホームページは分かりづらい!! (太白区 60～69 歳 男性)
- ・乾燥生ごみの野菜などへの交換事業やヨーグルト容器などのコーティングがされた紙容器の資源回収庫は知らなかったのもっと PR する必要があると思う。(太白区 50～59 歳 女性)
- ・YouTube 等、ネットの情報発信に力を入れ、街の至る所に広告を貼れば嫌でも気付き、皆意識するようになる。(宮城野区 20～29 歳 男性)

【⑤ごみ出しルール・マナーについて】

- ・街の中が、いつも、きれいであり感謝しています。中心部、特に、飲食店、朝カラスが、袋、破っている・・・清掃の人が、寄せ集め回収している。どうか、飲食店にルール守るよう、お話してほしい。マンション等の管理人が住民にマナー守るよう厳しいですよ。(青葉区 70 歳以上 男性)
- ・住民ひとりひとりがマナーを守ってごみ処理をしてほしい。(宮城野区 70 歳以上 女性)
- ・町内のクリーン仙台推進員をさせていただいていますがごみ出しのルールが守られていないのが現状です。啓発ポスターを貼っても見向きもされません。(ごみ処理施策の意見でなく申し分ありません) (太白区 60～69 歳 女性)

【⑥指定ごみ袋について】

- ・プラスチック類が赤指定袋で出すことができ、大変助かっている。(若林区 70 歳以上 男性)
- ・家庭ごみ袋、特小(10l)よりもっと小さい袋を出してほしいです。ごみが少ないので。(青葉区 50～59 歳 女性)
- ・ごみ袋を無償にしてほしい。(泉区 70 歳以上 男性)
- ・ごみ袋が高いので、なるべく使わないようになっしまい、分別しようとする気がなくなっしまいます。ごみ袋の料金を安くしてほしいです。(若林区 20～29 歳 女性)

【⑦分別が面倒・分別への疑問について】

- ・日頃ごみ収集、分別してくださっている方々にとても感謝しております。「スプレー缶は、中身を使い切って」ですが、たとえばヘアスプレー買ったけど気に入らない。とかで、捨てたいけど、まだ中身がたくさん入っている。このような時は、どうすればいいのでしょうか?また、ごみじゃないけど、使用期限の切れた小型のスプレータイプの消火器処分に困ってます。ホームセンターでは引き取り不可と言われました。出来れば消防署での回収お願いしたいです。防災意識を高めるため、なんとかしてほしい。切実な悩みです。(宮城野区 50～59 歳 女性)
- ・「雑がみ」は、どこまでの大きさの物も含まれるのか、詳しく知りたい。(太白区 50～59 歳 女性)
- ・雑がみ分別がやりにくい。ハガキ、ダイレクトメール等、プライバシーについて心配。雑がみまとめる紙袋がない。出す頻度が少なく、ごみとして家の中にずっとある。(太白区 60～69 歳 女性)
- ・一般ごみに関しては分別強化しているのに、営業ごみで分別していないのがそもそも疑問。家庭にいる時間より、会社や職場の滞在時間が長い為分別せずに捨てれる環境があれば身につかないのでは?そう言っている人も実際います。紙、燃えるごみ、プラスチックスプーン、ペットラベル全て混合ですよね? (青葉区 50～59 歳 女性)

【⑧「3R」の促進について】

- ・いろいろとお世話になっております。引続きどうぞよろしくお願いいたします。アンケートを通じさらにリサイクル推進に努めたいと思いました。(若林区 60～69 歳 男性)
- ・「3R」やエコバック利用で家庭ごみの量はかなり減りました。今は生ごみ減量に取り組んでいます。プラスチックごみをもっと減らせるといいと思います。皆がごみ捨てのルールを守り、「3R」に取り組めるといいと思います。(青葉区 60～69 歳 女性)
- ・プラスチックはどこまで(何回まで)リサイクルできるのか、リサイクルしなくても良いプラスチックの研究・開発が必要と思う。便利だけど海洋汚染のもととなり始末が悪い。(泉区 70 歳以上 女性)

【⑨事業者への対策及び意識について】

- ・仙台市は他の地方自治体よりごみの細分化が進んでおり大変結構なことである。事業者への過剰包装の見直しを強力に要請してほしい。マイバックの利用を強力に推進すべき。マンション居住者は畑等がないため、生ごみを堆肥化しても活用出来ない、収集出来ないか検討してほしい。家庭等で余った食品を持ち込める回収場所を増してほしい。市制日より等キャンペーンは知りつくしているが、回収出来る場所が遠距離で持ち込めない。(高齢者のため)なるべく近くに回収場所を増やしてほしい。(太白区 70歳以上 男性)
- ・委託の清掃回収員の対応法・運転法には日頃から不満を持っています。せっかく市民の為に良い事を行っているのに、ごみの扱いは雑に行っていて、逆に集積所をよごしたり、運転は荒く、我が者顔での運転、狭い住宅地(すれちがいが難しい)ところでは中々道をゆずらないわりに、我々が車を停めて(車の乗り降りのため)いると、クラクションを鳴らしたり、空ぶかしをしてあおったりする清掃員を数多く目撃しています。(太白区 50～59歳 男性)

【⑩市の取組の認知について】

- ・仙台市が地球温暖化対策及びごみ減量に関し真剣に取り組まれていることがうかがい知ることができました。これ程までの細部にわたりアンケートの調査項目、本当にびっくりする位です。担当職員の皆様、ご苦労様です。私共も協力をおしませうごみ減量に努力していきます。(宮城野区 70歳以上 男性)
- ・今回の意識調査でペットボトルをつぶして出すことを初めて知った。市の施策がとれほど認知されているかをどのように把握しているのか知りたい。(太白区 60～69歳 男性)
- ・仙台市が今までごみ処理に対して行ってきた施策をあまり知らない。それ程興味が無い、触れる機会がなかったということだと思う。自分の周りには全く分別していない人も居り、若者中心に同じような人が多いのでは？もっと身近に感じられるようになればいいのに。(泉区 20～29歳 女性)

【⑪生ごみ処理機の普及促進について】

- ・生ごみを乾燥してカラカラにする機械が我が家にあり利用しています。それを一家に一台あれば、少し生ごみだけでも減少することができるのではないのでしょうか?そんなに高額なものではありませんが購入費用の助成してもらえればと思います。(青葉区 50～59歳 女性)

【⑫インセンティブについて】

- ・ごみを減らす活動が個人個人の"オトク"に直結するような仕組みがあればさらに減量化やリサイクルが促進されると思います。(宮城野区 60～69歳 女性)
- ・スーパーで気軽にダンボールや紙類、ペットボトルの回収とそれに準じてポイントが付与される仕組みが嬉しいため、さらに拡大してほしいです。(太白区 40～49歳 女性)

【⑬その他】

- ・住宅地でない場所でごみを処理(焼く)などできたら良い。焼いた後も畑などに入れるなどできるので。ごみ焼の容器など利用できてやれたらごみとして出す量が減る。(太白区 70歳以上 女性)
- ・ワケルくんの絵がかわいくて冊子を読みやすかったので漫画やエッセイ調だと若い人も読みやすくなるのかと思いました。(若林区 40～49歳 女性)
- ・プラスチックごみの範囲が広がり、良い事だと思った。もっと燃料としての活用が増えればと考えている。(泉区 60～69歳 女性)
- ・今回のアンケート内容で、知らなかったことを知るきっかけになったので良かったと思いました。(庭木をせん定した枝等の戸別無料収集は次回から利用したいと思います) これからお歳暮の時期で、りんごやみかん等贈られてきます。美味しければすぐ消費できるのですが、たまに、美味しくないものもあり、人にもあげられず、結局捨ててしまうことがあるので、消費できない(まだ食べられる)果物を生ごみにせず、活用する方法など考えていただきたい。乾燥生ごみについても今度調べてみたいと思います。(若林区 40～49歳 女性)
- ・レジ袋有料化の効果を正しく評価し、見直してほしい。(青葉区 30～39歳 男性)

3. 【参考】 調査票と結果概要

調査票



ごみ排出等に関する市民意識調査

1 あなた自身のことについて

(1) 以下の各項目について、該当するもの 1つ に○を付けてください。

◆ 居住区

① 青葉区 ② 宮城野区 ③ 若林区 ④ 太白区 ⑤ 泉区

合 計	①青葉区	②宮城野区	③若林区	④太白区	⑤泉区	無回答
1116	343	178	126	250	218	1
100.0%	30.7%	15.9%	11.3%	22.4%	19.5%	0.1%

◆ 性別

① 男 性 ② 女 性 ③ その他 ④ 回答しない

合 計	①男性	②女性	③その他	④回答しない	無回答
1116	578	528	0	7	3
100.0%	51.8%	47.3%	0.0%	0.6%	0.3%

◆ 年齢

① 20 歳未満 ② 20～29 歳 ③ 30～39 歳 ④ 40～49 歳
⑤ 50～59 歳 ⑥ 60～69 歳 ⑦ 70 歳以上

合 計	①20歳未満	②20～29歳	③30～39歳	④40～49歳	⑤50～59歳	⑥60～69歳	⑦70歳以上	無回答
1116	2	57	86	135	220	217	397	2
100.0%	0.2%	5.1%	7.7%	12.1%	19.7%	19.4%	35.6%	0.2%

◆ 世帯構成

- ① 一人暮らし ② 夫婦（パートナー）のみ ③ 二世帯（あなたと親） ④ 二世帯（あなたと子）
⑤ 三世帯 ⑥ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①一人暮らし	②夫婦（パート ナー）のみ	③二世帯 （あなたと親）	④二世帯 （あなたと子）	⑤三世帯	⑥その他	無回答
1116	289	320	61	366	44	19	17
100.0%	25.9%	28.7%	5.5%	32.8%	3.9%	1.7%	1.5%

◆ 家族等同居人数（あなたを含んだ人数をお答えください）

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人以上

※「家族等同居人数」については、友人等同居人も含みます。

合 計	①1人	②2人	③3人	④4人	⑤5人以上	無回答
1116	279	402	224	123	60	28
100.0%	25.0%	36.0%	20.1%	11.0%	5.4%	2.5%

◆ 職業

- ① 会社員・団体職員等 ② 自営業 ③ パート・アルバイト・非常勤
④ 家事専業 ⑤ 学生 ⑥ その他（ ）

合 計	①会社員・ 団体職員等	②自営業	③パート・アル バイト・非常勤	④家事専業	⑤学生	⑥その他	無回答
1116	415	73	138	195	11	267	17
100.0%	37.2%	6.5%	12.4%	17.5%	1.0%	23.9%	1.5%

◆ 居住形態

- ① 一戸建 ② 分譲マンション ③ 賃貸マンション・アパート ④ 社宅・寮等
⑤ 店舗兼住宅 ⑥ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①一戸建	②分譲 マンション	③賃貸 マンション・ アパート	④社宅・寮等	⑤店舗兼 住宅	⑥その他	無回答
1116	594	200	275	15	6	23	3
100.0%	53.2%	17.9%	24.6%	1.3%	0.5%	2.1%	0.3%

◆ 仙台市内での通算居住年数

- ① 1年未満 ② 1年以上3年未満 ③ 3年以上5年未満
④ 5年以上10年未満 ⑤ 10年以上30年未満 ⑥ 30年以上50年未満
⑦ 50年以上

合 計	①1年未満	②1年以上 3年未満	③3年以上 5年未満	④5年以上 10年未満	⑤10年以上 30年未満	⑥30年以上 50年未満	⑦50年以上	無回答
1116	19	51	29	76	323	342	275	1
100.0%	1.7%	4.6%	2.6%	6.8%	28.9%	30.6%	24.6%	0.1%

2 こみと資源物の出し方などについて

- (2) 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すとき、どの大きさの袋を使いますか。
一番多く使用する大きさの袋を選び、該当するもの1つに○を付けてください。

- ① 大（45ℓ） ② 中（30ℓ） ③ 小（20ℓ） ④ 特小（10ℓ）
⑤ 使用していない

合 計	①大(45L)	②中(30L)	③小(20L)	④特小 (10L)	⑤使用して いない	無回答
1116	156	380	285	262	3	30
100.0%	14.0%	34.1%	25.5%	23.5%	0.3%	2.7%

- (3) (設問(2)で「① 大（45ℓ）」「② 中（30ℓ）」「③ 小（20ℓ）」「④特小（10ℓ）」と答えた方に伺います。）

家庭ごみ（緑の指定袋）は、どのくらいの量を出しますか。該当するもの1つに○を付けてください。

- ① 1週間に3袋以上 ② 1週間に2袋 ③ 1週間に1袋 ④ 2～3週間に1袋
⑤ 1か月に1袋以下 ⑥ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①1週間に 3袋以上	②1週間に 2袋	③1週間に 1袋	④2～3週間に 1袋	⑤1か月に 1袋以下	⑥その他	無回答
1083	72	582	323	84	15	6	1
100.0%	6.6%	53.7%	29.8%	7.8%	1.4%	0.6%	0.1%

- (4) プラスチック資源※（赤の指定袋）を出すとき、どの大きさの袋を使いますか。
一番多く使用する大きさの袋を選び、該当するもの1つに○を付けてください。

- ① 大（45ℓ） ② 中（30ℓ） ③ 小（15ℓ） ④ 使用していない

※プラスチック資源として、「プラスチック製容器包装」と「プラスチック素材 100%製品」が対象となっており、一緒に赤の指定袋に入れて出すことになっています。

- ・プラスチック製容器包装とは、「ボトル類（プラスチック製の洗剤ボトル等）」「ラベル類（ペットボトルラベル等）」「トレイ類」「チューブ類（歯磨き剤の容器等）」「袋・ラップ類」「菓子の容器包装」「容器類・緩衝材」等を指します。
- ・プラスチック素材 100%の製品とは、「文房具・玩具等」「収納用品、洗面・風呂用品等」「台所用品」「汚れを落とした屋外用品（プラスチック製のプランター等）」等を指します。

合 計	①大(45L)	②中(30L)	③小(15L)	④使用して いない	無回答
1116	254	531	279	28	24
100.0%	22.8%	47.6%	25.0%	2.5%	2.2%

(5) (設問(4)で「① 大(45ℓ)」「② 中(30ℓ)」「③ 小(15ℓ)」と答えた方に伺います。)

プラスチック資源(赤の指定袋)は、どのくらいの量を出しますか。該当するもの1つに○を付けてください。

- ① 1週間に3袋以上 ② 1週間に2袋 ③ 1週間に1袋 ④ 2～3週間に1袋
⑤ 1か月に1袋以下 ⑥ その他(※詳細をご記入ください)

合 計	①1週間に3袋以上	②1週間に2袋	③1週間に1袋	④2～3週間に1袋	⑤1か月に1袋以下	⑥その他	無回答
1064	9	68	679	246	50	9	3
100.0%	0.8%	6.4%	63.8%	23.1%	4.7%	0.8%	0.3%

(6) プラスチック資源(赤の指定袋)を出すとき、あなたの分別状況に該当するもの1つに○を付けてください。

- ① しっかりと分別できている ② 概ね分別できている
③ 一部を分別できている ④ 分別はほとんどできていない
⑤ 分別せずに家庭ごみで出している ⑥ 分からない

合 計	①しっかりと分別できている	②概ね分別できている	③一部を分別できている	④分別はほとんどできていない	⑤分別せずに家庭ごみで出している	⑥分からない	無回答
1116	521	505	45	1	11	1	32
100.0%	46.7%	45.3%	4.0%	0.1%	1.0%	0.1%	2.9%

(7) プラスチック資源を分別するときを感じていることについて、該当するものすべてに○を付けてください。

- ① 容器包装だけでなくプラスチック素材100%製品も出せるようになり、分別がわかりやすくなった
② プラスチック素材100%製品の分別がわかりにくい
③ 分別することが面倒だ
④ 汚れを取るのが面倒だ
⑤ どの程度汚れを取ればいいのか分からない
⑥ その他(※詳細をご記入ください)

合 計	①容器包装だけでなくプラスチック素材100%製品も出せるようになり、分別がわかりやすくなった	②プラスチック素材100%製品の分別がわかりにくい	③分別することが面倒だ	④汚れを取るのが面倒だ	⑤どの程度汚れを取ればいいのか分からない	⑥その他	無回答
1116	574	330	109	256	403	32	36
100.0%	51.4%	29.6%	9.8%	22.9%	36.1%	2.9%	3.2%

(8) (設問 (4) で「④ 使用していない」と答えた方に伺います。)

プラスチック資源の指定袋を使用していない理由は何ですか。該当するものすべてに○を付けてください。

- ① プラスチック資源の分別があることを知らなかった
- ② ごみが少量のため、プラスチック資源の指定袋を購入する必要性を感じない、もったいない
- ③ 分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒
- ④ 分別・リサイクルの必要性がわからない
- ⑤ 出し方、分け方、収集曜日等がわからない
- ⑥ 汚れを落とすときに使う水がもったいない
- ⑦ 捨てたいときに捨てられない
- ⑧ 居住している集合住宅・寮等で分別を行っていない
- ⑨ その他 (※詳細をご記入ください)

合 計	①プラスチック資源の分別があることを知らなかった	②ごみが少量のため、プラスチック資源の指定袋を購入する必要性を感じない、もったいない	③分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒	④分別・リサイクルの必要性がわからない	⑤出し方、分け方、収集曜日等がわからない	⑥汚れを落とすときに使う水がもったいない	⑦捨てたいときに捨てられない	⑧居住している集合住宅・寮等で分別を行っていない	⑨その他	無回答
28	0	13	9	3	1	3	1	0	11	0
100.0%	0.0%	46.4%	32.1%	10.7%	3.6%	10.7%	3.6%	0.0%	39.3%	0.0%

(9) びんやペットボトルを出すときのルールについてお聞きします。

普段の行動について、該当するものそれぞれ 1 つに○を付けてください。

ア	イ	ウ	エ
いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった

① びんやペットボトルを出すときに「フタ」を外している	ア	イ	ウ	エ
② ペットボトルを出すときに「ラベル」を外している	ア	イ	ウ	エ
③ ペットボトルを出すときにつぶして出している	ア	イ	ウ	エ

	合 計	①いつもしている	②あまりしていない	③ほとんどしていない	④ルールを知らなかった	無回答
①びんやペットボトルを出すときに「フタ」を外している	1116	982	46	25	7	56
	100.0%	88.0%	4.1%	2.2%	0.6%	5.0%
②ペットボトルを出すときに「ラベル」を外している	1116	966	50	31	5	64
	100.0%	86.6%	4.5%	2.8%	0.4%	5.7%
③ペットボトルを出すときにつぶして出している	1116	395	232	282	109	98
	100.0%	35.4%	20.8%	25.3%	9.8%	8.8%

(10) 仙台市では、令和4年7月から小型充電式電池^{※1}、また電池が本体から容易に取り外せないもの^{※2}を「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」として出せるようになりました。

缶・びん・ペットボトル、小型充電式電池の出し方について、該当するものすべてに○を付けてください。

	該当するもの すべてに○	該当するもの すべてに○
	缶・びん・ ペットボトル	小型充電式 電池
① 「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している		
② 町内会・子ども会等の集団資源回収に出している		
③ スーパーや家電量販店等の回収ボックスに出している		
④ 区役所や総合支所の充電池等回収ボックスに出している		
⑤ 分別せずに家庭ごみ指定袋に入れて出している		
⑥ 出し方がわからず家庭内で保管している		
⑦ その他(※以下に詳細をご記入ください) ()		

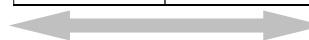
※1 小型充電式電池とは、リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、ニカド電池を指します。

※2 電池が本体から容易に取り外せないものとして、スマートフォン、モバイルバッテリー、加熱式たばこ、電動歯ブラシ等が対象になります。

	合 計	①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している	②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している	③スーパーや家電量販店等の回収ボックスに出している	④区役所や総合支所の充電池等回収ボックスに出している	⑤分別せずに家庭ごみ指定袋に入れて出している	⑥出し方がわからず家庭内で保管している	⑦その他	無回答
缶・びん・ペットボトル	1116 100.0%	1015 90.9%	137 12.3%	167 15.0%	0 0.0%	23 2.1%	16 1.4%	7 0.6%	57 5.1%
小型充電式電池	1116 100.0%	534 47.8%	0 0.0%	182 16.3%	46 4.1%	24 2.2%	112 10.0%	24 2.2%	298 26.7%

(1 1) 収集・処理工程の安全確保のため、気を付けていただきたいごみの出し方について、知っていますか。該当するものそれぞれ1つに○を付けてください。

ア	イ
知っている	知らない



①	ライターは使い切ってから、水にしっかり浸して、家庭ごみ指定袋に入れて出す		
②	割れたガラスや陶器、刃物などは、厚手の紙などに包んでから、家庭ごみ指定袋に入れて出す。また、指定袋には「危険」とペンで書く		
③	食用油などの液体は、布に染み込ませるか市販の処理剤で固めてから、家庭ごみ指定袋に入れて出す		
④	スプレー缶は中身を使い切ってから、穴は開けずに、「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の指定曜日に出す		
⑤	電池は端子の部分に透明なテープを貼って、電池・バッテリーが本体から容易に取り外せないものはそのまま、透明な袋に入れた状態で、「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の指定曜日に出す		
⑥	在宅医療で使用した点滴パック、チューブなど、感染の恐れがある在宅医療廃棄物は、プラスチック製であっても家庭ごみ指定袋に入れて出す		

	合 計	①知っている	②知らない	無回答
①ライターは使い切ってから、水にしっかり浸して、家庭ごみ指定袋に入れて出す	1116	437	610	69
	100.0%	39.2%	54.7%	6.2%
②割れたガラスや陶器、刃物などは、厚手の紙などに包んでから、家庭ごみ指定袋に入れて出す。また、指定袋には「危険」とペンで書く	1116	946	129	41
	100.0%	84.8%	11.6%	3.7%
③食用油などの液体は、布に染み込ませるか市販の処理剤で固めてから、家庭ごみ指定袋に入れて出す	1116	954	113	49
	100.0%	85.5%	10.1%	4.4%
④スプレー缶は中身を使い切ってから、穴は開けずに、「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の指定曜日に出す	1116	864	191	61
	100.0%	77.4%	17.1%	5.5%
⑤電池は端子の部分に透明なテープを貼って、電池・バッテリーが本体から容易に取り外せないものはそのまま、透明な袋に入れた状態で、「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の指定曜日に出す	1116	509	537	70
	100.0%	45.6%	48.1%	6.3%
⑥在宅医療で使用した点滴パック、チューブなど、感染の恐れがある在宅医療廃棄物は、プラスチック製であっても家庭ごみ指定袋に入れて出す	1116	290	721	105
	100.0%	26.0%	64.6%	9.4%

3 ごみの減量・3R・循環経済の取り組み等について

(12) 「3R」という言葉を知っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① よく知っており内容も理解している | ② なんとなく理解している |
| ③ 聞いたことがある | ④ 知らない |

合 計	①よく知っており 内容も理解している	②なんとなく 理解している	③聞いたことが ある	④知らない	無回答
1116	231	418	164	285	18
100.0%	20.7%	37.5%	14.7%	25.5%	1.6%

「3R」とは、ごみ減量・リサイクルのポイントとなる、3つの言葉のことです。

①	<u>R</u> educe	【リデュース】：できるだけごみを出さない － 簡易包装に努める、ムダなものは買わない など －
②	<u>R</u> euse	【リユース】：繰り返し使う － 詰め替え製品を選び容器は繰り返し使う、マイカップやマイ箸を使う など －
③	<u>R</u> ecycle	【リサイクル】：資源に再生する － 資源物をきちんと分別する など －

これら3つの言葉の頭文字をとって、「3R」と言います。

また、3Rには優先順位があります。リサイクルよりも、**リデュース・リユースを優先**し、より環境への負荷を減らしていくことが、資源循環型社会の構築には大切です。

(13) あなたがごみに関する情報（ごみ収集日、ごみの分別方法、仙台市のごみに関する話題等）を知る方法は何ですか。主に該当するもの3つまでに○を付けてください。

- ① 市政だより（毎月発行）
 ② 資源とごみの分け方・出し方
 ③ 仙台市のホームページ（http://www.city.sendai.jp）
 ④ ワケルネット（http://www.gomi100.com）
 ⑤ ごみ分別アプリさんあ〜る
 ⑥ せんだい Tube、YouTube
 ⑦ 新聞
 ⑧ 雑誌やフリーペーパー
 ⑨ テレビやラジオのニュース、CMなど
 ⑩ 仙台市の施設などに掲示している掲示物
 ⑪ ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板
 ⑫ 交通機関に掲示している掲示物、電子広告
 ⑬ 町内会などの回覧
 ⑭ 家族や友人など
 ⑮ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①市政だより	②資源とごみの分け方・出し方	③仙台市のホームページ	④ワケルネット	⑤ごみ分別アプリさんあ〜る	⑥せんだい Tube、YouTube	⑦新聞	⑧雑誌やフリーペーパー
1116	525	754	281	124	30	2	42	11
100.0%	47.0%	67.6%	25.2%	11.1%	2.7%	0.2%	3.8%	1.0%

⑨テレビやラジオのニュース、CMなど	⑩仙台市の施設などに掲示している掲示物	⑪ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板	⑫交通機関に掲示している掲示物、電子広告	⑬町内会などの回覧	⑭家族や友人など	⑮その他	無回答
53	23	330	5	306	48	18	39
4.7%	2.1%	29.6%	0.4%	27.4%	4.3%	1.6%	3.5%

(14) 仙台市がこれまでにやってきたごみ減量・3R推進に係る取り組みについて、どの程度知っていますか。該当するものをそれぞれ1つに○を付けてください。

ア	イ	ウ	エ
知っていて 利用 している	知っているが 利用して いない	聞いたことが ある	全く 知らない



①	市民センター等での紙類・布類の拠点回収 (資源回収庫の設置)				
②	子ども会や町内会等による集団資源回収事業 の推進				
③	使用済み食用油のボックス回収・リサイクル ※みやぎ生協一部店舗				
④	スマートフォンやデジタルカメラ等のボック ス回収・リサイクル (小型家電リサイクル) ※区役所、スーパーなど				
⑤	家庭の庭木をせん定した枝や幹の戸別収集・ リサイクル				
⑥	ごみ分別・減量に関するホームページ「ワケル ネット」や、ごみ分別アプリ※「さんあ〜る」 ※令和3年10月よりウェブサイト版も利用 可能				
⑦	ワケルくんバスの運行 (環境施設を見る会)				
⑧	リサイクルたい肥「杜のめぐみ」の配布				
⑨	マイバッグの推進 (レジ袋の削減)				
⑩	地域でのごみ減量・リサイクル推進に取り組 むリーダーの育成 (クリーン仙台推進員など)				
⑪	ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャン ペーン」の実施				
⑫	環境配慮事業者 (エコにこマイスター、エコに こゴールドマイスター) 認定制度の実施				

	合 計	①知っている 利用している	②知っているが 利用していない	③聞いたことが ある	④全く知らない	無回答
①市民センター等での紙類・布類の拠点回収(資源回収庫の設置)	1116 100.0%	213 19.1%	304 27.2%	153 13.7%	380 34.1%	66 5.9%
②子ども会や町内会等による集団資源回収事業の推進	1116 100.0%	479 42.9%	339 30.4%	110 9.9%	133 11.9%	55 4.9%
③使用済み食用油のボックス回収・リサイクル ※みやぎ生協一部店舗	1116 100.0%	113 10.1%	355 31.8%	165 14.8%	418 37.5%	65 5.8%
④スマートフォンやデジタルカメラ等のボックス回収・リサイクル(小型家電リサイクル) ※区役所、スーパーなど	1116 100.0%	245 22.0%	378 33.9%	158 14.2%	263 23.6%	72 6.5%
⑤家庭の庭木をせん定した枝や幹の戸別収集・リサイクル	1116 100.0%	134 12.0%	231 20.7%	128 11.5%	551 49.4%	72 6.5%
⑥ごみ分別・減量に関するホームページ「ワケルネット」や、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	1116 100.0%	156 14.0%	141 12.6%	200 17.9%	534 47.8%	85 7.6%
⑦ワケルくんバスの運行(環境施設を見る会)	1116 100.0%	24 2.2%	159 14.2%	164 14.7%	693 62.1%	76 6.8%
⑧リサイクルたい肥「杜のめぐみ」の配布	1116 100.0%	34 3.0%	115 10.3%	125 11.2%	755 67.7%	87 7.8%
⑨マイバッグの推進(レジ袋の削減)	1116 100.0%	894 80.1%	40 3.6%	49 4.4%	72 6.5%	61 5.5%
⑩地域でのごみ減量・リサイクル推進に取り組むリーダーの育成(クリーン仙台推進員など)	1116 100.0%	42 3.8%	73 6.5%	178 15.9%	739 66.2%	84 7.5%
⑪ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」の実施	1116 100.0%	35 3.1%	65 5.8%	198 17.7%	737 66.0%	81 7.3%
⑫環境配慮事業者(エコにこマイスター、エコにこゴールドマイスター)認定制度の実施	1116 100.0%	14 1.3%	24 2.2%	117 10.5%	885 79.3%	76 6.8%

(15)「循環経済(サーキュラーエコノミー)」という言葉を知っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① よく知っており内容も理解している | ② なんとなく理解している |
| ③ 聞いたことがある | ④ 知らない |

合 計	①よく知っており 内容も理解 している	②なんとなく 理解している	③聞いたことが ある	④知らない	無回答
1116 100.0%	32 2.9%	129 11.6%	170 15.2%	774 69.4%	11 1.0%

「循環経済(サーキュラーエコノミー)」とは、世の中に限りのあるあらゆる資源・製品・部品などの効率的な利用を進めることによって、付加価値を生み出し続けようとする新たな経済社会システムの概念です。

これまでの世の中は、大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした経済システムであったのに対して、
「循環経済」は、製品やサービスの生産段階からリサイクルや再利用を前提に設計し、
新たな資源の使用や消費を最小限に抑えるとともに、可能な限り資源を循環利用し続けることによって、
資源の浪費に依存しない持続可能な経済発展を目指すものです。

4 食品ロス・生ごみについて

日本では、本来食べられるのに廃棄される食品（**食品ロス**※）の量が年間**472万トンと推計**されており、この約半分は家庭から排出されています。1人あたりに換算すると経済損失は 32,125 円/人/年（1日あたり 88 円/人/日）、温室効果ガス排出量は 83kg-CO₂/人/年と推計されています。

※出典：消費者庁 HP（<https://www.caa.go.jp/notice/entry/038363/index.html>）

※食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられたものであり、手つかず食品（例えば、未開封のまま捨てられた食品や調理されずに捨てられた野菜など）、食べ残しなどが挙げられます。

（なお、生ごみのうち、魚の骨、野菜の皮など、本来食べないもの（調理くず）は食品ロスではありません。）

（16）食品ロスの排出頻度について、該当するもの1つに○を付けてください。

- ① 週2回以上 ② 週1回 ③ 月1～2回 ④ ほとんどない
⑤ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①週2回以上	②週1回	③月1～2回	④ほとんどない	⑤その他	無回答
1116	48	163	282	594	12	17
100.0%	4.3%	14.6%	25.3%	53.2%	1.1%	1.5%

（17）（設問（16）で「④ ほとんどない」以外を選択した方に伺います。）

次の項目のうち、自宅で手をつけずに捨てたり、食べ残しとして捨てることになった理由に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

- ① 必要以上に食材を買い過ぎてしまった
② 購入した食材が冷蔵庫や保管場所にある食材と重複した
③ 消費・賞味期限内に食べられなかった
④ 食材の保存方法を間違えてしまった
⑤ 購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた
⑥ 購入したものの、調理の仕方や食べ方がわからなかった
⑦ 人からもらった食べ物が好みでなかった
⑧ 作りすぎて食べきれなかった
⑨ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①必要以上に食材を買い過ぎてしまった	②購入した食材が冷蔵庫や保管場所にある食材と重複した	③消費・賞味期限内に食べられなかった	④食材の保存方法を間違えてしまった	⑤購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた	⑥購入したものの、調理の仕方や食べ方がわからなかった	⑦人からもらった食べ物が好みでなかった	⑧作りすぎて食べきれなかった	⑨その他	無回答
505	128	52	351	25	234	12	121	126	24	56
100.0%	25.3%	10.3%	69.5%	5.0%	46.3%	2.4%	24.0%	25.0%	4.8%	11.1%

(18) 仙台市による食品ロス・生ごみの削減のための以下の取り組みのうち、知っているものすべてに○を付けてください。

- ① 生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助
- ② 食品ロス削減講座の開催
- ③ 家庭等で余った食品を持ち込める回収用容器の、区役所等への設置（フードドライブ※の推進）
- ④ 乾燥生ごみの野菜等交換事業
- ⑤ せんだい食品ロス削減ガイドブック「どう減らす？食品ロス」の発行
- ⑥ 食を通じてエコな暮らしを提案する「せんだい食エコリーダー」の取り組み
- ⑦ 食品ロス削減マッチングサービス「ワケルくんもったいないマルシェ」
- ⑧ 飲食店・宿泊施設での食べきりキャンペーン
- ⑨ いずれも知らない

※フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や施設などに持ち寄り、それらを地域の福祉団体やフードバンクなどに寄付する活動です。

合 計	①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助	②食品ロス削減講座の開催	③家庭等で余った食品を持ち込める回収用容器の、区役所等への設置	④乾燥生ごみの野菜等交換事業	⑤せんだい食品ロス削減ガイドブック「どう減らす？食品ロス」の発行	⑥食を通じてエコな暮らしを提案する「せんだい食エコリーダー」の取り組み	⑦食品ロス削減マッチングサービス「ワケルくんもったいないマルシェ」	⑧飲食店・宿泊施設での食べきりキャンペーン	⑨いずれも知らない	無回答
1116	418	48	355	151	31	15	54	105	436	60
100.0%	37.5%	4.3%	31.8%	13.5%	2.8%	1.3%	4.8%	9.4%	39.1%	5.4%

(19) 次の項目のうち、食品ロス・生ごみの削減に向けて「普段から行っている」又は「新たに取り組もうと考えている」ことに該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

	ア	イ
	普段から 行っている	新たに取り組もう と考えている
① 買い物前に家にある食材を確認し、 必要な食材のみ購入 する		
② 期限表示を確認 し、消費可能な食材のみ購入する		
③ 食品に記載される保存方法に従うなど、 適切に食材を保存 する		
④ 野菜を冷凍・乾燥させるなど、 適切に下処理して保存 する		
⑤ 残っている食材 から使う		
⑥ 定期的に 冷蔵庫内や保管場所の整理 を行う		
⑦ インターネット等でレシピを検索し、 知らない食材でも調理 する		
⑧ 食べられる分のみ調理 する		
⑨ フードドライブに協力し、 食品の寄付 を行う		
⑩ 外食時に 食べられる量 を注文する		
⑪ 外食時に 残った料理 を持ち帰る		
⑫ 外食時に 食べきり を意識している		
⑬ 生ごみの水切り を行う		
⑭ 生ごみを家庭内で堆肥化 し、野菜づくり等に活用する		
⑮ 乾燥生ごみを 野菜等に交換 している		
⑯ その他（※以下に詳細をご記入ください） （ ）		

	合 計	①普段から 行っている	②新たに取り 組もうと考えて いる	無回答
①買い物前に家にある食材を確認し、必要な食材のみ購入する	1116 100.0%	897 80.4%	125 11.2%	94 8.4%
②期限表示を確認し、消費可能な食材のみ購入する	1116 100.0%	864 77.4%	114 10.2%	138 12.4%
③食品に記載される保存方法に従うなど、適切に食材を保存する	1116 100.0%	861 77.2%	90 8.1%	165 14.8%
④野菜を冷凍・乾燥させるなど、適切に下処理して保存する	1116 100.0%	662 59.3%	225 20.2%	229 20.5%
⑤残っている食材から使う	1116 100.0%	923 82.7%	76 6.8%	117 10.5%
⑥定期的に冷蔵庫内や保管場所の整理を行う	1116 100.0%	707 63.4%	233 20.9%	176 15.8%
⑦インターネット等でレシピを検索し、知らない食材でも調理する	1116 100.0%	412 36.9%	324 29.0%	380 34.1%
⑧食べられる分のみ調理する	1116 100.0%	774 69.4%	144 12.9%	198 17.7%
⑨フードドライブに協力し、食品の寄付を行う	1116 100.0%	92 8.2%	547 49.0%	477 42.7%
⑩外食時に食べられる量を注文する	1116 100.0%	866 77.6%	67 6.0%	183 16.4%
⑪外食時に残った料理を持ち帰る	1116 100.0%	236 21.1%	371 33.2%	509 45.6%
⑫外食時に食べきりを意識している	1116 100.0%	867 77.7%	41 3.7%	208 18.6%
⑬生ごみの水切りを行う	1116 100.0%	827 74.1%	109 9.8%	180 16.1%
⑭生ごみを家庭内で堆肥化し、野菜づくり等に活用する	1116 100.0%	97 8.7%	463 41.5%	556 49.8%
⑮乾燥生ごみを野菜等に交換している	1116 100.0%	24 2.2%	477 42.7%	615 55.1%
⑯その他	1116 100.0%	20 1.8%	15 1.3%	1090 97.7%

5 プラスチックについて

プラスチックは、食品・日用品の容器包装をはじめ、さまざまな場面で使われており、私たちの豊かな生活を支えてくれています。一方、そのプラスチックごみが、ポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込む「**海洋プラスチックごみ**」が問題となり、地球規模での環境汚染が懸念されています。

(20) スーパーなどで買い物をするとき、レジ袋をもらいますか。該当するもの1つに○を付けてください。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ① いつももらう（有料でも無料でも） | ② 無料のときはもらう（有料のときはもらわない） |
| ③ ときどきもらう（有料でも無料でも） | ④ ほとんどもらわない（有料でも無料でも） |
| ⑤ その他（※詳細をご記入ください） | |

合 計	①いつももらう （有料でも無料 でも）	②無料のとき はもらう（有料 のときはもらわ ない）	③ときどきもら う（有料でも無 料でも）	④ほとんどもら わない（有料で も無料でも）	⑤その他	無回答
1116	30	157	265	627	15	22
100.0%	2.7%	14.1%	23.7%	56.2%	1.3%	2.0%

- (21) 次の項目のうち、プラスチックごみの削減やリサイクルなどに向けて「普段から行っている」又は「新たに取り組もうと考えている」に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

	ア	イ
	普段から行っている	新たに取り組もうと考えている
① マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る		
② リユース食器を利用するなど、スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わない		
③ 紙製品等のプラスチック代替品を利用している		
④ マイボトルを利用するなど、ペットボトルを使わない		
⑤ 買い物をする際、プラスチックの過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ		
⑥ プラスチックを分別して捨てる		
⑦ バックや袋に入っていないバラ売りの商品を選ぶ（野菜など）		
⑧ 詰め替え商品を購入する		
⑨ その他（※以下に詳細をご記入ください） （ ）		

	合 計	①普段から行っている	②新たに取り組もうと考えている	無回答
①マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	1116 100.0%	985 88.3%	62 5.6%	69 6.2%
②リユース食器を利用するなど、スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わない	1116 100.0%	628 56.3%	225 20.2%	263 23.6%
③紙製品等のプラスチック代替品を利用している	1116 100.0%	358 32.1%	302 27.1%	456 40.9%
④マイボトルを利用するなど、ペットボトルを使わない	1116 100.0%	467 41.8%	280 25.1%	369 33.1%
⑤買い物をする際、プラスチックの過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	1116 100.0%	556 49.8%	208 18.6%	352 31.5%
⑥プラスチックを分別して捨てる	1116 100.0%	974 87.3%	35 3.1%	107 9.6%
⑦バックや袋に入っていないバラ売りの商品を選ぶ（野菜など）	1116 100.0%	359 32.2%	321 28.8%	436 39.1%
⑧詰め替え商品を購入する	1116 100.0%	781 70.0%	114 10.2%	221 19.8%
⑨その他	1116 100.0%	12 1.1%	6 0.5%	1102 98.7%

6 紙類について

仙台市では、紙類のリサイクル推進や家庭ごみに含まれる紙ごみの減量のため、市民の皆様へ新聞・折込チラシ、段ボール、紙パック、雑誌、雑がみ※に分けていただき、月に2回紙類を回収しているほか、市民センターなどへ設置した資源回収庫や民間の紙類回収ステーションにて紙類を回収しています。

※雑がみとは、お菓子・食品・ティッシュ等の紙箱、封筒、トイレットペーパーやラップの芯、ダイレクトメールのチラシ類、コピー用紙・プリンター用紙、包装紙、メモ帳、カレンダー、紙製卵パック、画用紙等を指します。

- (22) 紙類をどのように出していますか。該当するものすべてに○を付けてください。

① 月2回の紙類定期回収に出している	② 子ども会等の集団資源回収に出している
③ 市民センター等の資源回収庫に出している	④ スーパー等の店頭回収に出している
⑤ ちりがみ交換（古物商等）に出している	⑥ 分別せずに家庭ごみで出している

合 計	①月2回の紙類定期回収に出している	②子ども会等の集団資源回収に出している	③市民センター等の資源回収庫に出している	④スーパー等の店頭回収に出している	⑤ちりがみ交換(古物商等)に出している	⑥分別せずに家庭ごみで出している	無回答
1116	524	383	66	353	38	113	30
100.0%	47.0%	34.3%	5.9%	31.6%	3.4%	10.1%	2.7%

(23) 仙台市では、「雑がみ」を紙類として回収しています。どのような紙が「雑がみ」に該当するか知っていますか。また、雑がみを紙類として出していますか。該当するもの1つに○を付けてください。

- ① 知っており、雑がみとして出している
 ② 知っているが、家庭ごみとして出している
 ③ 知らなかったのので、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい
 ④ 知らなかったのので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい
 ⑤ その他(※詳細をご記入ください)

合 計	①知っており、雑がみとして出している	②知っているが、家庭ごみとして出している	③知らなかったのので、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい	④知らなかったのので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい	⑤その他	無回答
1116	717	114	114	104	23	44
100.0%	64.2%	10.2%	10.2%	9.3%	2.1%	3.9%

(24) ヨーグルト容器などのコーティングがされた紙容器を、市民センターなどにある資源回収庫で回収していることを知っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

- ① 知っており、利用している
 ② 知っているが、家庭ごみとして出している
 ③ 知らなかったのので、家庭ごみとして出している。今後利用したい
 ④ 知らなかったのので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい
 ⑤ その他(※詳細をご記入ください)

合 計	①知っており、利用している	②知っているが、家庭ごみとして出している	③知らなかったのので、家庭ごみとして出している。今後利用したい	④知らなかったのので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい	⑤その他	無回答
1116	73	109	402	463	26	43
100.0%	6.5%	9.8%	36.0%	41.5%	2.3%	3.9%

- (25) (設問(23)(24)のどちらかでも、「②知っているが、家庭ごみとして出している」又は「④知らなかったので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい」を選択した方に伺います。)

なぜ紙類ではなく家庭ごみとして雑がみを出していますか。該当するもの1つに○を付けてください。

① ルールを知らなかったため	② 分別が面倒なため
③ その他 (※以下に詳細をご記入ください)	
()

合 計	①ルールを知らなかったため	②分別が面倒なため	③その他	無回答
613	220	234	112	47
100.0%	35.9%	38.2%	18.3%	7.7%

7 衣類・布類について

- (26) 使わなくなった衣類・布類※はどのように出しますか。該当するものすべてに○を付けてください。

① 子ども会等の集団資源回収に出している
② 市民センター等の資源回収庫に出している
③ リサイクルプラザに持ち込んでいる(セツコさんのリユース・ブティック)
④ 衣料品販売店が実施している店頭回収に出している
⑤ リユースショップに持ち込んで中古品として買い取ってもらっている
⑥ フリマアプリ等を使って中古品として売っている
⑦ おさがりとして譲渡している
⑧ 家庭ごみで出している
⑨ その他 (※詳細をご記入ください)

※シャツ、ブラウス、フリース、スカート、ジャージ、パジャマ、和服、靴下等は、集団資源回収、資源回収庫等で出すことができます(ただし、布団、座布団、カーペット、マットレス、作業服、制服、雨具、革製品等は対象外です)。

合 計	①子ども会等の集団資源回収に出している	②市民センター等の資源回収庫に出している	③リサイクルプラザに持ち込んでいる(セツコさんのリユース・ブティック)	④衣料品販売店が実施している店頭回収に出している	⑤リユースショップに持ち込んで中古品として買い取ってもらっている	⑥フリマアプリ等を使って中古品として売っている	⑦おさがりとして譲渡している	⑧家庭ごみで出している	⑨その他	無回答
1116	235	126	33	110	251	88	203	745	38	43
100.0%	21.1%	11.3%	3.0%	9.9%	22.5%	7.9%	18.2%	66.8%	3.4%	3.9%

- (27) 使わなくなった衣類・布類は、どのくらいの頻度で出しますか。最も該当するもの1つに○を付けてください。

① 1か月に1回以上	② 2～3ヶ月に1回程度	③ 3～6カ月に1回程度
④ 6カ月～1年に1回程度	⑤ ほとんどない	

合 計	①1か月に 1回以上	②2～3ヶ月に 1回程度	③3～6カ月に 1回程度	④6カ月～ 1年に1回程度	⑤ほとんどな い	無回答
1116	22	87	210	593	169	35
100.0%	2.0%	7.8%	18.8%	53.1%	15.1%	3.1%

(28) 次の項目のうち、衣類・布類のごみの削減やリユース、リサイクルなどに向けて「普段から行っている」又は「新たに取り組もうと考えている」に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

	ア 普段から 行っている	イ 新たに取り組もう と考えている
① 服を可能な限り長く大切に着ている		
② 先のことを考えて、長く着られる品質の衣類を選んでいる		
③ 確実に必要な分だけ購入するようにしている		
④ シェアリングやレンタルサービス等を活用している		
⑤ リユース品を購入している		
⑥ サステナブルな素材(リサイクル繊維やオーガニックコットンなど)の衣類を選んでいる		
⑦ リペア(補修)をしている		
⑧ その他 (※以下に詳細をご記入ください) ()		

	合 計	①普段から 行っている	②新たに取り組もうと 考えている	無回答
①服を可能な限り長く大切に着ている	1116 100.0%	929 83.2%	67 6.0%	120 10.8%
②先のことを考えて、長く着られる品質の衣類を選んでいる	1116 100.0%	673 60.3%	138 12.4%	305 27.3%
③確実に必要な分だけ購入するようにしている	1116 100.0%	757 67.8%	138 12.4%	221 19.8%
④シェアリングやレンタルサービス等を活用している	1116 100.0%	47 4.2%	403 36.1%	666 59.7%
⑤リユース品を購入している	1116 100.0%	163 14.6%	325 29.1%	628 56.3%
⑥サステナブルな素材(リサイクル繊維やオーガニックコットンなど)の衣類を選んでいる	1116 100.0%	124 11.1%	364 32.6%	628 56.3%
⑦リペア(補修)をしている	1116 100.0%	334 29.9%	262 23.5%	520 46.6%
⑧その他	1116 100.0%	11 1.0%	4 0.4%	1103 98.8%

8 更なるごみ減量・3Rの推進について

(29) 今後仙台市が更なるごみ減量・3Rを推進するにあたり、どのような施策を講じるべきだと思いますか。

＜全般＞主な施策3つまでに○を付けてください。

- ① 市民への広報の強化
- ② ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実
- ③ 市民・事業者・市が協力したイベントやキャンペーンの開催
- ④ 事業者への分別・減量促進などの働きかけ
- ⑤ 家庭ごみの分別収集の強化（分別区分の細分化など）
- ⑥ 資源物の分別回収の強化（回収庫の充実など）
- ⑦ 集団資源回収など地域の自主的なリサイクルの取り組みの拡大
- ⑧ 指定袋の料金やごみ処理手数料の値上げ
- ⑨ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①市民への 広報の強化	②ごみ減 量・3Rに関 する学校教 育の充実	③市民・事 業者・市が 協力したイ ベントやキャ ンペーンの開 催	④事業者へ の分別・減 量促進など の働きかけ	⑤家庭ごみ の分別収集 の強化	⑥資源物の 分別回収の 強化	⑦集団資源 回収など地 域の自主的 なリサイクル の取り組み の拡大	⑧指定袋の 料金やごみ 処理手数料 の値上げ	⑨その他	無回答
1116	663	361	256	220	248	351	217	51	52	80
100.0%	59.4%	32.3%	22.9%	19.7%	22.2%	31.5%	19.4%	4.6%	4.7%	7.2%

＜食品ロス・生ごみの削減＞主な施策3つまでに○を付けてください。

- ① 市民への食品ロス・生ごみ削減のためのセミナー開催等の普及啓発活動の充実
- ② 食品ロス・生ごみ削減に関する学校教育の充実
- ③ フードドライブの推進やフードバンク活動の拡大
- ④ 食品ロスの実態把握
- ⑤ 食品関係事業者と市との連携
- ⑥ レストラン等での食べ切り運動等の充実
- ⑦ 現在仙台市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの、効果的な周知
- ⑧ 乾燥生ごみの野菜などへの交換事業の継続
- ⑨ バラ売りや量り売りの取り組みの拡大
- ⑩ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①市民への 食品ロス・生 ごみ削減の ためのセミ ナー開催等 の普及啓発 活動の充実	②食品ロス・ 生ごみ削減 に関する学 校教育の充 実	③フードドラ イブの推進 やフードバ ンク活動の 拡大	④食品ロス の実態把握	⑤食品関係 事業者と市 との連携	⑥レストラン 等での食べ 切り運動等 の充実	⑦現在仙台 市が行って いる食品ロ ス・生ごみ 削減のため の取り組み の、効果的 な周知	⑧乾燥生ご みの野菜な どへの交換 事業の継続	⑨バラ売り や量り売り の取り組み の拡大	⑩その他	無回答
1116	216	389	275	265	249	266	354	91	420	24	79
100.0%	19.4%	34.9%	24.6%	23.7%	22.3%	23.8%	31.7%	8.2%	37.6%	2.2%	7.1%

＜プラスチックごみの削減・リサイクルの促進＞主な施策3つまでに○を付けてください。

- ① ワンウェイ（使い捨て）プラスチック商品の使用の制限
 ② プラスチックの3Rに関する学校教育の充実
 ③ 事業者への過剰包装の見直しの働きかけ
 ④ 紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進
 ⑤ プラスチックごみをリサイクルし、別のプラスチック製品として活用する動きの促進
 ⑥ プラスチックごみを燃料として活用する動きの促進
 ⑦ 市民・事業者・市が協力したプラスチックごみ減量などのキャンペーンの実施
 ⑧ その他（※詳細をご記入ください）

合 計	①ワンウェイ （使い捨て） プラスチック 商品の使用 の制限	②プラスチッ クの3Rに関 する学校教 育の充実	③事業者へ の過剰包装 の見直しの 働きかけ	④紙製品等 のプラスチッ ク代替品の 利用の促進	⑤プラスチッ クごみをリサ イクルし、別 のプラスチッ ク製品として 活用する動 きの促進	⑥プラスチッ クごみを燃 料として活 用する動 きの促進	⑦市民・事 業者・市が 協力したプラ スチックごみ 減量などの キャンペー ンの実施	⑧その他	無回答
1116	293	308	579	453	388	305	223	17	82
100.0%	26.3%	27.6%	51.9%	40.6%	34.8%	27.3%	20.0%	1.5%	7.3%

9 その他

（30）仙台市がこれまで取り組んできたごみ処理施策や、今後のごみ処理施策の方向性などについて、ご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。
 ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入が終わりましたら、この調査票を同封の封筒に入れ、
 令和6年11月29日（金）までにご投函ください。
 切手は不要です。